諏訪地域考古資料
藤森栄一蒐集品目録

平成 23 年
諏 訪 市 博 物 館

目　　次

例　言

藤森栄一の略歴と業績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

藤森栄一年譜・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５

藤森栄一著書一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７

藤森栄一論文等一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８

藤森栄一資料の概要について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２３

藤森栄一資料の主な遺跡と遺物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２６

資料目録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３３

遺物実測図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５５

写真図版・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６５

参考・引用文献・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０７

例　　言

・本書は、藤森栄一および氏の主宰した諏訪考古学研究所が蒐集した考古資料および関連資料（これらを以下、藤森栄一資料と総称する）のうち、考古資料について収録した目録である。
・本書に掲載した資料数は、考古遺物計 59,904 点である。そのうち、諏訪市有形文化財に指定されている資料が 276 点あり、それ以外の資料は 59,628 点である。
・本資料は基本的には藤森および諏訪考古学研究所が整理した収納箱に収められており、箱番号が付されている。本書作成にあたっては、この箱番号をそのまま資料番号として採用した。一部の資料については諏訪市博物館収蔵後の整理で複数の新たな箱に移し替えたものもあるが、番号はそのまま生かし、必要に応じて枝番号を付した。
・資料中、曽根遺跡のデータ等に関しては曽根遺跡研究会の調査成果（『諏訪湖底曽根遺跡研究 100 年の記録』）を参考にした。
・資料目録については別途凡例を設けたので参照されたい。
・本書に掲載した全資料は、諏訪市博物館が収蔵している。
・目録の作成および本書の編集は諏訪市博物館が行い、記事は当館学芸員　中島透が執筆した。
・今回の目録作成にあたり、以下の方々にご指導・ご教示を得た。記して感謝申し上げる。
赤堀彰子　小坂英文　小池岳史　児玉利一　田中総　寺内隆夫　原田昌幸　林　玲奈
三上徹也　宮坂　清　守矢昌文　矢島優子　山田武文
藤森節子　堀越幸子　市川路代　藤森健太郎　藤森英二　市川良太
曽根遺跡研究会
岐阜県高山市教育委員会　富山県埋蔵文化財センター　長野県教育委員会文化財・生涯学習課　文化庁文化財部美術学芸課

藤森栄一の略歴と業績

１、略歴

藤　森　栄　一

藤森栄一は、明治 44 年（1911）長野県上諏訪町（現諏訪市上諏訪）に生まれた考古学者である。幼少より考古学に興味を持ち、旧制諏訪中学校（現諏訪清陵高等学校）在学中に「有史以前に於ける土錘の分布と諏訪湖」と題する初めての論文を発表して頭角を現した。中学卒業後、より専門的に考古学を学ぶため進学を望むも叶わず、家業である書店を手伝うことになるが、その間にも諏訪郡内の遺跡を踏査するなどして研究を行い、多数の論文を発表した。

昭和 8 年（1933）に郷里を出て上京し、弥生時代研究の若きホープであった森本六爾の下に向かう。以後、森本の死を看取るまで、森本について考古学を研究し、森本は藤森の重要な師となった。そのことは結果として優れた学者でありながら 32 歳という短い生涯であった森本の業績を伝える数少ない一人ということにもなった。

昭和 12 年（1937）には奈良県唐古遺跡の発掘調査に参加し、小林行雄の助手として調査のサポートを務めた。しばらく大阪にいた後、昭和 14 年（1939）には居を東京に移し、東京考古学会の活動や関東地方の遺跡調査に参加する一方、自らが編集を務めるようになった東京考古学会の機関誌『考古学』などでの論文の執筆活動も引き続き旺盛に行った。なお、大阪時代の昭和 13 年（1938）に矢ヶ崎みち子と結婚している。

昭和 16 年（1941）には杉原荘介の実家の 2 階を間借りして「葦牙（あしかび）書房」を開業し、日本古代文化学会の機関誌『古代文化』の編集、各研究者の研究書の出版も行うようになる。しかし、翌 17 年（1942）に召集を受け中国、南方戦線を転戦し、昭和 20 年（1945）、ボルネオで終戦を迎えた。この間、戦地にありながらも藤森は考古学の論文を書いた。

昭和 21 年（1946）の復員後は妻・みち子の待つ郷里諏訪へ戻り、古書店「あしかび書房」、のちに旅館「やまのや」を営むかたわら、昭和 23 年（1948）に「諏訪考古学研究所」を設立して諏訪地方の遺跡を精力的に調査し、またここに集まった少年たちに考古学を教えていった。

出征中の昭和 19 年（1944）に自身の初めての著書として『信濃諏訪地方古墳の地域的研究』が刊行されたが、復員後も著書を多数出版しており、富士見町井戸尻遺跡群の発掘調査成果をまとめた昭和 40 年（1965）の『井戸尻』といった調査報告書から、戦後まもなくに出版され大きな反響を呼んだ昭和 21 年（1946）の『かもしかみち』などの随筆、さらには郷里諏訪の歴史を題材にした小説など、わかりやすく時に情熱的な藤森の文章は全国に愛読者を増やしていった。

昭和 43 年（1968）には、霧ヶ峰～美ヶ原を通過する有料道路（ビーナスライン）建設に伴う遺跡および自然破壊に対する反対運動に参加し、旧御射山遺跡の保存に尽力したほか、諏訪湖の浚渫による諏訪湖底曽根遺跡の破壊の危機に際してもその保存にも取り組むなど、自然・文化財保護にも大きな影響力を発揮した。

出征中に患った病がもとで復員後はたびたび高血圧症で倒れ、常に病と闘いながらの研究活動

であったが、昭和 48 年（1973）12 月 19 日、心筋梗塞のためその波乱に満ちた生涯を閉じた。享年 62 歳であった。

自身が会長を務めた長野県考古学会では、藤森栄一の業績を称えて「藤森栄一賞」を設け、藤森の在野の精神を受け継いで優れた業績を挙げた研究者に対して毎年表彰を行っている。また、諏訪市博物館では常設の「藤森栄一記念コーナー」を設け、その業績を顕彰している。

２、業績

藤森の手掛けた仕事は非常に多彩であり、いずれも大きな業績を残している。藤森栄一資料の内容に即して大きく３つに分けて紹介するとすれば、おおよそ以下のようなことが言えるであろう。

・調査研究活動

藤森の研究で最も知られるものはおそらく「縄文時代中期農耕論」であろう。戦後の昭和 24 年（1949）にその仮説を打ち立てて以後、特に諏訪郡富士見町の井戸尻遺跡の調査を通じて中部高地の縄文中期集落の性格が非狩猟採集的であるとの確信を深め、縄文時代中期の中部高地における農耕の存在を掲げ、その研究を精力的に行っていった。藤森の存命中にその論が実証されることはついになかったが、栽培植物の存在が次第に明らかとなり、ある程度の管理栽培的な形態があったのではないかという考え方は現在では有力な説の一つとなっている。

この縄文農耕論のこともあって藤森は縄文時代を専門とする研究者と見られることが多いように思われるが、藤森は研究の初期からさまざまな時代に対して関心を向けている。その当初は弥生時代および古墳時代研究を主とした。特に弥生時代は師・森本六爾の専門とするところであり、森本の教えの中から農耕社会に対する鋭い視点が芽生え、戦後の縄文農耕論につながっていった。

また郷土諏訪にとって重要な存在である諏訪神社の研究も精力的に行った。考古学的に諏訪神社を考察する中で、藤森ならではの視点による研究成果を見ることができる。例えば諏訪神社の神宝とされている重要な祭具「鉄鐸」を「銅鐸」と関連付けた研究は、推理小説を読むかの如き文体と相まって独創的な成果の一つである。

また、群馬県岩宿遺跡の発見から間もない時期に諏訪市の茶臼山遺跡を皮切りとして諏訪地方の旧石器時代遺跡の調査に多く関わっており、それらの成果は日本の旧石器時代研究の黎明期を飾るものとなった。と同時に旧石器時代研究が日本全国へ波及するきっかけにもなった。

藤森は数多くの発掘調査に参加しているが、戦前は唐古遺跡など既存の調査や東京考古学会の調査に参加するというもので、自主的な調査は戦後に自身が設立した「諏訪考古学研究所」を主体として行ったものや、指導者として調査を遂行したものということができる。それらの調査で特筆すべきは、いずれも諏訪地域のその後の地域研究の基礎になったものであり、さらに日本の考古学研究、特に旧石器時代、縄文時代研究に大きな足跡を残していることである。その中には関東地方以外で初めての旧石器時代遺跡の調査事例となった諏訪市茶臼山遺跡、中部高地の縄文時代中期土器編年を打ち立てる基礎となった諏訪郡富士見町井戸尻遺跡群などがある。

もっとも、こうした数多くの成果は一人藤森だけによって成し遂げられたわけではなく、旧石器時代の石器製作遺跡である八島遺跡などで諏訪考古学研究所メンバーが中心的な役割を担ったように、藤森を慕い、支えた研究所メンバーはじめ調査の参加者など多くの人々の関わりなくし

ては成り立たなかった調査資料群であることは言うまでもない。

なお、藤森の設立した「諏訪考古学研究所」は、全くの私費で活動した私設の研究所であるが、ここには考古学を志す多くの人々が集った。藤森はこの研究所の活動を大きく３期に分けているが、第１期は失敗だったというものの、第２期には地元の高校生や中学生が、第３期には別の仕事を持ちながら研究しようという人々が、メンバーとして藤森のもとで考古学を学び、それぞれ多くの実績を挙げていった。このことも、調査研究を通じてすぐれた研究者を育成したという藤森の特筆すべき大きな業績である。

・執筆活動

藤森は数多くの著作を発表している。一つは論文関係であり、現在把握できるもので計 622 編がある。旧制中学時代に弱冠 16 歳で発表した論文をはじめ、前述の「日本原始陸耕の諸問題」はのちの藤森考古学の代名詞の一つでもある「縄文農耕論」の基礎論文であり、その後の縄文時代研究に大きな波紋を広げた。日中戦争に突入し軍靴の音が喧しくなった昭和 12 年（1937）には「古代史には脚がない」と題する一文を発表、皇国史観に無抵抗もしくは傍観を決め込む当時の考古学を鋭く批判している。また、従軍中の輸送列車の中で書き上げて、事情を書いた紙とともにすれ違った反対側の汽車に投げ込んだという論文が無事に日本に届き『古代文化』に掲載されたという逸話が残り、寸暇を惜しんで執筆に取り組んだことがわかる。

藤森には多くの著書もある。生前に出されたもので計 32 冊あり、主に学生社から出版されているが、過去の論文等をまとめたものもあれば、新たに書き下ろしたものもある。当然のことながら考古学に関するものが多いが、そのような研究成果を下地にして郷土の歴史や風土などに触れたものや、諏訪神社に関するもの、また『湖底』や『宗門帳』といった歴史小説まで手掛けており、文筆活動の多彩さは注目される。特に昭和 21 年の『かもしかみち』は多くの読者を魅了し、全国に考古学ファンを広げたという。また『銅鐸』は毎日出版文化賞、『心の灯』はサンケイ児童出版文化大賞を受賞した。特に『銅鐸』の受賞は大きな刺激となったといい、以後考古学の魅力を伝える単行本を多く発表している。それらを含む藤森の著作は昭和 53 ～ 61 年（1978 ～ 86）に『藤森栄一全集』全 15 巻にまとめられ発刊されている。

いずれにしても、論文等一覧（8 ｐ）に示す通り、出征中の一時期を除きほぼ毎年何らかの文章を発表しており、その旺盛な執筆活動には目を見張るものがある。

・遺跡保護運動

昭和 43 年（1968）、長野県企業局による霧ヶ峰～美ヶ原を縦断する有料道路（ビーナスライン）の建設ルートが、日本を代表する貴重な高層湿原である八島ヶ原湿原と、諏訪社の重要な祭祀遺跡である旧御射山遺跡内を通過することが判明した。藤森は貴重な自然と遺跡を守るため、同志とともに反対運動の先頭にたち、最終的に湿原と遺跡を迂回させるルートに変更させることに成功した。このことは、藤森の 1 年後輩で盟友の一人であった諏訪市出身の小説家・新田次郎が『霧の子孫たち』という小説にまとめている。また、縄文時代草創期の著名な遺跡である諏訪湖底の曽根遺跡について、諏訪湖の浚渫工事によって遺跡が破壊される恐れが出てきたため、その保存運動も同時に起こし、浚渫区域から遺跡を除外させることに成功した。

また、この年から長野県考古学会会長、諏訪市文化財専門審議会委員長を歴任、また各種遺跡調査団の団長を務めるなど、地域の文化財保護にも尽力した。

藤森の業績はこの他にも多岐にわたっているが、いずれにしても、その生涯を考古学に捧げた姿は以上に紹介したものからだけでも充分に見てとれるだろう。

藤森栄一　年譜

明治44（1911）年 8月15日	長野県上諏訪町（現諏訪市）の書籍文具商藤森益雄、志うの長男として生まれる。
大正 7（1918）年 4月（7歳）	高島尋常高等小学校（現高島小学校）入学。
大正13（1924）年 4月（13歳）	県立諏訪中学校（現諏訪清陵高校）入学。
昭和 4（1929）年 3月（18歳）	諏訪中学卒業。以後、家業を手伝いながら、諏訪各地の遺跡、遺物を調査。
7月	伏見宮博英来訪、尖石遺跡などの発掘調査に藤原寛人（新田次郎）とともに随行する。
昭和 8（1933）年 9月（22歳）	上京し森本六爾の下へ通う。
昭和11（1936）年 1月（25歳）	森本六爾死去、臨終に立ち会う。
昭和12（1937）年 2月（26歳）	奈良県唐古遺跡発掘調査に参加。小林行雄の助手となる。
4月	株式会社大阪鉄工所（現日立造船株式会社）に入社、社内誌および社史の編集に従事。
昭和13（1938）年10月（27歳）	矢ヶ崎みち子と結婚。
昭和14（1939）年 1月（28歳）	大阪鉄工所退社。
8月	上京しアパート管理人を務めるかたわら、アパート内に東京考古学会東京研究所を開設。
昭和15（1940）年 9月（29歳）	アパート経営に失敗し、管理人を辞任。東京研究所は自然消滅。
昭和16（1941）年 3月（30歳）	板橋区に転居する。
5月	日本橋区の杉原商店（杉原荘介実家）2階を借り「葦牙書房」を開業する。
昭和17（1942）年11月（31歳）	召集を受け漢口（中国）へ送られる。
昭和19（1944）年　（33歳）	南方へ転進。
3月	『信濃諏訪地方古墳の地域的研究』（伊藤書店）を出版。
昭和20（1945）年　（34歳）	ボルネオで終戦を迎える。
昭和21（1946）年 1月（35歳）	『かもしかみち』（葦牙書房）出版。
6月	復員、諏訪へ帰郷する。
昭和22（1947）年 8月（36歳）	静岡県登呂遺跡発掘調査に参加。
昭和23（1948）年10月（37歳）	上諏訪駅前で古書店「あしかび書房」を始める。「諏訪考古学研究所」を開設する。 『石器と土器の話』（蓼科書房）を出版。 この年、諏訪市大安寺、岡谷市海戸、下諏訪町殿村遺跡など調査。
昭和24（1949）年12月（38歳）	株式会社博信堂を創立、社長となる。 この年、「日本原始陸耕の諸問題」、「原始焼畑陸耕の諸問題」などを発表。
昭和25（1950）年 1月（39歳）	『続石器と土器の話』（蓼科書房）を出版。
昭和26（1951）年 8月（40歳）	岡谷市鬼戸古窯址調査。
昭和27（1952）年 7月（41歳）	岡谷市樋沢遺跡発掘調査。
10月	諏訪市茶臼山遺跡発掘調査。
昭和28（1953）年 8月（42歳）	富士見町新道遺跡発掘調査。
10月	高血圧症で倒れる。
昭和30（1955）年 3月（44歳）	諏訪市まわり場古墳調査。
昭和31（1956）年　（45歳）	旅館「やまのや」の経営を始める。
昭和34（1959）年 1月（48歳）	諏訪市曽根遺跡調査。
昭和35（1960）年 3月（49歳）	富士見町大花、曽利遺跡発掘調査。
11月	下諏訪町星ヶ塔黒耀石採掘址調査。
昭和37（1962）年 6月（51歳）	高血圧症で倒れる。

昭和38（1963）年	5月（52歳）	早稲田大学と共同で旧御射山遺跡調査。 この年、岡谷市上の原遺跡（6月）、茅野市栃窪岩陰（7月）、 諏訪市十二ノ后遺跡（10月）などの調査。
昭和39（1964）年	8月（53歳）	『銅鐸』（学生社）を出版。11月に同書が「毎日出版文化賞」を受賞。
	11月	諏訪市片羽町遺跡調査。
昭和40（1965）年	3月（54歳）	野尻湖発掘調査に参加。
	8月	岡谷市庄ノ畑遺跡発掘調査。
	11月	富士見町井戸尻遺跡発掘調査。
	12月	岡谷市コウモリ塚古墳発掘調査。
	2月	『井戸尻遺跡』、7月『井戸尻』（中央公論美術出版）、10月『諏訪大社』、 11月『旧石器の狩人』（学生社）を出版。
昭和41（1966）年	8月（55歳）	岡谷市海戸遺跡発掘調査。
	11月	新産都市等地域内埋蔵文化財緊急分布調査団長に就任。
	9月	『古道』（学生社）出版。
昭和42（1967）年	（56歳）	富士見町新道遺跡（3月）、岡谷市海戸遺跡（7月）など調査。
	7月	『かもしかみち』『かもしかみち以後』（学生社）、10月『二粒の籾』 （河出書房）出版。
昭和43（1968）年	6月（57歳）	長野県考古学会長に就任。
	9月	諏訪市文化財専門審議会委員長に選出。 ビーナスライン建設に伴う遺跡保護運動を開始。
	8月	『信濃考古学散歩』（共著、学生社）出版。
昭和44（1969）年	11月（58歳）	茅野市茅野和田遺跡調査団副団長に就任。
	12月	長野市大室古墳群調査会会長に就任。
	1月	『石器と土器の話』、10月『蓼科の土笛』、11月『宗門帳』（学生社）、 5月『縄文式土器』（中央公論美術出版）、7月『縄文の世界』（講談社） 出版。
昭和45（1970）年	4月（59歳）	高血圧症で倒れる。
	7月	長野県中央道遺跡調査会理事に就任。
	10月	高血圧症で倒れる。
	3月	『縄文農耕』、5月『遥かなる信濃』、8月『信濃の美篤』（学生社）、 12月『考古学とともに』（講談社）出版。
昭和46（1971）年	2月（60歳）	『心の灯』（筑摩書房）出版。5月に同書が「サンケイ児童出版文 化大賞」を受賞。
	5月	『湖底』（学生社）、『新信濃風土記諏訪』（信濃路）出版。
昭和47（1972）年	3月（61歳）	富士見町九兵衛尾根遺跡発掘調査に参加。
	7月	下諏訪町殿村遺跡調査団長に就任。
	11月	岡谷市岡屋遺跡、下諏訪町秋葉山遺跡を調査。
昭和48（1973）年	2月（62歳）	奈良県高松塚古墳調査を見学。
	6月	箕輪町中道遺跡調査を見学。
	8月	辰野町樋口内城館遺跡、諏訪市大熊城跡遺跡調査を見学。
	9月	諏訪市小丸山古墳調査の見学。
	10月	阿智村杉の木平遺跡調査の見学。
	12月19日	心筋梗塞のため死去。
	5月	『長野県人』（新人物往来社）、『森本六爾伝』（河出書房新社）、 7月『縄文の八ヶ岳』、9月『峠と路』『信州教育の墓標』（学生社） を出版。

※『長野県考古学会誌』19･20および『藤森栄一全集』第15巻をもとに作成。

藤森栄一　著書一覧

昭和19年(1944)	3月	信濃諏訪地方古墳の地域的研究	伊藤書店	
21年(1946)	1月	かもしかみち	葦牙書房	
23年(1948)	10月	石器と土器の話	蓼科書房	
25年(1950)	1月	続石器と土器の話	蓼科書房	
39年(1964)	8月	銅鐸	学生社	
40年(1965)	2月	井戸尻遺跡	中央公論美術出版	
40年(1965)	7月	井戸尻	中央公論美術出版	編著
40年(1965)	10月	諏訪大社	中央公論美術出版	
40年(1965)	11月	旧石器の狩人	学生社	
41年(1966)	9月	古道	学生社	
42年(1967)	7月	かもしかみち	学生社	
42年(1967)	7月	かもしかみち以後	学生社	
42年(1967)	10月	二粒の籾	河出書房	
43年(1968)	8月	信濃考古学散歩	学生社	桐原健共著
44年(1969)	1月	石器と土器の話	学生社	
44年(1969)	5月	縄文式土器	中央公論美術出版	
44年(1969)	7月	縄文の世界	講談社	
44年(1969)	10月	蓼科の土笛	学生社	
44年(1969)	11月	宗門帳	学生社	
45年(1970)	3月	縄文農耕	学生社	
45年(1970)	5月	遥かなる信濃	学生社	
45年(1970)	8月	信濃の美篤	学生社	
45年(1970)	12月	考古学とともに	講談社	
46年(1971)	2月	心の灯	筑摩書房	
46年(1971)	5月	湖底	学生社	
46年(1971)	5月	新信濃風土記　諏訪	信濃路	
47年(1972)	7月	シンポジウム縄文時代の考古学	学生社	
48年(1973)	5月	長野県人	新人物往来社	
48年(1973)	5月	森本六爾伝	河出書房新社	
48年(1973)	7月	縄文の八ヶ岳	学生社	
48年(1973)	9月	峠と路	学生社	
48年(1973)	9月	信州教育の墓標	学生社	

(没後) 昭和	49年(1974) 12月	古墳の地域的研究	永井出版企画
	49年(1974) 12月	考古学・考古学者	学生社
	51年(1976) 12月	藤森栄一の日記	学生社
	53～61年(1978～86)	藤森栄一全集　全15巻	学生社

藤森栄一　論文等一覧

〇講座・全集

昭和26年(1951) 9月　大化以前の歴史と考古学　日本歴史講座2巻（河出書房）
28年(1953) 9月　先史・原史時代　川岸村誌上巻　戸沢充則共著
30年(1955) 4月　中部高地・北陸（各地の弥生式土器）日本考古学講座4巻（河出書房）
31年(1956) 2月　中部（各地の縄文式土器）日本考古学講座3巻（河出書房）
35年(1960) 6月　集落の形成　図説世界文化史大系20巻日本Ⅰ（角川書店）
35年(1960) 6月　縄文狩猟文化　図説世界文化史大系20巻日本Ⅰ（角川書店）
35年(1960) 10月　図版解説　世界美術全集Ⅰ巻（角川書店）
37年(1962) 12月　日本考古学辞典（厚手式土器・石鋸・薄手式土器・岡谷蚕糸記念館・踊場式土器・庄の畑式土器・石斧・曽根遺跡・茶臼山遺跡・林里遺跡・樋沢遺跡・樋沢式土器・磨製石斧・弥生式土器）（東京堂）
38年(1963) 9月　考古学上よりみたる下諏訪 下諏訪町誌上巻
38年(1963) 9月　諏訪神社の考古学的研究　下諏訪町誌上巻
39年(1964) 4月　図版解説　日本原始美術1巻（講談社）
39年(1964) 6月　図版解説　日本原始美術3巻（講談社）
40年(1965) 5月　中部地方南部の先土器時代 日本の考古学Ⅰ（河出書房）
41年(1966) 6月　古墳文化の地域的特色―中部高地―　日本の考古学Ⅳ（河出書房）
41年(1966) 7月　縄文人の生活　日本歴史シリーズⅠ（世界文化社）
41年(1966) 9月　永明の原始　永明村誌（未完）宮坂光昭共著
43年(1968) 9月　中部高地地方　弥生式土器集成本編Ⅱ（東京堂）
43年(1968) 10月　石器の石材について　新版考古学講座1（雄山閣）
44年(1969) 5月　中部日本の縄文中期文化　新版考古学講座3（雄山閣）
44年(1969) 10月　銅鐸の謎　日本と世界の歴史1（学習研究社）
45年(1970) 8月　三遠式銅鐸と天竜川　古代の日本6（角川書店）
45年(1970) 8月　須波神の国と東山古道　古代の日本6（角川書店）
45年(1970) 8月　甲斐の黒駒と望月の牧　古代の日本6（角川書店）
47年(1972) 2月　信濃の黎明　信濃新風土記（ジャパンアート社）
47年(1972) 2月　信濃国の成立　信濃新風土記（ジャパンアート社）
48年(1973) 4月　信濃花歳時記（ミズナラ・クリ・オニクルミ・キイチゴ・クサボケ・ヤマブドウ・ヤマウド・ヤマトリカブト・アケビ・レンゲツツジ・ヌルデ）（信濃路）
49年(1974) 1月　長野県百科辞典（敲打器文化・細石器文化・ハンドアックス・黒曜石・原始絵画・貝塚・弥生式土器・柴宮銅鐸・鉄鐸・布目瓦・骨壷・鳥羽山洞窟・大深山遺跡・大塚古墳・中曽根親王塚・戍立寺の浦遺跡・矢出川遺跡・鎌・伊藤富雄・馬場平遺跡・茂沢遺跡・石神遺跡・入山峠祭祀遺跡・雨境峠遺跡・岩村田一本柳遺跡・氷遺跡・岡屋遺跡・海戸遺跡・旧御射山遺跡・八島遺跡・御座岩遺跡・井戸尻遺跡・神坂峠遺跡・両角守一）（信濃毎日新聞社）

未定稿　小学館万有百科大辞典（井戸尻遺跡・尖石遺跡・曽根遺跡・林里遺跡・馬場平遺跡・樋沢遺跡）（小学館）
未定稿　吉川国史大辞典（井戸尻遺跡・栗林遺跡）（吉川弘文館）

○遺跡報告

昭和 4年(1929)12月	新遺跡	信濃考古学会誌 1-2	
26年(1951)10月	長野県諏訪郡大安寺遺跡	日本考古学年報 1	
26年(1951)10月	長野県岡谷市海戸遺跡	日本考古学年報 1	
26年(1951)10月	長野県諏訪郡殿村遺跡	日本考古学年報 1	
29年(1954) 4月	長野県諏訪郡梨久保遺跡	日本考古学年報 2	
29年(1954) 4月	長野県岡谷市下り林遺跡	日本考古学年報 2	
30年(1955) 4月	長野県岡谷市丸山遺跡の資料	日本考古学年報 3	
38年(1963)10月	長野県富士見町境新道竪穴住居址	日本考古学年報 6	
38年(1963)10月	長野県辰野町丸山遺跡	日本考古学年報 6	
38年(1963)10月	諏訪市岡村穴場遺跡	日本考古学年報 6	
40年(1965)10月	長野県富士見町曽利遺跡	日本考古学年報 13	
40年(1965)10月	長野県富士見町大花遺跡	日本考古学年報 13	
40年(1965)10月	諏訪湖底曽根の調査概要	日本考古学年報 13	
41年(1966) 3月	長野県諏訪郡駒形遺跡	日本考古学年報 14	
42年(1967) 3月	長野県諏訪郡藤内遺跡	日本考古学年報 15	武藤雄六共著
43年(1968) 3月	長野県岡谷市梨久保遺跡	日本考古学年報 16	
44年(1969) 3月	長野県諏訪市ハタ河原遺跡	日本考古学年報 17	中村龍雄共著
44年(1969) 3月	長野県諏訪市明星屋敷遺跡	日本考古学年報 17	中村龍雄共著
44年(1969) 3月	長野県諏訪郡居平遺跡	日本考古学年報 17	小林公明共著
45年(1970) 3月	研究論文抄録―井戸尻	日本考古学年報 18	

○特殊研究

昭和 2年(1927) 2月	有史以前に於ける土錘の分布と諏訪湖	諏訪中学校学友会誌 26
2年(1927)10月	諏訪湖の変遷	諏訪中学校地歴部報 4
38年(1963) 4月	諏訪湖盆の遺跡から見た陸水の増減	日本考古学協会第 29 回総会研究発表要旨
38年(1963) 4月	遺跡から見た諏訪湖水位の変遷研究	信濃毎日新聞
38年(1963)10月	諏訪湖の大きかった時と小さかった時	諏訪 5
38年(1963)11月	諏訪湖の盛衰	岡谷人 1
40年(1965) 2月	諏訪湖の貝塚	信濃Ⅲ 17-2
40年(1965) 4月	諏訪市片羽町の低地性遺跡調査報告	信濃Ⅲ 17-4 桐原健・宮坂光昭共著
40年(1965) 6月	考古学的資料より見たる洪積世における諏訪湖の水位変動	地学雑誌 74-2
43年(1968) 6月	諏訪湖底曽根遺跡―その過去・現状と保存	信濃考古 24

○論文・報告

旧石器時代

昭和28年(1953) 4月	諏訪市茶臼山遺跡	日本考古学協会第 11 回総会研究発表要旨	
34年(1959) 5月	諏訪湖底曽根の石器について	日本考古学協会第 23	
35年(1960) 2月	諏訪市茶臼山旧石器遺跡	諏訪の科学 6	
35年(1960) 7月	諏訪湖底曽根の調査	信濃Ⅲ 12-7	
35年(1960)7･8月	湖底曽根調査の概要	諏訪の科学 1･2	
36年(1961) 7月	ポイント文化期竪穴住居址−長野県下諏訪町駒形遺跡報告−	上代文化 31-3･4	宮坂光昭・中村龍雄共著
37年(1962) 7月	茶臼山石器文化	考古学集刊 4	戸沢充則共著

38年（1963）10月　霧ヶ峰雪不知の石器　日本考古学協会昭和38年大会研究発表要旨
39年（1964）3月　長野県諏訪市曽根遺跡　日本考古学年報12
39年（1964）12月　霧ヶ峰雪不知の石器文化　考古学雑誌50-2　中村龍雄共著
40年（1965）10月　諏訪湖底曽根の調査概要　日本考古学年報13

縄文時代

昭和 5年（1930）1月　彫刻を存する石製品　史前学雑誌2-1
5年（1930）1月　磨製丁字形石器　史前学雑誌2-1
5年（1930）2月　玦状耳飾を出せる諸磯式遺跡（1）　信濃考古学会誌2-1
5年（1930）5月　玦状耳飾を出せる諸磯式遺跡（2）　信濃考古学会誌2-2
8年（1933）6月　山国夏信　考古学4-6
9年（1934）10月　信濃上諏訪町踊場の土器　人類学雑誌49-10
9年（1934）10月　信濃筑摩郡井出の頭の土器　史前学雑誌6-5
9年（1934）11月　信濃下水内郡鳴沢頭の土器及び石鋸　史前学雑誌6-6
10年（1935）1月　北陸における縄文土器の一型式　考古学6-1
10年（1935）8月　山国飾玉雑記　考古学6-7
10年（1935）10月　東日本海系石器文化の輪郭　考古学6-10
10年（1935）10月　石匙の或る断面　考古学6-10
10年（1935）10月　石爪について―爪形に磨かれた石器　考古学6-10
10年（1935）12月　諸磯式土器の竹管施文と浮線文の問題　考古学評論1-2
10年（1935）12月　古式縄文土器の終末と厚手式土器の進展　考古学評論1-2
11年（1936）11月　蓼科山麓の尖底繊維土器　考古学7-9
12年（1937）10月　越後中期縄文文化―馬高期における土製装飾具の発生について　考古学8-10　近藤勘次郎共著
12年（1937）10月　越後村杉出土の瀝青質石器に就いて　考古学8-10
14年（1939）3月　一種の石製啄敲具について　貝塚10
16年（1941）7月　縄文土器の絵画資料　古代文化12-7
16年（1941）12月　信濃出土の骨針　古代文化12-12
17年（1942）2月　擦切石器の技術　古代文化13-2
17年（1942）3月　硬玉の巨珠　古代文化13-3
17年（1942）4月　七宝繋状文の石刀　古代文化13-4
17年（1942）5月　石鋸の原始形態　古代文化13-5
18年（1943）1月　南紀田辺湾下芳養の縄文式遺跡について　古代文化14-1
18年（1943）2月　北信濃縄文式文化資料　古代文化14-3
18年（1943）3月　信濃下水内郡桑名川の土器　人類学雑誌58-3
18年（1943）6月　美濃太田古井遺跡の土器　戦火紛失
24年（1949）4月　日本原始陸耕の諸問題　歴史評論4-4
24年（1949）11月　原始焼畑陸耕の諸問題　夕刊信州
25年（1950）1月　縄文中期集落立地について　史実誌4
28年（1953）10月　石棒と原始農業　農業信州36-10
36年（1961）2月　長野県諏訪郡信濃境大花第1号竪穴調査概報　信濃Ⅲ13-2　武藤雄六共著
36年（1961）4月　縄文中期農耕存否に関する新資料　日本考古学協会第27回総会研究発表要旨
37年（1962）7月　信濃境大花第2・第3号竪穴調査概報　信濃Ⅲ14-7　武藤雄六共著
37年（1962）11月　図版解説―富士見町藤内発掘の縄文中期樽形土器　信濃Ⅲ14-11
38年（1963）4月　縄文中期文化の構成　考古学研究36

38年（1963）5月	星ヶ塔黒耀石採掘址	古代学 11-1　中村龍雄共著
38年（1963）6月	富士見高原井戸尻遺跡	信濃毎日新聞
38年（1963）10月	縄文時代農耕論とその展開	考古学研究 38
38年（1963）11月	中期縄文土器の貯蔵形態について	考古学手帳 20
39年（1964）5月	信濃境曽利遺跡調査報告	長野県考古学会誌 1　武藤雄六共著
39年（1964）5月	縄文中期における石匙の器能的変化について	考古学雑誌 49-3
40年（1965）1月	硬玉の石斧	多摩考古 6
40年（1965）7月	井戸尻の調査	井戸尻
40年（1965）7月	井戸尻の生活	井戸尻
40年（1965）7月	井戸尻の文化	井戸尻
40年（1965）7月	立石・石棒と特殊遺構	井戸尻
40年（1965）7月	食用原生動植物について	井戸尻　薩摩林潔共著
40年（1965）7月	中期縄文文化論	井戸尻
40年（1965）7月	信濃境曽利遺跡	井戸尻
40年（1965）7月	信濃境大花遺跡	井戸尻
40年（1965）7月	井戸尻の縄文式土器	井戸尻
40年（1965）12月	縄文中期農耕肯定論の現段階	古代文化 15-5
未定稿	八ヶ岳南麓における中期縄文土器の編年	武藤雄六共著、S39.9
41年（1966）2月	中部高地の中期初頭縄文式土器	富士国立公園博物館研究報告 16
41年（1966）3月	原始古代集落の考古学的研究について	歴史教育 14-3
41年（1966）7月	縄文人と土器	日本美術工芸 334
41年（1966）12月	釣手土器論	文化財 41-12
42年（1967）3月	海戸遺跡の環境「海戸・安源寺」	長野県考古学会研究報告書 2
42年（1967）3月	岡谷市海戸遺跡第1次調査報告結語	長野県考古学会研究報告書 2
43年（1968）7月	顔面把手付土器論	文化財 43-10
43年（1968）10月	縄文の人々	蓼科の土笛
44年（1969）4月	採集から原初農耕	日本文化の歴史 1（学習研究社）
44年（1969）7月	縄文の呪性	伝統と現代 8
44年（1969）10月	茅野市寄の台の土器	信濃考古 28
45年（1970）7月	縄文のランプ	日本美術工芸 382
45年（1970）11月	古代人と火	キンダーブック 49-11
45年（1970）11月	縄文からの神話	伝統と現代 70-12
46年（1971）1月	縄文の初春	信濃毎日新聞
46年（1971）6月	大古の女性	アルプ百科 39
46年（1971）6月	乳棒状石斧論	一志博士喜寿記念論集
46年（1971）8月	縄文の蛇	文化財 46-8
未定稿	植物のいのちは	朝日新聞　S48.8
48年（1973）9月	縄文時代のお産	どるめん 1

弥生時代

昭和 6年（1931）1月	弥生式遺跡発見の土製勾玉	考古学 2-1
7年（1932）11・12月	諏訪天王垣外発掘の弥生式土器及び石器（上・下）―信濃における弥生式文化相の研究・資料篇Ⅰ―	考古学 3-6･7
8年（1933）11月	南信濃発見の一種の抉入を有する石器類―信濃弥生式文化相の研究・資料篇Ⅰ―　考古学 4-2	
8年（1933）11月	信濃普門寺の籾痕ある土器片	日本原始農業
8年（1933）11月	銅鐸面絵画の原始農業的要素	日本原始農業

8年（1933）12月　諏訪湖付近の磨石鏃と第Ⅲ型石斧―信濃弥生式文化相の研究・資料篇Ⅱ―
考古学 4-10
9年（1934）10月　松本市の籾痕を有する弥生式土器片　考古学 5-10
11年（1936）3月　弥生式遺跡出土の有孔石盤　考古学 7-3
11年（1936）7月　信濃の弥生式土器と弥生式石器　考古学 7-7
11年（1936）7月　南信濃庄之畑の土器　考古学 7-7
11年（1936）10月　弥生式遺跡出土の両頭石斧　考古学 7-10
11年（1936）11月　弥生式末期における大型石錘　考古学 7-9
12年（1937）9月　紀伊・岩倉山銅鐸出土地の再調査　考古学 8-9　藤井誠一共著
12年（1937）8月　千曲川下流長峯高丘の弥生式石器　考古学 8-8
15年（1940）7月　近江滋賀村の弥生式石器　考古学 11-7
15年（1940）11月　周防の弥生式石器について―山口高校郷土室の焼失資料を中心に―
考古学 11-11
16年（1941）8月　九州南端の石庖丁　古代文化 12-8
17年（1942）6月　信濃安庭出土の弥生式土器　古代文化 12-6
17年（1942）11月　「天手抉」の発展経過について　古代文化 12-11
18年（1943）7月　弥生式文化における攝津加茂の石器群の意義について　古代文化 14-7
18年（1943）10月　日本石器時代における器具の発展について　古代文化 14-10
23年（1948）9月　五島列島福江島の石器　考古学集刊 1
25年（1950）1月　横道の弥生式土器と石器―岡谷丸山附近のの弥生式土器　諏訪考古学 5
25年（1950）6月　岡谷横道の弥生式土器と石器　諏訪考古学 5
26年（1951）1月　信濃北原遺跡出土石器の考古学的位置について―弥生式文化における陸耕生活の暗示―　諏訪考古学 6
37年（1962）5月　弥生式原始絵画の新資料―長野県下諏訪町関屋弥生中期遺跡―
古代学研究 31
38年（1963）6月　弥生時代研究の方向　弥生時代文献解題 1962 版
39年（1964）4月　諏訪市中浜町出土の弥生式土器　信濃 16-4
39年（1964）11月　信州の銅鐸　信濃毎日新聞
40年（1965）1月　銅鐸絵画解読のための一試案　歴史地理教育 104
40年（1965）2月　長野県の銅鐸とヤマダイ国　信濃毎日新聞
41年（1966）4月　庄之畑遺跡研究の略史　長野県考古学会研究報告書Ⅰ
41年（1966）4月　庄之畑遺跡第 9 地区　長野県考古学会研究報告書Ⅰ
45年（1970）4月　こわされた銅鐸の語るもの　蛍雪時代 45-5
44年（1969）10月　銅鐸の謎　「日本と世界の歴史」1（学習研究社）
47年（1972）7月　岩村田式文化について　郷土の文化財 4「岩村田一本柳」
（佐久市教育委員会）
47年（1972）11月　銅鐸水脉国家論（対談）　「遊」5＜古代日本＞
47年（1972）12月　秋葉山高地性遺跡「下諏訪秋葉山遺跡」　下諏訪町教育委員会
48年（1973）3月　消えた銅鐸　研修出版社「日本の歴史」1

古墳時代

昭和 4年（1929）12月　鉄製頭椎式柄頭の新発見　信濃考古学会誌 1-3
4年（1929）12月　注意すべき祝部土器（1）　信濃考古学会誌 1-3
5年（1930）2月　注意すべき祝部土器（2）　信濃考古学会誌 2-1
5年（1930）5月　注意すべき祝部土器（3）　信濃考古学会誌 2-2
14年（1939）1月　考古学上よりしたる古墳墓立地の観方　考古学 10-1
14年（1939）10月　信濃下蟹河原に於ける土師器の一様式　考古学 10-10

15年（1940）6月	古墳群の特性について	考古学 11-6
15年（1940）8月	石製坩について	考古学 11-8
27年（1952）4月	川岸村鬼戸窯跡	諏訪考古学 8
38年（1963）4月	長野県諏訪市古岩窪岩陰	洞穴遺跡調査会会報 6
40年（1965）6月	諏訪上社フネ古墳	考古学集刊 3-1　宮坂光昭共著
41年（1966）4月	諏訪湖北古墳の概要	長野県考古学会研究報告書 1
43年（1968）5月	糸魚川市一の宮の滑石製模造品	信濃考古 23
43年（1968）6月	石見の籾痕	考古学ジャーナル 21
43年（1968）10月	信濃上代文化のⅡ考古学的試論	信濃Ⅲ 20-10
未定稿	諏訪湖盆低地出土の勾玉	S44.2
44年（1969）8月	諏訪市大熊片山古墳	長野県考古学会誌 7 中村龍雄・宮坂光昭・後藤孔共著
46年（1971）8月	将軍塚と信濃国造	歴史読本 8 月号
46年（1971）12月	下蟹河原の土器	土師式土器集成Ⅰ（東京堂）
47年（1972）9月	高松塚の密閉	潮 47-6
47年（1972）6月	茶臼山遺跡出土の土器	土師式土器集成Ⅱ（東京堂）
49年（1974）1月	信濃のケルン	図説日本の歴史月報（集英社）

歴史時代

昭和 4年（1929）5月	隆平永宝伴出の一種の骨壷について	諏訪中学科学会誌 1
5年（1930）2月	骨壷と古銭の発見	信濃考古学会誌 2-1
5年（1930）2月	骨壷の実例報告を求む	信濃考古学会誌 2-1
5年（1930）2月	古銭の発掘に就いての報告を求む	信濃考古学会誌 2-1
5年（1930）3月	隆平永宝を伴出せる蔵骨器	考古学 1-2
5年（1930）5月	蔵骨器一例	考古学 1-3
15年（1940）4月	下総国府付近	考古学 11-4
16年（1941）3月	奈良時代の火葬骨壷	古代文化 12-3
36年（1961）9月	南信濃の古瓦	信濃Ⅲ 13-9
36年（1961）10月	諏訪神社の柴舟―弥生式大型石錘との関連について―	信濃Ⅲ 13-10
36年（1961）12月	売神祝印と上社御宝印―諏訪神社の考古学的研究 1―	信濃Ⅲ 13-11
36年（1961）12月	秋宮経蔵下の埋蔵金と経塚―諏訪神社の考古学的研究 2―	信濃Ⅲ 13-12
37年（1962）2月	下社付近出土品の調査（上）―諏訪神社の考古学的研究 3―	信濃Ⅲ 14-2
37年（1962）3月	下社付近出土品の調査（下）―諏訪神社の考古学的研究 3―	信濃Ⅲ 14-3
37年（1962）4月	鉄鐸　その古代史上の意義　―諏訪神社の考古学的研究 4―	信濃Ⅲ 14-4
37年（1962）9月	御柱私考	南信日日新聞
37年（1962）11月	薙鎌考―諏訪神社の考古学的研究 5―	信濃Ⅲ 14-11
38年（1963）8月	邑知湯と諏訪湖―羽咋の遺跡を求めて―	北国新聞
39年（1964）9月	諏訪大社鉄鐸に刻まれた文字様の符号について	信濃Ⅲ 16-9
40年（1965）11月	諏訪神社の歴史的位置	諏訪教育 30
41年（1966）4月	外地将来の鉄鐸資料	信濃Ⅲ 18-4
43年（1968）1月	御柱だで来ておくれ	信濃毎日新聞
43年（1968）6月	国境の薙鎌	伊那 469
43年（1968）10月	もっともひめやかな祭ともっとも壮大な祭―御射山物語―	諏訪文化新報 7
43年（1968）12月	風のほおり―御射山物語 2―	諏訪文化新報 8
44年（1969）6月	信濃の焼物の淵源	信濃のやきもの
44年（1969）1月	穂屋のすすきの刈り残し―御射山物語 3―	諏訪文化新報 9

44年（1969）1月　かわらけ河原のいさごの如し―御射山物語4―　伊那488
44年（1969）1月　東洋とオリンピヤード―御射山物語5―　伊那488
48年（1973）8月　信濃なる諏訪神の国　歴史読本8月号

○随　筆

昭和 7年（1932）1月　諏訪史攻撃への抗議　信濃毎日新聞
11年（1936）10月　南・北氷洋捕鯨と鯨工船需要の将来についての若干の資料　鉄華4
12年（1937）10月　古代史には脚がない　信濃Ⅰ 6-11、かもしかみち
13年（1938）5月　さめない愛国心　鉄華7
13年（1938）11月　日本船舶黎明紀談上　鉄華9
14年（1939）4月　因島工場沿革畧史（本社調査係）　鉄華10
14年（1939）7月　日本船舶黎明紀談中　鉄華11
16年（1941）1月　日本農耕文化の伝統　読売新聞、かもしかみち
17年（1942）4月　加世田を中心とする南陸地方の考古学的考察―南薩摩の神々―　肇国聖跡研究叢書1、かもしかみち
23年（1948）1月　斧―農具の誕生―　信濃路3-17
23年（1948）4月　鎌―農具の誕生―　信濃路3-20
37年（1962）11月　長野県考古学会の発足　信濃毎日新聞
37年（1962）10月　長野県考古学界の回顧と展望　信濃14-11　桐原健共著
38年（1963）1月　日本石器時代研究の諸問題　考古学研究35
40年（1965）8月　神話以前の文化　夕刊読売新聞
40年（1965）10月　縄文土器というカンパス　古代史講座3月報
41年（1966）8月　海戸遺跡を発掘して　信濃毎日新聞
41年（1966）10月　「原始」の時代区分　歴史地理教育118
41年（1966）10月　月刊編集経験者の1人として　考古学ジャーナル1
41年（1966）10月　発掘ジャーナリズム　読売新聞
41年（1966）11月　野火と古代人　文芸春秋12月号
42年（1967）2月　地方史研究の現状　日本歴史22-6　小林計一郎・北原真人共著
42年（1967）3月　意義あるツンドク　信濃毎日新聞
43年（1968）7月　開発と文化財　信濃毎日新聞
43年（1968）12月　村誌のブーム―消えゆく村への郷愁　信濃毎日新聞
44年（1969）1月　地名のこと　信濃毎日新聞夕刊
44年（1969）2月　受難の信州文化財　信濃毎日新聞
44年（1969）6月　私にとって大学とは　展望7月号
44年（1969）8月　いつまで編年をやるか　考古学ジャーナル35
44年（1969）10月　日本考古学への断想　中央公論11月号
44年（1969）12月　中央道と埋蔵文化財　信濃毎日新聞
45年（1970）5月　考古学の場合には　思想の科学101
45年（1970）7月　試験というバカ気たもの　中日新聞
45年（1970）7月　信濃の埋蔵文化財の旅二日　読書の友
45年（1970）9月　文化財再考　信濃路35
45年（1970）12月　縄文からの民話　伝統と現代70-12
45年（1970）12月　岩宿―旧石器文化の発見―　旺文社百科辞典
46年（1971）1月　中越遺跡拝見記　伊那512
46年（1971）6月　真理教育　教育263

46年（1971）9月	大学なんかどこでもいい	高二時代
46年（1971）12月	鼓腹撃壌	潮147
46年（1971）12月	茶の間から一言	赤旗
47年（1972）3月	埋文は何もいわない	信毎・新潟ルポ・島根等
47年（1972）4月	わが師は出合い	信濃毎日新聞夕刊
47年（1972）5月	覚えることと考えること	中学時代5月号
47年（1972）6月	古代日本人の生死観	歴史と文学2
47年（1972）6月	高松塚の密閉	潮47-6
47年（1972）5月	信濃における大陸文化	信濃毎日新聞
47年（1972）5月	ある地方文化	新潟日報
47年（1972）8月	中央道の発掘をみて	伊那522
47年（1972）12月	クマが特別保護獣になる咄	朝日ジャーナル12･22
47年（1972）12月	考えられる古代史	古代史講座3月報（学生社）
47年（1972）12月	ブームの裏側	東京新聞
48年（1973）6月	ヒトを発掘する	日本の屋根6月号

〇紀行文

昭和 9年（1934）11月	山と先住民その子たち	山1-11、かもしかみち
11年（1936）1月	菅平へ	信陽新聞
11年（1936）8月	九州廻記	考古学7･8-10、かもしかみち
12年（1937）3月	山口を憶ふ	考古学12-8、かもしかみち
14年（1939）4月	因島拝見記	鉄華10
15年（1940）3月	貝塚のない湖の回想	貝塚18、かもしかみち
15年（1940）7月	信州尖石行	考古学11-7、かもしかみち
15年（1940）10月	遠賀川日記	考古学11-10、かもしかみち
16年（1941）5月	かもしかみち＜古道雑聚＞	考古学2-5・かもしかみち
16年（1941）7月	土器を搬ぶ人＜古道雑聚＞	考古学2-7・かもしかみち
16年（1941）9月	TRAVERSE ＜古道雑聚＞	考古学2-9・かもしかみち
23年（1948）12月	湖底の石やじり	旅
25年（1950）	諏訪の御柱祭	旅
36年（1961）6月	最古の鉱山	夕菅5
37年（1962）9月	四千年前の種子の発芽	信濃毎日新聞
38年（1963）10月	わが姉妹都市―倉敷のこと―	南信日日新聞
39年（1964）9月	県外発掘見学記	信濃15-8･9
40年（1965）4月	薬ものがたり	南信日日新聞
40年（1965）11月	市政のヒット―諏訪市文化祭―	南信日日新聞
41年（1966）10月	八ヶ岳の裾野	アルプ107
42年（1967）1月	山の湖の冬	アルプ110
42年（1967）6月	蓼科のオカリーナ	信濃路22
42年（1967）11月	車山乗越	アルプ117
43年（1968）8月	人臭い峠の話	アルプ126
44年（1969）1月	蓼科霧ヶ峯をめぐる古代の道	旅2月号
44年（1969）4月	麦草峠	アルプ134
44年（1969）6月	山上破船	伊那17-6
44年（1969）6月	諏訪湖博物誌	伊那路13-6
44年（1969）7月	袴越のむらさき	アルプ137
44年（1969）11月	剣岳の錫杖―孤独との闘ひの道具	アルプ141

44年(1969)12月	善光寺の旅	長野 29
44年(1969)12月	The Pottery Culture Called Jomon	ジスイズジャパン
45年(1970)12月	信濃のみすず	日本読書新聞
45年(1970) 1月	川上の大深山	アルプ 143
45年(1970) 1月	戌立と寺の浦	長野県考古学会誌 9
45年(1970) 5月	信濃の古き湯	遥かなる信濃
45年(1970) 5月	諏訪湖の水	アルプ 147
45年(1970) 6月	縄文の故郷	歴史読本 7月号
45年(1970) 6月	生坂山地	アルプ 147
45年(1970) 8月	逃竄の道	俳句 45-9
45年(1970) 9月	御牧と八重原	アルプ 151
45年(1970) 9月	富士大石ヶ原千居	湖 131
45年(1970)11月	木曽殿乗越	歴史読本 45-11
46年(1971) 2月	縄文の八ヶ岳	千趣会「文学の旅」・信濃路
46年(1971) 4月	信濃の犬の物語	アルプ 158
46年(1971) 6月	神坂峠の危機	朝日新聞 6･27
46年(1971)10月	縄文の旅	伝統と現代 71-10
46年(1971)12月	塩尻峠	アルプ 166
47年(1972) 6月	おりおりの雨	アルプ 172
47年(1972) 7月	ディスカバー八ヶ岳	縄文の八ヶ岳
47年(1972) 7月	濶葉樹林文化	毎日新聞 7･17
47年(1972) 8月	諏訪湖は死ぬか	毎日新聞 8･15
47年(1972)12月	野麦峠	アルプ 178
48年(1973)10月	山の湖からの民話	道路建設 309
48年(1973)11月	信州の高原と秋	信濃路秋特集号
49年(1974) 1月	古道雑集	信濃毎日新聞
49年(1974) 1月	日本佗科学的好奇心缺亡症	グラフィケーション
49年(1974) 1月	縄文の旅	歴史と旅（秋田書店）

〇案　内

昭和34年(1959)	諏訪市の歴史と地理	高島小ＰＴＡパンフレット　細川隼人共著
34年(1959)	手長丘の歴史	上中ＰＴＡ新聞
34年(1959)	諏訪湖底曽根遺跡	上中ＰＴＡ新聞
34年(1959) 5月	考古学上よりみたる四賀村	諏訪史談会四賀村史蹟踏査要項
36年(1961) 2月	上諏訪の遺跡及び古墳	諏訪史蹟要項上諏訪編
36年(1961) 9月	郷土史研究会の栞	中部電力下諏訪営業所パンフレット
36年(1961)11月	諏訪の遺跡 1	諏訪 1
37年(1962) 2月	湖底の漁村―諏訪のうつりかわり―	たかき 42
37年(1962) 3月	諏訪の遺跡 2	諏訪 2
37年(1962) 5月	諏訪のれきし	諏訪市役所パンフレット
37年(1962) 5月	草原の放浪者―諏訪のうつりかわり―	たかき 45
37年(1962) 9月	豊葦原の瑞穂国―諏訪のうつりかわり―	たかき 48
37年(1962)10月	洩矢神と建御名刀神―諏訪のうつりかわり―	たかき 49
38年(1963) 5月	諏訪の遺跡	諏訪 4
39年(1964) 8月	諏訪の遺跡	諏訪 6
42年(1967) 4月	木曽伊那紀行の栞	（タイプ印刷）
44年(1969) 5月	野尻湖の象のバーベキュー	ながのけん〈ものがたり信州の歴史〉

44年（1969）6月	命をつなぐ槍	ながのけん〈ものがたり信州の歴史〉
44年（1969）7月	最初の漁民	ながのけん〈ものがたり信州の歴史〉
44年（1969）8月	草原の放浪	ながのけん〈ものがたり信州の歴史〉
44年（1969）9月	縄文中期の繁栄	ながのけん〈ものがたり信州の歴史〉
44年（1969）11月	水稲の到来	ながのけん〈ものがたり信州の歴史〉
44年（1969）12月	信濃の王の出現	ながのけん〈ものがたり信州の歴史〉
45年（1970）1月	諏訪神の国	ながのけん〈ものがたり信州の歴史〉
45年（1970）2月	信濃の駒	ながのけん〈ものがたり信州の歴史〉
45年（1970）3月	善光寺と国分寺	ながのけん〈ものがたり信州の歴史〉
45年（1970）4月	日本の茶臼山	ながのけん〈ものがたり信州の歴史〉
45年（1970）5月	不運なる旧石器	ながのけん〈ものがたり信州の歴史〉
45年（1970）6月	野尻の石かけ	ながのけん〈ものがたり信州の歴史〉
45年（1970）7月	象の歯	ながのけん〈ものがたり信州の歴史〉
45年（1970）8月	左利きのナイフ	ながのけん〈ものがたり信州の歴史〉
45年（1970）9月	武器の発明	ながのけん〈ものがたり信州の歴史〉
45年（1970）10月	伊那の石槍	ながのけん〈ものがたり信州の歴史〉
45年（1970）11月	木曽のはじめ	ながのけん〈ものがたり信州の歴史〉
45年（1970）12月	矢出川の石の針	ながのけん〈ものがたり信州の歴史〉
46年（1971）1月	暖期きたる	ながのけん〈ものがたり信州の歴史〉
46年（1971）2月	宮田の中越	ながのけん〈ものがたり信州の歴史〉
46年（1971）3月	アルプス山脈の宝石屋	ながのけん〈ものがたり信州の歴史〉
46年（1971）4月	尖石を担った人々	ながのけん〈ものがたり信州の歴史〉
46年（1971）5月	井戸尻	ながのけん〈ものがたり信州の歴史〉
46年（1971）6月	大深山	ながのけん〈ものがたり信州の歴史〉
46年（1971）7月	千曲川の鮭	ながのけん〈ものがたり信州の歴史〉
46年（1971）8月	最古の鉱山	ながのけん〈ものがたり信州の歴史〉
46年（1971）9月	箱清水文化	ながのけん〈ものがたり信州の歴史〉
46年（1971）10月	柴宮の銅鐸	ながのけん〈ものがたり信州の歴史〉
46年（1971）11月	岡谷の王者	ながのけん〈ものがたり信州の歴史〉
46年（1971）12月	帰化してきた王族	ながのけん〈ものがたり信州の歴史〉
47年（1972）1月	山奥の鍛冶の神	ながのけん〈ものがたり信州の歴史〉
47年（1972）2月	佐久大塚と小県親王塚	ながのけん〈ものがたり信州の歴史〉
47年（1972）3月	筑摩の勃興	ながのけん〈ものがたり信州の歴史〉
47年（1972）7月	尖石考古博物館	文化財 72-7
47年（1972）12月	手長丘のむかし	手長丘通信
48年（1973）6月	諏訪（付諏訪湖）	アルファ 138
48年（1973）11月	高島の星空	高島小学校ＰＴＡ新聞

○評　伝

昭和10年（1935）9月	小沢半堂のこと―覚え書き抄―	考古学 6-9・かもしかみち
13年（1938）10月	私の見た弥生式土器集成図録の生立ち―あの頃の考古学―	考古学 9-10、11-5
23年（1948）1月	丸茂武重のエトワール	神々と知性の戦い跋文
23年（1948）	若かった頃の考古学	清陵考古学 1
24年（1949）	南信濃の考古学者たち	信濃毎日新聞
24年（1949）	神々のヘドとの戦い	信濃毎日新聞
37年（1962）10月	信州と森本六爾さん	長野県考古学会連絡紙

37年（1962）10月	袴越のむらさき	南信日日新聞
40年（1965）3月	遥かなるオリンピアード	群像40年4月号
40年（1965）5月	東京考古学会の神田五六さん	長野県考古学会誌2
40年（1965）8月	三沢勝衛という人間	三沢勝衛先生
40年（1965）8月	箱清水と思い出す人々	長野5・かもしかみち以後
40年（1965）10月	東京考古学会のころの酒詰さん	古代文化15-3
42年（1967）6月	南海の忘れ貝	かもしかみち以後
42年（1967）6月	ポール・アンドウ・エル	かもしかみち以後
42年（1967）6月	九州の人々	かもしかみち以後
42年（1967）6月	寧楽の糸車	かもしかみち以後
42年（1967）6月	東京里がえり記	かもしかみち以後
42年（1967）6月	考古学者の戦死	かもしかみち以後
42年（1967）6月	忍従の家系	かもしかみち以後
42年（1967）6月	春愁の暦	新版かもしかみち
42年（1967）7月	オジちゃんのめはゾウの目	九州縄文土器の研究
42年（1967）9月	考古学者奮戦記	中日新聞
43年（1968）10月	保科五無斉	ドキュメント日本人6巻
44年（1969）2月	遥かなる両角守一	考古学ジャーナル29
44年（1969）3月	諏訪氏怨讐記	歴史読本5月号
44年（1969）3月	森本六爾	新訂日本歴史大辞典別巻
44年（1969）6月	甲斐駒、八ヶ岳の二人	歴史読本8月号
44年（1669）10月	三沢勝衛の場合	朝日新聞10･21
44年（1969）12月	一信州人、伊藤富雄	信濃毎日新聞
45年（1970）1月	わたしのつけた灯	高二時代2月号
45年（1970）8月	保科百助	信濃毎日新聞
46年（1971）7月	小林正夫伝―信州人―	信濃毎日新聞
47年（1972）1月	好奇心について	ＮＨＫラジオ放送
48年（1973）2月	ある考古学者の遍歴	考古学ジャーナル73
48年（1973）3月	青木正博さん	日本の屋根3月号
48年（1973）8月	心に残る山の本	アルプ149

○批　評

昭和12年（1937）2月	木内石亭全集	考古学8-2・かもしかみち
12年（1937）3月	家畜文化史	考古学8-5・かもしかみち
12年（1937）	裂罅及洞窟堆積物―堆積について―	考古学8-7・かもしかみち
13年（1938）9月	北満風土雑誌を読む	考古学9-2・かもしかみち
13年（1938）10月	赤峰後山後	考古学9-5・かもしかみち
14年（1939）10月	梵鐘から観た世界	考古学10-11・かもしかみち
21年（1946）12月	病状読校	かもしかみち跋文・かもしかみち
33年（1958）	逆境と言うこと	土筆1号
36年（1961）2月	電々公社拡張及村並移転要請について	パンフレット
37年（1962）1月	村史の傑作―みすず―その自然と歴史	南信日日新聞
38年（1963）4月	あまりに東洋的な―青木靖恭の詩集―あんどろくにしあ	南信日日新聞
38年（1963）6月	生を見つめる苦しみ―岩波篤雄集―四つのノート	南信日日新聞
39年（1964）5月	郷土を愛する旅―平沢茅邦詩集―諏訪二百八景	南信日日新聞
40年（1965）2月	書いてみたいこと―考古随想1―	長野県考古学会連絡紙11･12

40年（1965）3月	信濃の円空と木喰―木曽の円空仏―	南信日日新聞
40年（1965）4月	信州の自然と人間との接触―白い野帳―	信濃毎日新聞
40年（1965）4月	私と読書	信濃毎日新聞
40年（1965）4月	掘ってみること―考古随想 2―	長野県考古学会連絡紙 13
40年（1965）5月	世界史的な視野―日本の考古学 1―	信濃毎日新聞
40年（1965）7月	感じてみること―考古随想 3―	信濃考古 14
40年（1965）11月	観察してみること―考古随想 4―	信濃考古 15
41年（1966）1月	書評「古鏡」	読書新聞
41年（1966）2月	歩いてみること―考古随想 5―	信濃考古 16
41年（1966）2月	書評「奈良県の考古学」	読書新聞 28 号
41年（1966）10月	書評「鉄」	読書新聞
42年（1967）2月	遊んでみること―考古随想 6―	信濃考古 17･18
42年（1967）3月	新歴史人物風土記　長野県Ⅰ	歴史読本 3 月号
42年（1967）4月	新歴史人物風土記　長野県Ⅱ	歴史読本 4 月号
42年（1967）5月	新歴史人物風土記　長野県Ⅲ	歴史読本 5 月号
42年（1967）6月	新歴史人物風土記　長野県Ⅳ	歴史読本 6 月号
42年（1967）7月	新歴史人物風土記　長野県Ⅴ	歴史読本 7 月号
42年（1967）4月	書評「日本文化の起源」	考古学ジャーナル 7
42年（1967）5月	ケンカをしてみること―考古随想 7―	信濃考古 19
42年（1967）4月	地味をみること―考古随想 8―	信濃考古 20
42年（1967）3月	書評「田能」	読書新聞
42年（1967）4月	書評「多胡の碑」	読書新聞
43年（1968）5月	覗いてみること―考古随想 9―	信濃考古 23
43年（1968）5月	私の一冊―銅鐸	毎日新聞
43年（1968）5月	書評「尖石」	信濃毎日新聞
43年（1968）6月	書評「翡翠」	朝日新聞
43年（1968）7月	書評「御射山」	信濃毎日新聞
43年（1968）10月	一度つけた灯を消さないこと―考古随想 10―	信濃考古 25
43年（1968）10月	上梓のことば「信濃・長原古墳群」	長野県考古学会研究報告 5
43年（1968）10月	上梓のことば「伊那・福島遺跡」	長野県考古学会研究報告 6
43年（1968）11月	書評「信濃の木喰仏」	信濃毎日新聞
44年（1969）1月	書評「御射山」	考古学ジャーナル 28
44年（1969）2月	書評「岩宿の発見」	読書新聞
44年（1969）3月	書評「帝釈峡」	共同通信社・信濃毎日新聞
44年（1969）11月	私にとっての古典放浪記	信濃毎日新聞
45年（1970）1月	「井戸尻」	日本考古学年報
45年（1970）2月	書評「火の国」	読書新聞
45年（1970）2月	書評「原色・日本の美術」	信濃毎日新聞
45年（1970）7月	茅野和田遺跡の記録保存をおえて	茅野和田遺跡（茅野市教育委員会）
45年（1970）8月	書評「日本の梵鐸」	展望 9
45年（1970）9月	書評「大空はわが恋人」	前衛 513
45年（1970）9月	書評「邪馬台国」と「卑弥呼」	展望 10
45年（1970）9月	書評「古代の追跡」	展望 11
45年（1970）9月	書評「中米古代文化の謎」	読書の友
45年（1970）4月	書評「狩猟文化研究」	展望 12
45年（1970）10月	書評「草木ノート　草木覚書」	
46年（1971）10月	前書「大室古墳に祈る」	大室古墳群北谷支群緊急発掘調査報告書

46 年（1971）5 月　わたしと本　サンケイ新聞
46 年（1971）10 月　復刻の辞「信濃考古学会誌」復刻版（長野県考古学会誌）
書評「銅鐸の謎」　読売新聞
47 年（1972）1 月　回想の中の人間生態学　国語の教育 45･47･1
47 年（1972）1 月　好奇心について　ＮＨＫ放送「人生読本」（省光社）
47 年（1972）5 月　近況　朝日新聞
46 年（1971）9 月　八幡一郎「日本中部高地縄文早期文化の研究」　信濃毎日新聞
井戸尻遺跡　吉川弘文館・国民大辞典
47 年（1972）10 月　上山春平「神々の体系」　潮 159
たかし・よいち「三つの海峡」　図書新聞内容見本
48 年（1973）11 月　清張さんの好きな作品（特）松本清張の世界　文芸春秋
48 年（1973）12 月　学問とは資料である、推薦文　河出書房日本生活文化史
48 年（1973）12 月　あの文の思い出　筑摩高等国語指導書

〇新聞連載

昭和41 年（1966）1 月　古き道しるべ　南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）1 月　蛙狩り神事　南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）1 月　御占神事　南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）1 月　スキー今と昔　南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）1 月　霧ヶ峯の消長　南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）1 月　御神渡りにおちた人　南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）1 月　御神渡り拝観　南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）2 月　スケート事始　南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）2 月　部落と住居表示　南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）2 月　石器時代人と温泉　南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）2 月　下諏訪の湯はいつから　南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）2 月　上諏訪温泉の古態　南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）2 月　湯治場だった蓼科　南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）2 月　上諏訪温泉未来図　南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）3 月　温泉はだれのもの　南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）3 月　スケート今昔談　南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）3 月　道祖神　南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）3 月　奈良時代の諏訪国　南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）4 月　諏訪と伊那の境　南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）4 月　花はさくら　南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）4 月　酉の祭　南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）4 月　甲州街道の旅籠　南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）4 月　茶臼山遺跡　南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）5 月　南信の旧石器文化　南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）5 月　諏訪史の完成　南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）5 月　郷土研究の現状　南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）5 月　尖石の歴史（上）　南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）5 月　尖石の歴史（下）　南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）5 月　湖底の曽根　南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）6 月　井戸尻遺跡（上）　南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）6 月　井戸尻遺跡（下）　南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）6 月　湖の生物の盛衰　南信日日新聞＜南しなの風土記＞

41 年（1966）6 月	諏訪湖の漁法	南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）6 月	岡谷の考古学者	南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）7 月	岡谷丸山橋付近の調査	南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）7 月	小尾口海戸の発掘	南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）8 月	諏訪の岩石	南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）8 月	和田峠の黒曜石	南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）8 月	霧ヶ峯へのぼった人々	南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）8 月	霧ヶ峯の夏草物語	南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）8 月	御射山祭（上）	南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）8 月	御射山祭（下）	南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）9 月	旧御射山の発掘	南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）9 月	初期の八ヶ岳登山	南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）9 月	八ヶ岳の爆裂	南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）9 月	湖の寿命	南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）10 月	諏訪湖の舟	南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）10 月	木喰と円空	南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）10 月	南信の馬牧	南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）10 月	蓼科の古道	南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）10 月	立川流と大隅流	南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）11 月	諏訪の鋳物師	南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）11 月	石屋根の故郷	南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）11 月	野の仏	南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）11 月	繭倉	南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）12 月	フネ古墳	南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）12 月	御曽衣平	南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）12 月	流れ行く水	南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）12 月	頼重と桑原城	南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）12 月	伊那馬太夫と大祝為仲	南信日日新聞＜南しなの風土記＞
41 年（1966）12 月	五六郎田圃	南信日日新聞＜南しなの風土記＞
48 年（1973）1 月	山が山でなくなった	中部日本新聞＜つぶて＞
48 年（1973）1 月	壮大な	中部日本新聞＜つぶて＞
48 年（1973）1 月	かみ雪	中部日本新聞＜つぶて＞
48 年（1973）2 月	二つの地方都市	中部日本新聞＜つぶて＞
48 年（1973）2 月	学校なんてどこでもいい	中部日本新聞＜つぶて＞
48 年（1973）2 月	縄文の水	中部日本新聞＜つぶて＞
48 年（1973）2 月	弥生の水	中部日本新聞＜つぶて＞
48 年（1973）2 月	今の水	中部日本新聞＜つぶて＞
48 年（1973）3 月	ビーナスライン・ストップ	中部日本新聞＜つぶて＞
48 年（1973）3 月	野獣の次に滅びるもの	中部日本新聞＜つぶて＞
48 年（1973）3 月	1800 万円の価値	中部日本新聞＜つぶて＞
48 年（1973）4 月	野尻湖に化石を追う	中部日本新聞＜つぶて＞
48 年（1973）4 月	変な観光	中部日本新聞＜つぶて＞
48 年（1973）4 月	木の甲	中部日本新聞＜つぶて＞
48 年（1973）4 月	帰るべき処	中部日本新聞＜つぶて＞
48 年（1973）4 月	五箇山の嫁さん	中部日本新聞＜つぶて＞
48 年（1973）5 月	小さな陳列館	中部日本新聞＜つぶて＞
48 年（1973）5 月	3000 年前のクルミ	中部日本新聞＜つぶて＞

48 年（1973）5 月	てぼっけなし	中部日本新聞＜つぶて＞
48 年（1973）5 月	氷河と炎暑	中部日本新聞＜つぶて＞
48 年（1973）5 月	変なもので釣った魚	中部日本新聞＜つぶて＞
48 年（1973）6 月	つつじ	中部日本新聞＜つぶて＞
48 年（1973）6 月	高原の花を	中部日本新聞＜つぶて＞
48 年（1973）6 月	中央道と埋文	中部日本新聞＜つぶて＞
	面白すぎる	毎日新聞＜茶の間＞
48 年（1973）5 月	縄文の茶の間	毎日新聞＜茶の間＞
48 年（1973）6 月	危険な世相	毎日新聞＜茶の間＞
48 年（1973）2 月	人災のはじまり	朝日新聞＜ある噴火口＞
48 年（1973）2 月	木喰がみせた活路	朝日新聞＜ある噴火口＞
48 年（1973）3 月	飢餓と欲望	朝日新聞＜ある噴火口＞
48 年（1973）3 月	天災より人災	朝日新聞＜ある噴火口＞
48 年（1973）3 月	海戸 3 号の顔面把手付甕	信濃毎日新聞＜信濃の顔＞
48 年（1973）3 月	海戸 48 号の顔面把手	信濃毎日新聞＜信濃の顔＞

〇作　品

昭和13 年（1938）3 月	富士征頂	鉄華 6
13 年（1938）3 月	笠置の春	鉄華 7
13 年（1938）5 月	工人暮春	鉄華 7
13 年（1938）8 月	公園子供レビュウ	鉄華 8
13 年（1938）8 月	さくら・さくら	鉄華 8
13 年（1938）11 月	信州八ヶ岳一萬尺の絶頂なる赤岳大明神	鉄華 9
14 年（1939）4 月	院の潮みつ島	鉄華 10
14 年（1939）4 月	雪大いに降る故山	鉄華 10
14 年（1939）8 月	松竹家庭劇を観る	鉄華 11
45 年（1970）9 月	城北小学校校歌（作詞）	

〇小　説

昭和36 年（1961）3 月	ボルネオのダイヤ	7･18 オール新人賞応募
37 年（1962）3 月	湖底	S46･ 4　小説「湖底」学生社
37 年（1962）6 月	陣中萬能膏	S46･ 4　小説「湖底」学生社
40 年（1965）4 月	宗門帳	S44･11　小説「宗門帳」学生社

※藤森栄一著作目録および『長野県考古学会誌』19･20 をもとに作成。

藤森栄一資料の概要について

１、寄贈に至る経過

藤森栄一資料は前項にて紹介した通り、藤森栄一がその生涯にわたって研究してきた考古学に関する一連の資料群である。藤森の存命中は、当初「あしかび書房」で産声を上げ、その後に自身が経営していた旅館「やまのや」内に設けていた「諏訪考古学研究所」に収蔵されていたもので、考古資料については陳列棚を有する資料室が作られ、そこで多くが公開されていた。研究上重要な資料を多く有し、また藤森の研究者としての魅力や人柄等もあって、「やまのや」には多くの研究者や学生などが訪れ、藤森の話を聞き、資料を見学したという。

諏訪考古学研究所資料室と藤森

昭和 48 年（1973）に藤森栄一が死去した後、資料は妻であり所長を引き継いだ藤森みち子氏のもと藤森家が管理してきたが、昭和 63 年（1988）にみち子氏よりこれらの資料の一部が諏訪市に寄託された。この頃諏訪市では市立博物館の建設計画を進めており、平成 2 年（1990）の諏訪市博物館開館に伴い、同館にこれを収蔵、また館内に「藤森栄一記念コーナー」を設けてその一部を常設展示し、藤森栄一の顕彰および藤森資料の重要性について啓発を図ってきたところである。

また、これとは別に諏訪市教育委員会ではその重要性に鑑みて、昭和 47 年（1972）に藤森資料の中の茶臼山遺跡の出土資料の一部を「茶臼山遺跡出土品」として、また昭和 58 年（1983）には八島遺跡の出土資料の一部を「八島遺跡出土石器群」として、それぞれ諏訪市有形文化財に指定し、その保護および啓発を図っている。このことは藤森資料の学術的、歴史的な重要性の高さを示す一例でもある。

以上のような経過の中、平成 21 年（2009）にみち子氏が死去された。その後ご遺族より、既に寄託されているものに加えて研究所に残されていた図書類等も含む藤森資料の一括寄贈の申し出をいただいた。諏訪市としては、本資料がほとんど全て諏訪の歴史研究のベースとなった極めて重要な資料群であり、何より藤森栄一は郷土が誇る偉人の一人であり、その故郷かつ生涯のフィールドであったこの諏訪になくてはならないものであるとの認識から、この申し出をありがたく受諾し、平成 22 年（2010）8 月 16 日に諏訪市に寄贈された。

今後、諏訪市および諏訪市博物館としては、ご遺族の想いに応えながら、藤森栄一とその業績の顕彰を通じて諏訪の歴史文化の継承および発展に資するよう、本資料を活用していく所存である。

２、資料の内容

本資料は前述の通り考古資料と関連資料の大きく２つに区分されるが、考古資料に関しては、

藤森もしくは諏訪考古学研究所が発掘調査を行って得られた出土遺物と、採集といった何らかの形で藤森が得た資料とで構成される。それらのほとんどは自身がフィールドとした諏訪地方の遺跡のもので、他地域のものはごくわずかである。点数の上で最も大きな比重を占めるのが諏訪湖底の曽根遺跡採集資料で、その点数約 34,000 点は寄贈考古資料の 6 割近くを占める。次いで茶臼山遺跡の出土品約 1800 点、八島遺跡約 1500 点、雪不知遺跡約 900 点などが続く。時代的には、旧石器時代および縄文時代が中心を占めている。いずれにしても、本資料はその大部分が藤森（諏訪考古学研究所）の（発掘）調査資料であるところに大きな特徴がある。また発掘調査ではない採集資料であっても、一定のまとまった量と質の高いものが多い。

このような藤森資料の中で特に挙げるとすれば、日本の旧石器時代研究の黎明期を飾った茶臼山・八島・上ノ平・北踊場・雪不知などの旧石器時代遺跡資料、また明治 41 年（1908）の発見以来大きく注目され、その半面で資料の散逸も著しい諏訪湖底曽根遺跡のまとまった資料群がある。ほかに、中部高地における縄文土器編年の標式資料となっている細久保（早期）・下島（前期）・新道（中期）・大安寺（後期）遺跡資料など、日本の考古学研究史上重要な資料が多く含まれている。

しかしながら、前述の通り藤森は諏訪考古学研究所を主宰し、自身の考古資料を積極的に公開していたため、研究所における閲覧公開等さまざまな扱われ方の中で、資料が混在してしまったと見られるものが散見される。注記等である程度判断できるものもあるが、元の帰属先が不明になってしまったものも少なくない。今回の目録化にあたっては、本来ならばそのような錯誤は修正すべきところではあるが、判断材料が十分とは言えず、また、もはや元に戻すことが不可能な資料もある。これらの資料を強いて動かすと場合によっては資料の価値を減ずる危険性もあり、充分慎重を要することでもあるので、あえて今回は現状の通りとし、混在の可能性のあるものについてはその旨記す処置にとどめた。

関連資料に関しては、藤森の実施した発掘調査に伴う図面、写真類、藤森の執筆した論文や書籍の原稿、研究ノートなどがある。原稿類は非常に多く、その中には中部高地の縄文時代中期土器研究の基礎となった大著『井戸尻』のものをはじめ、いまなお多くの読者を魅了する藤森の多数の著書の原稿などがある。また藤森は書簡類も多く残しており、藤森の師である森本六爾や、親しい学友であった小林行雄など学界の研究者とのやりとりが把握でき、特に藤森が関わりの深かった東京考古学会の活動や雰囲気の一端を知ることができる。

また、藤森資料には、藤森が収集し研究に用いた膨大な数の図書も存在する。『大森貝墟古物篇』など学史的に貴重な文献から藤森の研究上集められた雑誌などさまざまなものが含まれ、藤森の関心の広さをうかがうことができる。

本書では、これらのうち、考古資料について目録として紹介し、他の資料については別途巻を改めて紹介することとする。

３、文化財に指定された資料

藤森栄一資料は、諏訪の歴史を語る上で欠くことのできない重要なものを多く含んでいる。また日本の考古学史に燦然と輝く記念碑的な資料も多い。前述の通り、諏訪市教育委員会ではこれら藤森資料のうち、茶臼山遺跡および八島遺跡の遺物について諏訪市有形文化財に指定し、その保護および啓発を図っている。

茶臼山遺跡では昭和 27 年（1952）の発掘調査によって 695 点の石器の発見が報告されているが、このうちの 20 点について、昭和 47 年（1972）10 月 27 日に諏訪市有形文化財に指定している。

八島遺跡については昭和 30 年（1955）の発掘調査でトゥール類 259 点を含む 5,000 点以上の石器の出土が報告されている。和田峠・霧ヶ峰の黒耀石原産地直下の顕著な石器製作遺跡として、昭和 58 年（1983）3 月 24 日にこのうちの 255 点が諏訪市有形文化財の指定となっている。

藤森栄一資料の主な遺跡と遺物

今回紹介する藤森栄一資料中の考古遺物には、場所が明確になっているもので167ヶ所の資料が含まれる。その内訳は諏訪地方が146ヶ所、長野県内が10ヶ所、長野県外は11ヶ所で、諏訪地方の資料で9割近くを占める。これは、多くの資料が藤森が諏訪考古学研究所を設立してから得られたものである点で当然の数字ではあるが、それは同時に藤森資料の遺物がその遺跡にとっての基礎資料である場合も多く、その点でこれらは諏訪の原始古代を語る上で欠くことのできない資料ということにもなる。

そこで、特に藤森資料の中心的存在である諏訪地方の遺跡と遺物についてその概要を紹介する。

茶臼山遺跡（諏訪市）

諏訪湖東岸に位置する踊場丘陵の1段下、茶臼山丘陵の南端に位置する。昭和27年（1952）、当時諏訪考古学研究所のメンバーで高校生だった松沢亜生が県営住宅の工事現場で石器を発見し、研究所が工事の合間をぬって調査を実施した。これらの採集および調査によって得られたものが本資料である。ナイフ形石器、掻器、削器、彫器、刃器、石核など黒耀石製の石器が中心を占めるが、蛇紋岩製の局部磨製石斧が1点発見されており、当時石器の磨製技術は縄文時代以降に出現すると考えられていた学界に波紋を広げることとなった。また、本遺跡は群馬県の岩宿遺跡発見後、関東地方以外で初めて調査された遺跡で、これにより日本の旧石器時代遺跡の調査が全国に広がっていく契機となった。これらの資料の一部は昭和47年（1972）に諏訪市有形文化財に指定されている。

雪不知遺跡（諏訪市）

霧ヶ峰高原の北端にある八島ヶ原湿原に北東から流入する雪不知沢の両岸に位置する。昭和34年（1959）頃から開墾によって遺物が露出していたところ、昭和38年（1963）に金井典美および早稲田大学による旧御射山遺跡の調査に参加していた諏訪考古学研究所メンバーの中村龍雄が多量の遺物を採集し、同年諏訪考古学研究所などによって沢の左岸（A遺跡）で発掘調査が行われた。短期間の調査ながら、尖頭器を伴わないナイフ形石器主体の良好な石器群が発見され、特に藤森はそのナイフ形石器の刃部の位置から「左利きのナイフ」という問題設定でその分析を試みた。なお藤森・中村の報文によれば、本資料のナイフ形石器のうち7点はナイフ形石器の研究で知られた滝沢浩が採集し、藤森らの調査報告の際に提供されたもので、これらは雪不知の代表的なナイフ形石器として知られている優品である。

富ヶ丘遺跡（下諏訪町）

諏訪湖の北岸の緩斜面上に位置する。昭和29年（1954）に戸沢充則・松沢亜生によって発見された。多数の黒耀石製石器が採集され、発掘調査こそされなかったが諏訪湖畔の代表的な旧石器時代遺跡として知られるようになった。藤森は『下諏訪町誌』において下諏訪町のもっとも古い旧石器文化の遺跡として本遺跡の資料を紹介し、同時に当時まだ旧石器資料がそう多くない中で、本資料が原初的な尖頭器と小型のナイフ形石器を有する点から、その編年関係を茶臼山―富ヶ丘―八島と位置付けた。なお、本遺跡は平成13年（2001）に下諏訪町教育委員会によって発掘調査が行われ、小型のナイフ形石器を主体とする石器群が出土し、遺跡の一端が明らかになって

いる。

八島遺跡（諏訪市）

霧ヶ峰高原で最大の高層湿原である八島ヶ原湿原の南端に位置する。霧ヶ峰には多くの旧石器時代遺跡があり、八島ヶ原湿原周辺にもいくつかの遺跡が知られている。昭和 27 年（1952）の観光道路建設の際に多くの黒耀石が出土して発見され、昭和 30 年（1955）に諏訪考古学研究所の戸沢充則、松沢亜生らによって発掘調査が行われた。わずか 18 ㎡の調査面積にもかかわらず尖頭器を中心とした黒耀石製の大量の石器が 5,000 点以上出土したという。ほとんどが未成品や失敗品と見られるものや剥片類などで、これらから本遺跡は和田峠・霧ヶ峰の黒耀石原産地直下における大規模な石器製作遺跡と考えられる。本資料はその調査の出土資料を中心とするもので、一部は昭和 58 年（1983）に諏訪市有形文化財に指定されている。

上ノ平遺跡（諏訪市）

茶臼山丘陵の北端に位置するが、小河川の浸食により小さな独立丘的な地形を呈する。昭和 27 年（1952）の茶臼山遺跡の調査終了後、後述の北踊場遺跡の尖頭器に注目した芹沢長介が藤森らとともに北踊場遺跡を訪れたが成果がなく、その帰りに立ち寄った本遺跡で尖頭器等を発見した。そのときの採集資料と、昭和 29 年（1954）に諏訪考古学研究所が行った小規模な調査（第 2 次調査）によって出土した資料が該当する。なお第 1 次調査は遺跡発見の翌年の昭和 28 年（1953）に明治大学考古学研究室によって行われており、芹沢はますます尖頭器が旧石器時代の石器であるとの確信を深めていった。なお、第 1 次調査の資料は明治大学が所蔵している。

北踊場遺跡（諏訪市）

諏訪湖の東岸に霧ヶ峰山塊から伸びる尾根があり、その先端に階段状の丘陵上地形がある。このうちの踊場丘陵北端に位置する遺跡である。昭和 24 年（1949）の市営住宅工事の際、当時中学生だった松沢亜生が、藤森始、宮坂光昭らとともに採集してきたのが本資料で、旧石器時代後期の尖頭器を中心とする。松沢らが発見した当時、尖頭器が旧石器時代に属する石器とはまだわかっておらず、のちに芹沢長介が本資料を実見して尖頭器が旧石器時代の石器ではないかと疑い、前出の上ノ平遺跡や南佐久郡馬場平遺跡の調査につながっていったという逸話が残る。また、松沢は本資料を使って石器製作技法の復元研究を行い、この手法は後の石器研究のベースとなり大きな影響を与えた。

曽根遺跡（諏訪市）

諏訪市大和地区を流れる千本木川の沖合約 300 mの諏訪湖底水深約 2 mのところに位置する。明治 41 年（1908）に発見され、なぜ湖底に遺跡があるのかという点をめぐって中央の学界で「曽根論争」を巻き起こした。特に多量の石鏃が知られており、地元の漁師などによって湖底から引き上げられては土産物として売られていたといい、その総数は莫大だったものと思われる。本資料は昭和 27 ～ 34 年（1952 ～ 59）に諏訪考古学研究所が調査したものと見られ、特徴的な形態を持つ多数の石鏃や、爪形文土器片など縄文時代草創期の遺物が多数を占める。本資料については曽根遺跡研究会が資料の再整理および研究を行い、平成 21 年（2009）に詳細な報告書としてまとめている。それによれば、少なくとも現在国内の 16 箇所に曽根遺跡の資料が保管されていることが確認されたが、本資料は質量ともに東京大学所蔵のものと並ぶ本遺跡の代表的な資料で

ある。のちに諏訪湖の浚渫工事によって本遺跡が破壊の危機に陥ったが、藤森らの保存運動の結果、遺跡部分は浚渫対象区域から外され、遺跡は守られることになり、昭和 47 年（1972）に諏訪市の史跡に指定された。

片羽町遺跡（諏訪市）

諏訪湖の東岸、手長丘丘陵直下の平坦地に位置する。昭和 39 年（1964）にビル建設工事中に発見され、藤森らによって遺物の採集を中心とした調査が実施された。地下 3.5 mからは弥生時代中期の土器や石器、舟の櫂などの木製品が、また地下 5.5 mからは縄文時代草創期の土器、石器類が、それぞれ層位的に出土することが確認された。藤森の死後、隣接地で再び調査が行われたため本遺跡は片羽町Ａ遺跡およびＢ遺跡に分けて呼ばれているが、藤森の調査地点はＡ遺跡である。曽根遺跡とは約１ｋｍ程度の距離になるが、縄文時代の土器は同じ草創期でも曽根遺跡の爪形文土器よりはやや下る絡条体圧痕文土器などであり、また石器も曽根が莫大な数の石鏃を保有するのに対して本遺跡では１点も発見されておらず、逆に曽根にはない局部磨製石斧を有するなど、比較的近距離の遺跡ながらその内容に大きな差異を見ることができる。いずれにしても諏訪地域では資料が少なく、またその出土状況の特異さもあって貴重な縄文草創期資料の一つである。これらの遺物のうち、木製品、局部磨製石斧、石剣などが諏訪市教育委員会に、土器、剥片および土層サンプルが藤森資料の中にそれぞれ残されている。

天白遺跡（下諏訪町）

諏訪大社下社春宮東側の、舌状台地状地形の末端に位置する。古くから遺物が採集されて知られていたといい、昭和 23 年（1948）頃に高校生新村良雄が採集調査を行った。縄文時代早期の土器が含まれ、藤森が当時下諏訪町で最も古い縄文遺跡として『下諏訪町誌』に紹介している。

下り林遺跡（岡谷市）

諏訪湖の北西にある塩嶺山塊の、一部が開析された舌状尾根上に位置する。昭和 23・24 年（1948・49）に戸沢充則らによって調査された。戸沢によれば、戦後長野県で初めて発見され、組織的に調査された縄文時代早期の遺跡であったが、学界誌に掲載されるはずだったその正報告は戦後の混乱期で日の目を見なかったといい、『岡谷市史』において戸沢により改めて報告がなされている。整理から報告まで藤森に指導を仰いだという。

樋沢遺跡（岡谷市）

岡谷市の西、塩尻市との境界近くにある勝弦峠をやや下った斜面上に位置する。昭和 27 年（1952）に戸沢充則、松沢亜生によって発見され、諏訪考古学研究所によって発掘調査が実施された。この結果、縄文時代早期押型文土器の良好な資料が多数得られ、戸沢による詳細な分析によって「樋沢式土器」が設定された。

細久保遺跡（諏訪市）

霧ヶ峰から流れ下る角間川の上流左岸に位置する。戦時中に開墾された際遺物が採集され、それが諏訪考古学研究所メンバー松沢亜生の目に留まり、同研究所によって昭和 25・26 年（1950・51）に発掘調査が行われた。多量の押型文土器が出土し、その独自性から松沢が縄文早期押型文土器の一型式として「細久保式土器」を設定した。その標式土器にあたるのが本資料である。

ハタ河原遺跡（諏訪市）

細久保遺跡からさらに角間川上流の、科ノ木温水溜池の右岸に位置する。昭和 39 年（1964）に道路拡張工事中に見つかり、諏訪考古学研究所や諏訪市教育委員会、地元高校地歴部などによって発掘調査が実施された。この結果、縄文時代早期の住居跡 1 軒が押型文土器とともに出土し、当該期の数少ない遺構として、また標高の高い位置に立地する遺跡の調査事例としても重要なものとなった。

明星屋敷遺跡（諏訪市）

諏訪市の西方、有賀峠の頂上から南へ約 500 m進んだ、後山地区と覗石地区との分岐点付近に位置する。開墾によって採集された遺物を諏訪考古学研究所メンバーの中村龍雄が実見したことにより、昭和 39 年（1964）に諏訪考古学研究所、地元高校地歴部などによって発掘調査が行われた。前出のハタ河原遺跡同様、標高 1,050 mに達する立地条件ながら、縄文時代早期～前期の土器や石器および平安時代の住居跡などが発見された。これらの成果はハタ河原遺跡のそれとともに中村によって報告がなされている。

よせの台遺跡（茅野市）

霧ヶ峰の南方、茅野市塩沢地区の背後にテラス状を呈する高台上に位置する。昭和 27 年（1952）に諏訪考古学研究所が発掘調査を実施し、縄文時代前期諸磯 b 式を主体とする前期の土器が多数出土した。現在では「よせの台」と表記されるが、本資料では「寄の台」と書かれている。

下島遺跡（茅野市）

八ヶ岳連峰の一つ天狗岳から流れ下る渋川と、渋川に合流する小渓流によって区切られた舌状台地上に位置する。昭和 22 年（1947）に宮坂英弐が遺跡を発見し、昭和 25 年（1950）に宮坂によって発掘調査が実施され縄文時代前期末および弥生時代の遺跡であることが判明したが、その後戸沢充則、松沢亜生によっても発掘調査が実施され、縄文前期の完形に近い土器が出土した。これらの調査の成果から、のちに戸沢が縄文時代前期末の土器形式として「下島式土器」を設定したが、この完形土器が標式資料となっている。

晴ヶ峰遺跡（茅野市）

茅野市と伊那市高遠との境界にあたる杖突峠を最高地点として、国道 256 号線が諏訪と伊那方面とを結んでいるが、峠の茅野市側の国道沿いにある山腹の鉱泉で整地中に、伊藤音作によって遺物が発見され、矢崎源蔵が調査を行った。このときの土器をもとに戸沢充則・宮坂昭久が、関東の十三菩提式に並行し、中部高地における下島式と梨久保式の中間に位置づけられる土器として「晴ヶ峰式土器」を設定した。その標式資料が含まれる。

神殿遺跡（下諏訪町）

諏訪大社下社秋宮の南西、承知川が形成する扇状地末端の平坦部に位置し、現在は下諏訪中学校の敷地となっている。名前の示す通り、諏訪下社大祝金刺氏の居館跡とされる場所である。藤森が『下諏訪町誌』に書くところによれば、昭和初年、中学校（当時は小学校）の校舎増築の際に遺物が出土し、石川税によって採集され同校と諏訪中学（現諏訪清陵高校）に所蔵されていたが、後者は火災で焼失、前者も行方不明になったといい、唯一残っていた藤森撮影の縄文土器片

の写真３枚が同書に掲載されている。本資料は、その内の縄文前期末～中期初頭の土器として写真が掲載されている土器片で、何らかの経緯で再発見され藤森の手元に残ったものらしい。藤森はこの資料をもとに縄文中期初頭土器の一型式として「神殿式土器」を設定した。

新道遺跡（富士見町）

八ヶ岳山麓の末端が釜無川で切られ、台地状を呈するその上に位置する。周辺は九兵衛尾根・狢沢・藤内・籠畑といった中部高地の著名な縄文時代遺跡が集まる区域で、本遺跡も含め、井戸尻遺跡群と呼ばれている。昭和 28 年（1953）に諏訪考古学研究所が発掘調査を行い、2 軒の住居跡を検出した。この際、1 号住居跡から 6 個の完形土器が出土し、これが「新道式土器」の標式土器となった。これらは樽形土器（有孔鍔付土器）、深鉢形土器、浅鉢形土器それに坏形土器で構成されるが、藤森はこれをそれぞれ貯蔵、煮沸そして供献の形態を示しているとし、このようなセット関係を持つ縄文中期社会は農耕文化であると考えた。本資料はそのような藤森の縄文中期農耕論の重要な基礎になった学史的資料でもある。

岡谷丸山・海戸遺跡（岡谷市）

岡谷丸山遺跡および海戸遺跡は２つの遺跡に分けられているが、隣接しておりまたその内容からも密接な関係がある遺跡である。諏訪湖の唯一の出口であり、天竜川の始まりでもある釜口水門の北方約 300 mのところに位置する。古くから多量の遺物が採集され学界でも知られた遺跡であるが、岡谷丸山遺跡は明治時代に敷設された鉄道架線に分断され、また急速な市街地化により遺跡はほとんど消滅し、海戸遺跡がわずかに保存されている状況である。昭和 25 年（1950）に諏訪考古学研究所が本遺跡の資料集成をした際、岡谷市の考古学研究家・滝沢益作が採集した資料の提供を受け、研究所の会誌『諏訪考古学』第 5 号にその詳細を掲載している。その後、滝沢コレクションは諏訪考古学研究所で保管することになった。本資料はその大部分がこの滝沢コレクションにあたると見られる。

梨久保遺跡（岡谷市）

諏訪湖の北岸、常現寺沢が形成する扇状地上に位置する。明治 34 年（1901）に地元の研究家・山田孝助によって「信濃国諏訪郡神明原の石器時代遺蹟」と題して発表された、諏訪地方で最初とされる学術論文の題材になった遺跡である。当時は「神明原遺跡」という名称で、大量の遺物が採集される場所として古くから知られていた。昭和 24 年（1949）に開墾によって遺物が多く出土し、この時の完形土器が宮坂光昭によって諏訪考古学研究所に持ち込まれて本遺跡は改めて注目されることとなり、地元高校の地歴部によって同年から翌年にかけて発掘調査が行われた（第 1 次調査）。その報告書で戸沢と宮坂が縄文時代中期初頭の土器型式の一つとして「梨久保式土器」を設定した。その後昭和 38・39 年（1963・64）にも宮坂らによって再調査が行われている（第 2 次調査）。本資料はそれら第 1 次、第 2 次調査の資料にあたり、前述の「梨久保式土器」の標式土器である深鉢も含まれる。なお遺跡はその重要性から昭和 59 年（1984）に国の史跡に指定されている。

後田原遺跡（岡谷市）

岡谷市の西側、天竜川の右岸に位置する。古くから遺物の出土が伝えられていたが、昭和 25 年（1950）に『川岸村誌』の編纂事業の中で数個の土器が発見された。それらは諏訪考古学研究

所に届けられて復元され、昭和 30 年（1955）に縄文時代中期の土器型式の一つとして「後田原式土器」が設定された。その標式土器の一部となったのが本資料である。

広畑遺跡（岡谷市）

天竜川の右岸、岡谷市川岸地区の高尾山麓の鶴峯丘陵上に位置する。豊富な遺物出土遺跡として古くから知られていた遺跡で、『諏訪史』第一巻にも細かく取り上げられており、昭和 4 年（1929）には伏見宮博英も訪れて発掘調査を行っている。昭和 21 年（1946）に諏訪考古学研究所が行った発掘調査で縄文後期の住居跡と土器を発掘した。昭和 26 年（1951）には『川岸村誌』編纂の一環として本格的な学術調査が行われている。遺物の内容から井戸尻遺跡の文化的様相との類似性が指摘されている。

大安寺遺跡（諏訪市）

通称「西山」と呼ばれる諏訪盆地南西部の山麓の、湖南北真志野地区に位置する。なだらかな北東向きの扇状地上にあり、古くから遺跡として注目されていた。名前の通り、寺院があったという伝承も残るが、これは定かではない。昭和 25 年（1950）に藤森らが発掘調査を実施し、縄文時代後期の敷石住居跡と後晩期の遺物が出土した。その際の資料が該当する。藤森、戸沢はその後、出土資料から縄文時代後期土器の一型式として「大安寺式土器」を設定した。その標式土器となった土器 1 個体を含む資料が該当する。

上ノ段遺跡（茅野市）

霧ヶ峰高原の八子ヶ峰の裾野と朝倉山の間に挟まれた扇状地上に位置する。古くから多量の石器が採集できることで知られ、昭和 10 年（1935）から 16 年までの間に宮坂英弐によって 4 回の発掘調査が実施され、その成果から縄文時代後～晩期の良好な集落遺跡として国史跡に指定された。藤森資料にも若干ながら本遺跡の資料があり、藤森が中部高地の縄文晩期土器の一例として用いている。

庄ノ畑遺跡（岡谷市）

諏訪湖の北岸、岡谷市内を流れる横河川の形成する扇状地上に位置する。本遺跡は大正末期に『諏訪史』第 1 巻の編纂に伴う調査が行われ、縄文土器とも弥生土器とも区別できない「中間性」が注目されて「庄ノ畑式土器」が設定され、古くから知られていた遺跡である。昭和 26 年（1951）に諏訪考古学研究所が小規模ながら発掘調査を実施し、層位的な出土状況により庄之畑式土器が縄文晩期氷式土器に後続する弥生土器であることが明らかとなった。これらを含む縄文晩期～弥生前期の中心とした遺物が遺されている。

中浜町遺跡（諏訪市）

ＪＲ上諏訪駅の北西側の沖積地に位置する。昭和 37 年（1962）に旅館の温泉工事に伴って地下約５ｍの深さから遺物が発見され、その報を受けた藤森がごく限られた時間と範囲ながら調査を行い、壷形土器、広口壷、甕形土器の破片や骨角器などが発見された。片羽町遺跡同様、現地表面下５ｍという立地はこの時代の諏訪湖の水位を含む古環境と人間との生業の関係を示し、また諏訪では骨のような有機遺物の出土はあまり例がなく、これも貴重な資料である。

天王垣外遺跡（岡谷市）

ＪＲ岡谷駅の北東にある天王森には津嶋神社が鎮座し、この境内を中心にした一帯に位置する。『諏訪史』第一巻に弥生時代の代表的な遺跡として取り上げられ、本遺跡出土の多量の玉類は当時の帝室博物館（現・東京国立博物館）に買い上げられるなど、早くから知られた遺跡である。藤森は昭和７年（1932）に「諏訪天王垣外発掘の弥生式土器及び石器」と題した報文を発表し、以後、藤森の弥生時代研究の本格的なスタートを切ることになった記念すべき遺跡でもある。

茶臼山古墳（諏訪市）

旧石器時代の著名な遺跡である茶臼山遺跡と同じ丘陵上に位置する。４基あったとされ、『諏訪史』第１巻にも記載があり古くから知られていたものの、詳細は不明であった。昭和 29 年（1954）、茶臼山の旧石器時代遺跡の調査中に土器が一括で発見され、その出土状況から藤森は中世の茶臼山城築城の際に破壊された古墳出土品の改葬跡と判断している。（ただし３号、４号古墳が壊された際、付近に出土品を埋めたという言い伝えも別に残っている。）古墳は現在全て失われており、遺物も多くは知られていない中で、本資料はその一端を示す貴重なものと言える。

コウモリ塚古墳（岡谷市）

岡谷市長地地区北側の山麓の小さな谷の中に位置する。南向きの山腹に作られた小円墳である。早い段階で盗掘を受けたと見られ、石室内部の撹乱が著しかったが、昭和 40 年（1965）に藤森らによって石室内部の詳細な調査が行われ、多数の副葬品が出土した。特に馬具類が非常に充実しており、これほどまでに揃った資料は質・量ともに諏訪地方では稀有であり、諏訪地方の重要な古墳の一つと評価されている。一部の資料が藤森資料に含まれており、鉸具、吊り環状飾り金具などがある。古墳は昭和 43 年（1968）に岡谷市史跡に指定されている。

青塚古墳（下諏訪町）

諏訪大社下社秋宮のすぐ北西に位置する。それなくしては諏訪の歴史は語れない存在である諏訪社のすぐ近くという立地条件等から、古くは江戸時代より注目されており、被葬者等について藤森をはじめ多くの研究者が考察を行ってきた。これまで何人かによって埴輪破片が採集されているが、点数は少ないものの前述の岡谷市滝沢益作の採集資料が諏訪考古学研究所に残されており、これは藤森が『下諏訪町誌』に写真で紹介している。なお本古墳は諏訪地方唯一の前方後円墳とされており、昭和 40 年（1965）に長野県史跡に指定されている。

資料目録
遺物実測図
写真図版

資料目録凡例

・資料番号は、昭和63年の藤森家から諏訪市への寄託時に付された箱番号があり、今回もこれに準拠した。
・遺跡名・採集地名は、原資料に付されている表記を基に、現在も該当する遺跡名がある場合はその遺跡名を表記した。また、アルファベットやローマ数字などで遺跡内の地点名が付けられている場合はそれも表記した。現在遺跡とされていない、もしくは該当する遺跡が不明な場合はその資料に付されている表記を用い、それに（　）をつけて区別した。
・点数の表記は、原則１点単位である。土器については「資料の内容」欄に「土器片」とある場合は１片単位を、「〇〇土器」などとある場合は完形もしくは復元された１個体の土器を指す。
・出土・採集地の所在する市町村が合併等をしている場合、平成23年9月現在の表記とした。
・資料の内容は、複数ある場合はその資料の代表的なものを記した。
・遺物の時期区分についてはあくまでも目安であり、黒耀石などで一箇所から多量の遺物が得られたものや、土器片で小片など区分が難しい場合は、代表的な時期に属させてカウントした。
・「その他」は金属製品および、骨など有機遺物や礫など自然遺物を指す。自然遺物については、遺跡もしくは遺物の遺存環境を示す資料と判断できるため、目録に含めた。ただし、資料点数のカウント方法は藤森が分類した箱単位で一括とした。
・１ケースに複数の遺跡の遺物が混在し区分できないものがある。その場合は「備考」欄に混入している旨を示した。
・法量については、完形もしくは復元土器で欠損のため正確な数値が得られないものは（　）をつけて参考の数値とした。
・曽根遺跡についてはすでに詳細な報告書が刊行されており、基本的にその報告に準拠しているが、今回の目録作成作業において新たに確認された資料や、カウント方法の違い等により、報告書と数値が一致しない部分がある。

実測図凡例

・実測図の縮尺は統一していないので、それぞれスケールを付して表記した。
・遺跡名の後ろの番号は資料目録の番号と対応している。
・実測図の出典は巻末に示した。

写真図版凡例

・写真図版の縮尺は不同である。
・写真は箱単位で、原則として資料の収納状態を撮影し、収納されている資料の点数が多量の場合は主なものを抽出した写真を付した。元の収納箱が存在しないものや、収納状態を変更したものは資料のみの写真とした。
・写真の番号は資料目録の資料番号と対応している。
・曽根遺跡の写真の一部は、曽根遺跡研究会より提供を受けた。

資料番号	遺跡名（採集地名）	現市町村名	資料の内容	点数	資料の時代および種類														法量・備考	掲載頁	
					土器								石器					その他		実測図	写真図版
					縄文	弥生	古墳	奈良・平安	中世	近世	土製品	その他	旧石器	縄文	弥生	石製品	その他				
1	茶臼山	諏訪市	ナイフ形石器等	4									4						市指定は別記（3点）	55	65
2	茶臼山	諏訪市	剥片	9									9							55	65
3	茶臼山	諏訪市	剥片等	11									11								65
4	茶臼山	諏訪市	剥片・石核	6									6						市指定は別記（2点）　「復原剥片」紙片あり　3点が接合		65
5	茶臼山	諏訪市	ナイフ形石器等	7									7						市指定は別記（5点）	55	65
6	茶臼山	諏訪市	ナイフ形石器等	6									6						市指定は別記（1点）　「上段掻器　下段　削器　揉錐器　横刃掻器」の紙片あり	55	65
7	雪不知	諏訪市	剥片	2									2								65
	茶臼山	諏訪市	剥片等	5									5								
	八島	諏訪市	掻器	1									1								
	富ヶ丘	下諏訪町	石核	1									1								
8	茶臼山	諏訪市	石斧等	3									3						市指定は別記（1点）	55	65
9	茶臼山	諏訪市	石斧等	1									1						市指定は別記（2点）		65
10	上ノ平	諏訪市	尖頭器	1									1								65
	雪不知	諏訪市	剥片	7									7								
	茶臼山	諏訪市	ナイフ形石器等	1									1						市指定は別記（2点）		
	八島	諏訪市	ナイフ形石器等	8									8							56	
	北踊場？	諏訪市	剥片	1									1								
11	雪不知	諏訪市	ナイフ形石器等	17									17							56	65
	茶臼山	諏訪市	ナイフ形石器	1									1								
12	雪不知	諏訪市	剥片	3									3								65
	茶臼山	諏訪市	ナイフ形石器等	15									15						市指定は別記（2点）		
13	茶臼山	諏訪市	剥片	10									10						市指定は別記（2点）	55	65
14	雪不知	諏訪市	ナイフ形石器	3									3							56	65
	茶臼山	諏訪市	ナイフ形石器等	17									17						市指定は別記（1点）	55	
	八島	諏訪市	ナイフ形石器等	4									4							56	
15	雪不知	諏訪市	ナイフ形石器等	31									31							56	65
16	上ノ平	諏訪市	尖頭器等	48									48								65
17	上ノ平	諏訪市	尖頭器等	16									16						他遺跡混入か		65
18	上ノ平	諏訪市	尖頭器等	25									25						「上の平型石槍uenodaira ti□e Point」紙片あり		65
19	上ノ平	諏訪市	尖頭器等	34									31	3						57	65
20	上ノ平	諏訪市	剥片等	44									44								65
21	上ノ平	諏訪市	剥片等	14									14								66
22	上ノ平	諏訪市	石核等	5									5								66
23	（南踊場）	諏訪市	石鏃・石斧等	30										30							66
24	北踊場	諏訪市	剥片等	16									16						「原料石材」の紙片あり		66
25	雪不知	諏訪市	剥片	1									1								66
	北踊場	諏訪市	尖頭器	35									35							57	
26	八島	諏訪市	尖頭器等	11									11							56	66
	北踊場	諏訪市	尖頭器等	9									9								

資料番号	遺跡名（採集地名）	現市町村名	資料の内容	点数	資料の時代および種類														法量・備考	掲載頁	
					土器								石器					その他		実測図	写真図版
					縄文	弥生	古墳	奈良・平安	中世	近世	土製品	その他	旧石器	縄文	弥生	石製品	その他				
27	北踊場	諏訪市	剥片等	12									12						「粗製石槍または石槍加工原料」紙片あり		66
28	北踊場	諏訪市	尖頭器	14									14							57	66
29	北踊場	諏訪市	尖頭器等	14									14						「石槍Point・掻器End scraper」紙片あり	57	66
30	北踊場	諏訪市	尖頭器等	13									13								66
31	北踊場	諏訪市	尖頭器等	20									20						「神子柴型ポイントPoint mikoshiba typ」紙片あり	57	66
32	北踊場	諏訪市	剥片等	43									43						「石槍　剥片　石鏃」紙片あり		66
33	北踊場	諏訪市	尖頭器等	32									32							57	66
34	北踊場	諏訪市	尖頭器等	13									13						「粗型石槍Rush point」紙片あり 他遺跡混入か		66
35	雪不知	諏訪市	剥片等	21									21						「剥片　長型・剣型」紙片あり 他遺跡混入か		66
36	雪不知	諏訪市	ナイフ形石器等	18									18								66
37	雪不知	諏訪市	ナイフ形石器等	18									18							56	66
38	雪不知	諏訪市	尖頭器等	17									17								66
39	雪不知	諏訪市	剥片等	19									19						「剥片　平型・小型」紙片あり		66
40	雪不知	諏訪市	ナイフ形石器等	21									21								66
	茶臼山	諏訪市	剥片	1									1								
	八島	諏訪市	剥片	4									4								
41	雪不知	諏訪市	剥片	45									45								67
	茶臼山	諏訪市	剥片	1									1								
42	北踊場？	諏訪市	尖頭器等	54									53	1					「上の平型ポイント」の紙片あり		67
43	八島	諏訪市	石核等	0															市指定のため別記		
44	八島	諏訪市	尖頭器等	0															市指定のため別記		
45	八島	諏訪市	尖頭器等	0															市指定のため別記		
46	八島	諏訪市	尖頭器等	0															市指定のため別記		
47	八島	諏訪市	尖頭器等	0															市指定のため別記		
48	八島	諏訪市	尖頭器等	0															市指定のため別記		
49	八島	諏訪市	尖頭器等	0															市指定のため別記		
50	八島	諏訪市	尖頭器等	0															市指定のため別記		
51	八島	諏訪市	尖頭器等	0															市指定のため別記		
52	八島	諏訪市	尖頭器等	0															市指定のため別記		
53	八島	諏訪市	尖頭器等	0															市指定のため別記		
54	八島	諏訪市	尖頭器等	0															市指定のため別記		
55	八島	諏訪市	石核・剥片等	0															市指定のため別記		
56	八島	諏訪市	剥片・石核	0															市指定のため別記		
57	八島	諏訪市	石核	0															市指定のため別記		
58	八島	諏訪市	石核等	0															市指定のため別記		
59	八島	諏訪市	黒耀石原石等	0															市指定のため別記		
60	八島	諏訪市	剥片・石核等	0															市指定のため別記		
61	曽根	諏訪市	剥片等	30										30					「ソネ型石核」の紙片あり		67

資料番号	遺跡名（採集地名）	現市町村名	資料の内容	点数	資料の時代および種類														法量・備考	掲載頁	
					土器								石器					その他		実測図	写真図版
					縄文	弥生	古墳	奈良・平安	中世	近世	土製品	その他	旧石器	縄文	弥生	石製品	その他				
62	曽根	諏訪市	石鏃	74										74						58	67
63	曽根	諏訪市	石鏃	75										75					「曽根円脚鏃　黒耀石以外　No.1」の紙片あり	58	67
64	曽根	諏訪市	石鏃	38										38					「長身鏃」の紙片あり	58	67
65	曽根	諏訪市	石鏃	34										34					長脚鏃についての解説を書いた紙片あり	58	67
66	曽根	諏訪市	石鏃	64										64					「三角鏃」の紙片あり	58	67
67	曽根	諏訪市	石鏃	62										62					「三角鏃　漆黒黒耀石」の紙片あり	58	67
68	曽根	諏訪市	石鏃	62										62					「三角鏃　漆黒黒耀石以外」の紙片あり	58	67
69	曽根	諏訪市	石鏃	48										48					「三角鏃　透明黒耀石」の紙片あり		67
70	曽根	諏訪市	石鏃	69										69							67
71	曽根	諏訪市	石鏃	30										30					円脚鏃についての解説を書いた紙片あり		67
72	曽根	諏訪市	石鏃	38										38					三角鏃についての解説を書いた紙片あり		67
73	曽根	諏訪市	石鏃	91										91					長脚鏃についての解説を書いた紙片あり	58	67
74	曽根	諏訪市	石鏃	64										64							67
75	曽根	諏訪市	石鏃	75										75						58	67
76	曽根	諏訪市	石鏃	57										57							67
77	曽根	諏訪市	石鏃等	58										58					剥片鏃についての解説を書いた紙片あり		68
78	曽根	諏訪市	石鏃等	69										69							68
79	曽根	諏訪市	石鏃等	48										48							68
80	曽根	諏訪市	尖頭器等	31										31					「Sone　Point　各形式」の紙片あり		68
81	曽根	諏訪市	石鏃	92										92						58	68
82	曽根	諏訪市	拇指状掻器等	42										42							68
83	曽根	諏訪市	拇指状掻器等	39										39							68
84	曽根	諏訪市	拇指状掻器等	39										39					「拇指状掻器　Thumb end scrap」の紙片あり		68
85	曽根	諏訪市	剥片等	44										44					「ネソ型石核　Sone tipe core」の紙片あり		68
86	曽根	諏訪市	石核等	44										44							68
87	曽根	諏訪市	石核等	31										31							68
88	曽根	諏訪市	石核等	45										45							68
89	曽根	諏訪市	石鏃等	83										83							68
90	曽根	諏訪市	剥片等	110	1									72				37			68
91	曽根	諏訪市	剥片等	63										63							68
92	曽根	諏訪市	石鏃	81										81							68
93	曽根	諏訪市	石鏃	68										68							68

資料番号	遺跡名（採集地名）	現市町村名	資料の内容	点数	資料の時代および種類														法量・備考	掲載頁	
					土器								石器					その他		実測図	写真図版
					縄文	弥生	古墳	奈良・平安	中世	近世	土製品	その他	旧石器	縄文	弥生	石製品	その他				
94	曽根	諏訪市	石鏃	62										62							68
95	曽根	諏訪市	石鏃	53										53						58	68
96	曽根	諏訪市	石鏃	44										44					もとは「ソネ」の文字状に並べられていた		68
97	曽根	諏訪市	獣骨	19														19	「獣骨　シカ　イノシシ　クマ　イヌ」の紙片あり		69
98	曽根	諏訪市	獣骨等	22														22	「獣骨類　いのしし　しか　きつね　あなぐま」の紙片あり 2点はクルミ		69
99	曽根	諏訪市	獣骨	30														30			69
100	曽根	諏訪市	土器片	32	32															58	69
101	曽根	諏訪市	土器片・石鏃	26	21									5					爪形文土器についての解説を書いた紙片あり	58	69
102	曽根	諏訪市	土器片・古銭等	259	167									87				5	小礫等4箱（78点）は一括		69
103	曽根	諏訪市	剥片等	381										381							69
104	曽根	諏訪市	剥片等	675	3									658				14			69
105	曽根	諏訪市	剥片等	522										520				2	小礫等1箱（106点）は一括		69
106	曽根	諏訪市	獣骨等	288	4									1				283	小礫等4箱（22点）は一括		69
107	曽根	諏訪市	石鏃・剥片等	309										309							69
108	曽根	諏訪市	石鏃・剥片等	443				1						423				19	「ソネ石屑」の紙片あり		69
109	（湯ノ脇平湯）	諏訪市	棒状石器	1										1							70
	上ノ平	諏訪市	局部磨製石斧	1										1						57	
	踊場	諏訪市	打製石斧	1										1							
	不明		剥片	1										1							
110	コウモリ塚古墳	岡谷市	石鏃	1										1					「石室発見」の表記あり		70
	下り林（下）	岡谷市	掻器等	3										3							
	樋沢	岡谷市	石鏃	9										9							
	天白	下諏訪町	掻器等	4										4							
	細久保（A）	諏訪市	石鏃等	19										19							
111	若宮（A・B）	諏訪市	石鏃等	42										42							70
112	穴場	諏訪市	石鏃・土錘	23								1		22							70
113	上ノ段・百姓地	茅野市・諏訪市	石鏃等	30										30							70
114	茶臼山他	諏訪市	石核・剥片	73									73						他遺跡混入か		70
115	富ヶ丘	下諏訪町	尖頭器等	17									17						表面採集資料		70
116	富ヶ丘	下諏訪町	ナイフ形石器等	37									31	6					表面採集資料		70
117	芝ノ木	茅野市	石鏃等	57										57					「昭和27年5月3日米沢村塩澤芝之木約1時間の表採」のラベルあり		70
118	千鹿頭社	諏訪市	土器片・石匙等	24	5									19							70
119	細久保（B）	諏訪市	石鏃等	11										11							70
	明星屋敷	諏訪市	石鏃等	22										22							
120	広畑	岡谷市	石鏃等	54										54							70
121	上ノ段	茅野市	石鏃・磨製石斧等	11										11							70

資料番号	遺跡名（採集地名）	現市町村名	資料の内容	点数	資料の時代および種類														法量・備考	掲載頁	
					土器								石器					その他		実測図	写真図版
					縄文	弥生	古墳	奈良・平安	中世	近世	土製品	その他	旧石器	縄文	弥生	石製品	その他				
122	海戸・丸山	岡谷市	石鏃等	68										68					「滝沢益作採集」表記あり		70
123	不明		石鏃等	56										56					「藤森少年期の表採　各地　地名不詳」のラベルあり		70
124	藤内	富士見町	炭化栗	48														48	第9号竪穴		70
125	中浜町	諏訪市	土器片	49		49														62	70
126	細久保？	諏訪市	土器片・石鏃	74	71									3							71
127	丸山海戸	岡谷市	土器片	15	15																71
128	神殿	下諏訪町	土器片	7	7														神殿式標式土器		71
129	丸山海戸	岡谷市	土器片	56	56																71
130	小田野	下諏訪町	土器片	78	78																71
131	踊場	諏訪市	土器片・剥片	83	82									1					「踊場A」「踊場C」「踊場(下)」ラベルあり		71
132	（ヒトボシ）	岡谷市	土器片	37	37														現・火燈古墳付近か		71
	ケツヨリ	茅野市	土器片	12	12																
	不明		剥片	1										1							
133	横道	岡谷市	土器片	1		1															71
	慈雲寺	下諏訪町	古瓦片	1														1			
	四ッ塚古墳	諏訪市	須恵器片	1			1														
	（台北円山）	台湾	石器	1													1				
	（勝弦）	岡谷市	土器片	1	1																
	不明		土器片・石器等	5	2	1											1	1			
134	庄之畑（旧）	岡谷市	土器片	21	21															61	71
135	よせの台	茅野市	土器片	46	46																71
136	よせの台	茅野市	土器片	55	55																72
137	丸山海戸	岡谷市	土器片	26	26																72
138	よせの台	茅野市	土器片・須恵器等	56	53		1											2			72
139	丸山海戸	岡谷市	土器片	55	55															61	72
140	カーゴ石	諏訪市	土器片	13	13																72
141	梨久保	岡谷市	土器片	41	41																72
142	石塚	塩尻市	土器片	13	13																72
	浪人塚	下諏訪町	土器片・石鏃等	61	57									4							
	（後山大原）	諏訪市？	土器片	4	4																
	（福沢山）	諏訪市？	土器片	12	12																
	（富士見中学敷地）	富士見町	土器片	3	3														現・富士見中学校		
143	梨久保	岡谷市	土器片	57	57																72
144	（山之神）	諏訪市	土器片・石器	26	20									6							72
	（大和渡辺沢）	諏訪市	土器片・石鏃等	43	38									5							
145	鬼戸	岡谷市	須恵器片	3			3														73
	（西堀）	岡谷市？	須恵器片	2				2													
	（鉢伏山頂）	岡谷市？	須恵器片	1				1													
	秋宮境内	下諏訪町	須恵器片	2				2													
	（前宮境内）	茅野市	石器	1												1			「大正九年七月採集□□堂」表記あり		
	不明		須恵器片等	4			2	1				1									

資料番号	遺跡名（採集地名）	現市町村名	資料の内容	点数	資料の時代および種類														法量・備考	掲載頁	
					土器								石器					その他		実測図	写真図版
					縄文	弥生	古墳	奈良・平安	中世	近世	土製品	その他	旧石器	縄文	弥生	石製品	その他				
146	（岡谷駅裏）	岡谷市	土器片	1		1													横道遺跡か		
	（上浜）	岡谷市	土器片	2		1		1													
	（上浜北部）	岡谷市	土器片	7			6					1									73
	（天王森）	岡谷市	土器片・かわらけ	1						1									現・天王垣外遺跡か		
	不明		土器片等	33	3	7	4	11		6		2									
147	（間下高尾山）	岡谷市	土器片	41	41																
	広畑	岡谷市	土器片	1	1																73
	九兵衛尾根	富士見町	土器片	1	1																
148	梨久保（B）	岡谷市	土器片・石器	57	54									3					「細久保B地点1　五一・五・二七」ラベルあり		73
149	梨久保（B）	岡谷市	土器片	7	7																73
150	（東山田小田野）	下諏訪町	打製石斧等	94										94							73
151	曽利	富士見町	打製石斧等	27										27							73
152	樋沢	岡谷市	剥片等	183										183					「樋沢道下　七・一九表採」「Fトレンチ上層　7.30」および調査地点・調査日を記入した小ラベルあり　一部に日本古代文化学会の用紙を包み紙に用いている		73
153	踊場	諏訪市	剥片等	767										767							74
154	（北の庭）		土器片等	39		3	35										1		藤森家の庭？		74
155	上ノ段	茅野市	土器片	42	42															61	74
156	長塚	岡谷市	埴輪片	3			3														
	青塚古墳	下諏訪町	埴輪片	10			10														74
	松島王墓古墳	箕輪町	埴輪片	4			4														
	不明		埴輪片	4	2		2														
157	上ノ段	茅野市	土器片	53	53															61	74
158	梨久保	岡谷市	土器片	37	37																74
159	横道	岡谷市	土器片・剥片	41		32	7	1						1					「岡谷駅裏」の注記あり		74
160	（大和台溝）	諏訪市	土器片・石器	67	55									12							74
161	東北資料等	東北地方	土器片	11	11																74
162	（矢倉沢）	岡谷市	二次加工石器	1										1					現・清水田遺跡付近か		
	広畑	岡谷市	石鏃	1										1					51.5.27日付あり		
	（蓼ノ海入口）	諏訪市	石鏃	1										1					51.5.27日付あり		
	科ノ木（A）	諏訪市	石鏃等	3										3					51.5.13および27日付あり		
	科ノ木（B）	諏訪市	石鏃等	3										3					51.5.13および29日付あり		
	細久保（B）	諏訪市	石鏃等	5										5					51.5.27日付あり　「松沢の調査の際」出土の表記あり		
	清水窪	諏訪市	磨製石鏃	1											1						75
	大安寺	諏訪市	石鏃・石錐等	3										3							
	ケツヨリ	茅野市	石鏃・剥片	2										2							
	よせの台	茅野市	石鏃・石匙等	9										8				1	昭和27年5月3日発掘資料		
	下島	茅野市	石匙	1										1					完形土器（№405）と同一ピット出土		
	平出		二次加工石器	1										1							
	不明		石鏃等	32	16		13							3							

資料番号	遺跡名（採集地名）	現市町村名	資料の内容	点数	資料の時代および種類														法量・備考	掲載頁	
					土器								石器					その他		実測図	写真図版
					縄文	弥生	古墳	奈良・平安	中世	近世	土製品	その他	旧石器	縄文	弥生	石製品	その他				
163	峯畑	岡谷市	土器片	1	1																
	（高尾山）	岡谷市？	土器片	4	4																
	（中沢）	岡谷市？	土器片	1	1																
	宮木	辰野町？	土器片	1	1																75
	不明		土器片	9	9																
	（宿平）		土器片	1	1														「伊那富小学校郷土室」ラベル添付		
	（中ノ沢若栗）		土器片	1	1																
164	細久保	諏訪市	土器片	70	70																75
165	細久保（B）	諏訪市	土器片	50	50																75
166	細久保（B）	諏訪市	土器・黒耀石原石	71	70									1							75
167	細久保（B）	諏訪市	土器片	40	40																75
168	センノウ	下諏訪町	土器片・剥片	25	25																
	赤渋山	下諏訪町	土器	15	15																75
	浪人塚	下諏訪町	土器片・剥片	27	27																
169	庄之畑（Ⅲ）	岡谷市	土器片・剥片等	68		53	6							8				1			75
170	庄之畑	岡谷市	土器片・剥片等	76	49									27					旅館「やまのや」のマッチ箱あり	61	75
171	庄之畑	岡谷市	土器片	49	4	45															76
172	庄之畑	岡谷市	土器片	71	5	66														61	76
173	稲荷平	下諏訪町	土器片・石匙等	50	46									4							76
174	庄之畑	岡谷市	土器片・剥片	89	10	72								7					「庄ノ畑Ⅲ地点第3層出土②」および諏訪考古学研究所名刺裏に「第Ⅳ地点50糎以上」の紙片あり		76
	丸山	岡谷市	土器片	1		1															
175	藤内	富士見町	土器片	15	15																76
176	（北の庭）		土器片・礫	79				78										1	藤森家の庭？		76
177	（北の庭）		土器片	78				78											藤森家の庭？		76
178	（向屋敷）		土器片	16	2			14													76
179	科ノ木	諏訪市	土器片	66	66														「SB1」の注記あり		76
	ケツヨリ	茅野市	土器片	1	1																
180	本城他		土器片	46	46														他「下スワ天白」等あり		77
181	武居畑	諏訪市	土器片・石鏃等	119	114									5							77
182	下り林	岡谷市	土器片	58	47							11									77
183	丸山海戸	岡谷市	土器片	31	31																77
184	手長丘1号	諏訪市	打製石斧	1										1							
	踊場	諏訪市	土器片・石器等	122	103									5				14			77
	（湯川）	茅野市？	土器片	1	1																
	不明		土器片	1	1														「北」の注記		
185	天白	下諏訪町	剥片等	64										64							
	富ヶ丘	下諏訪町	石核	1									1						表採資料		
	（立石）	諏訪市	土錘・剥片等	14					1					13					「1953.10.11表採黒耀石」紙片あり		77
	松原	諏訪市	剥片等	44										44							
	前踊場	諏訪市	土器片・石鏃等	68	2									66					「昭28.8.22前踊場試掘 Scraps」紙片あり		
	八島	諏訪市	尖頭器等	78									78								

資料番号	遺跡名（採集地名）	現市町村名	資料の内容	点数	資料の時代および種類														法量・備考	掲載頁	
					土器								石器					その他		実測図	写真図版
					縄文	弥生	古墳	奈良・平安	中世	近世	土製品	その他	旧石器	縄文	弥生	石製品	その他				
186	（岡谷水道部のある丘）	岡谷市	土器片・剥片等	25	6									19							77
	下り林	岡谷市	土器片・剥片等	5	4									1							
	今井十五社境内	岡谷市	土器片・剥片等	22	2									20							
	踊場？	諏訪市	石核	1										1							
	池の平		石核	1										1							
	不明		土器片・剥片等	10	5									5							
187	若宮（Ａ・Ｂ）	諏訪市	土器片・石器等	98	93						1			4							77
	（手長岡）	諏訪市	磨製石斧	1										1							
188	広畑	岡谷市	土器片	2	2																78
	大安寺	諏訪市	土器片・黒耀石	23	22									1							
	不明		土器片	2	2																
189	下り林上	岡谷市	土器片	54	54														「史実会1948」ラベル添付		78
190	よせの台	茅野市	土器片	69	69																78
191	高部	茅野市	灰釉陶器	16				16													78
192	百姓地	諏訪市	土器片	25	25																78
193	（鶴寝山下）	岡谷市	打製石斧	1											1				現・鶴峯公園付近か		78
	海戸	岡谷市	打製石斧	1											1						
	丸山	岡谷市	打製石斧	16											16						
194	百姓地	諏訪市	土器片	36	36																78
195	今泉	伊那市	打製石斧	3										3							78
	（高尾山）	岡谷市	打製石斧	2										2					「昭和十八年四月」注記あり		
	広畑	岡谷市	打製石斧	1										1							
	藤内	富士見町	打製石斧	1										1							
	不明		打製石斧	9										9							
196	（今井上ノ原）	岡谷市	土器片	1	1														現・上向遺跡付近？		79
	鋳揚げ	諏訪市	土器片	20	20																
	（今井上ノ原？）		土器片	23	23																
197	百姓地	諏訪市	土器片	26	26																79
198	（南の庭）		土器片・剥片等	95	2	2		84						7					藤森家の庭か		79
199	（横河川）	岡谷市	打製石斧	1										1							79
	菊沢	茅野市	打製石斧	1										1							
	新道	富士見町	打製・磨製石斧	10										10					1号竪穴出土		
	不明		打製石斧等	136										136					「8-28　-30　褐色土層　トレンチ」ラベルあり		
200	天王垣外	岡谷市	土器・石器	39		37	1								1						79
201	よせの台	茅野市	土器片・剥片	75	74									1							79
202	後田原	岡谷市	土器片等	50	46		2	1						1							79
203	藤内	富士見町	土器片	10	10																79
204	丸山海戸	岡谷市	土器片・石鏃等	35	30									5					古墳（遺跡不明）の写真2枚あり		79
205	橋原	岡谷市	土器片等	29		27		1							1						80
	広畑	岡谷市	土器片	1		1															

資料番号	遺跡名（採集地名）	現市町村名	資料の内容	点数	資料の時代および種類														法量・備考	掲載頁	
					土器								石器					その他		実測図	写真図版
					縄文	弥生	古墳	奈良・平安	中世	近世	土製品	その他	旧石器	縄文	弥生	石製品	その他				
206	天王垣外	岡谷市	土器片	55	3	52															80
207	丸山海戸	岡谷市	土器片	48	4	40	4														80
208	西志賀	愛知県	土器片	4		4															
	後田原	岡谷市	土器片	13		13															80
	本城	諏訪市	土器片	6		6															
	林里	豊丘村	土器片	1		1															
	不明		土器片	2		1		1													
209	庄之畑（Ⅲ）	岡谷市	土器片	44		40									4				「庄之畑Ⅲ地点　土器群C　－80cm」の紙片あり		80
210	下り林（A）	岡谷市	礫器・剥片	125										125					「A地点礫器」ラベルあり		80
211	丸山	岡谷市	土器片	26	26																80
212	(岡谷旧野球場)	岡谷市	剥片等	2										2							
	今井十五社境内	岡谷市	剥片等	1										1							
	寺平	下諏訪町	土器片・石鏃等	25	2									23							
	（後山）	諏訪市	剥片等	8										8							80
	前踊場	諏訪市	剥片等	25										25					「54 3/31　松沢□生採集」紙片あり		
	不明		剥片等	33	2									31							
	御射山		剥片等	23										23					「御射山　清陵生採集」紙片あり		
213	庄之畑	岡谷市	磨石等	9											9						80
214	梨久保	岡谷市	打製石斧・凹石	25										25							80
215	丸山	岡谷市	磨製石斧	1										1							81
	不明		磨製石斧等	10										10							
216	丸山	岡谷市	土器片	28	28																81
	（上諏訪中校庭・北小路・湯の脇）	諏訪市	炭化材	3														3	袋・箱単位 （北小路）39年2月1日採集の記載あり （上諏訪中）1951年12月25日整理の記載あり		81
217	不明		貝殻・礫	1														1	27点一括　海岸部採集か		81
218	広畑	岡谷市	土器片	38	38																81
219	丸山海戸	岡谷市	土器片・礫	21	20													1			81
220	細久保？	諏訪市	石器	21										21					遺跡混在か　「スカイライン八島予備調査の折」ラベルあり		81
221	茶臼山古墳	諏訪市	土師器	93			93												近年の損壊あり		81
222	晴ヶ峰	茅野市	土器片	28	28														晴ヶ峰式土器　拓本2枚あり		81
223	踊場？	諏訪市	剥片等	891										891					旧石器含むか		82
224	雪不知	諏訪市	剥片等	692									692						袋に第一回発掘、地点・層位の表記あり　縄文含むか		82
225	西八木	兵庫県	礫	1														1	27点一括　海岸部採集か		82
226	明星屋敷	諏訪市	土器片	145	145																82
227	明星屋敷	諏訪市	剥片等・炭	71										69				2	炭は袋単位		82
228	ハタ河原	諏訪市	磨石	5										5							82

資料番号	遺跡名（採集地名）	現市町村名	資料の内容	点数	資料の時代および種類														法量・備考	掲載頁	
					土器								石器					その他		実測図	写真図版
					縄文	弥生	古墳	奈良・平安	中世	近世	土製品	その他	旧石器	縄文	弥生	石製品	その他				
229	八島（B）	諏訪市	尖頭器等	35									35						ビーナスライン調査		82
230	八島（A）	諏訪市	尖頭器等	27									27						ビーナスライン調査		82
231	明星屋敷	諏訪市	磨石等	6										6							83
232	明星屋敷	諏訪市	磨石・凹石等	8										8							83
233	ハタ河原	諏訪市	土器片・石鏃等	145	13									132							83
234	八島（A）	諏訪市	剥片等	91									91						ビーナスライン調査		83
235	八島（A）	諏訪市	石器・かわらけ	263					2				261						ビーナスライン調査		83
236	八島（C）	諏訪市	石器	5									5								83
237	雪不知	諏訪市	石器	15									15								83
238	（水月公園）	下諏訪町	土器片・剥片等	223	1									222					「1日目　米70(カベ)　中村」「4トレンチ　40.8.3出土」「4トレンチ　-70まで8月1日」のラベルあり		83
239	片羽町	諏訪市	土層サンプル	5														5	袋単位		83
240	海戸	岡谷市	土器片	25	25														昭和39年11月28日の日付と採集土層を記したラベルあり		83
241	不明		土器片・剥片等	42	3									38		1					84
242	下り林（下）	岡谷市	土器片	26	26																84
243	ハタ河原	諏訪市	土器片・剥片等	141	30									111							84
244	明星屋敷	諏訪市	土器片・磨製石斧	43	42									1							84
245	ハタ河原	諏訪市	土器片・剥片等	215	10									205							84
246	百姓地	諏訪市	黒耀石原石等	33										33							84
247	茶臼山	諏訪市	石核・剥片	33									33								84
248	丸山	岡谷市	土器片・石鏃等	268	5									263							84
249	コウモリ塚古墳	岡谷市	骨片・炭等	4														4	袋単位		84
250	富ヶ丘	下諏訪町	石鏃・剥片等	506	2									504					旧石器含むか		84
251	茶臼山	諏訪市	剥片等	1051									1051								85
252	茶臼山他	諏訪市	剥片等	31									31						他遺跡混入か		85
253	茶臼山	諏訪市	剥片等	19									19								85
254	茶臼山	諏訪市	剥片等	20									20								85
255	茶臼山	諏訪市	剥片等	38									38								85
256	茶臼山	諏訪市	剥片等	23									23								85
257	茶臼山	諏訪市	剥片等	109									107	2					他遺跡混入か		85
258	富ヶ丘	下諏訪町	剥片等	7									6	1					箱は「尖石」と表記		85
	曽根？	諏訪市	石鏃・剥片等	837	3									799				35	他遺跡混在		
	不明		石核・剥片	6									6								
259	中浜町	諏訪市	土器片	16		16														62	85
260	片羽町	諏訪市	土器片・剥片等	37	18									14				5			85
261	片羽町	諏訪市	土器片	30	30															59	85
262	中浜町	諏訪市	礫等	1														1	一括		85
263	天白	下諏訪町	土器片・剥片等	17	11									5				1			86
264	（湯ノ脇平湯）	諏訪市	泥塊	1														1	一括　「湯之脇平湯　－6m　泥塊岩」のラベルあり		86
265	（水月公園）	下諏訪町	黒耀石原石	35									35						「ローム土中包含」ラベルあり		86

資料番号	遺跡名（採集地名）	現市町村名	資料の内容	点数	資料の時代および種類														法量・備考	掲載頁	
					土器								石器					その他		実測図	写真図版
					縄文	弥生	古墳	奈良・平安	中世	近世	土製品	その他	旧石器	縄文	弥生	石製品	その他				
266	相沢久保	下諏訪町	礫	4														4	「蛋白石原塊」ラベルあり		86
	（信濃境）	富士見町	礫	3														3	「角閃□岩」ラベルあり		
267	小田野	下諏訪町	土器片・礫	8	3													5			86
	雪不知	諏訪市	土器片	2	2																
268	百姓地	諏訪市	土器片	1	1																86
	藤内	富士見町	土器片	1	1																
	不明		土器片	3	3																
269	梨久保	岡谷市	土器片	2	2																86
	高木	下諏訪町	土器片	1	1																
	（白州町鳥原）	山梨県	土器片	1	1																
	不明		土器片	2	1			1													
270	樋沢	岡谷市	土器片	17	17																86
271	茶臼山他	諏訪市	剥片等	20									20								86
272	細久保（A）	諏訪市	土器片・石鏃等	82	70									12							86
273	樋沢	岡谷市	土器片	26	26																87
274	下り林（下）	岡谷市	土器片	50	50																87
275	明星屋敷	諏訪市	土器片・石鏃	40	39									1							87
276	樋沢	岡谷市	土器片	109	109																87
277	茶臼山	諏訪市	剥片等	26									26								87
278	樋沢	岡谷市	土器片	21	21																87
279	細久保	諏訪市	土器片	57	57																87
280	ハタ河原	諏訪市	土器片・剥片等	97	27									70					「ハタ河原1号地」「ハタ河原2号地」ラベルあり		87
281	ハタ河原	諏訪市	土器片	41	41																87
282	明星屋敷	諏訪市	土器片	67	67														「だ円文　山形文其他　1964　扱中村」の紙片あり		87
283	池ノ平	茅野市	土器片	67	67																88
284	（冷山）	茅野市	黒耀石原石	8														8	研究所名刺裏に「大石峠原石」表記		88
285	下り林（上層）	岡谷市	土器片	79	79														「1948　山校　史実会」ラベル一部貼付		88
286	梨久保	岡谷市	土器片	44	44																88
287	梨久保	岡谷市	土器片	38	38														口縁部接合		88
288	丸山海戸	岡谷市	土器片	34	34																88
289	丸山海戸	岡谷市	土器片	18	18																88
290	丸山海戸	岡谷市	土器片	30	30																88
291	丸山海戸	岡谷市	土器片	32	32																88
292	丸山海戸	岡谷市	土器片	25	25																88
293	丸山海戸	岡谷市	土器片	39	39																89
294	丸山海戸	岡谷市	土器片	13	13																89
295	瘤沢	下諏訪町	土器片・石鏃等	40	37									3							89
	（山ノ神）	諏訪市	土器片	27	27																
296	踊場	諏訪市	土器片	93	93														「踊場B」ラベルあり		89
297	下島	茅野市	土器片	34	34																89

資料番号	遺跡名（採集地名）	現市町村名	資料の内容	点数	資料の時代および種類														法量・備考	掲載頁	
					土器								石器					その他		実測図	写真図版
					縄文	弥生	古墳	奈良・平安	中世	近世	土製品	その他	旧石器	縄文	弥生	石製品	その他				
298	不明		土器片	2	2														301と同一個体		89
299	不明		土器片	4	4																89
300	（木舟金山沢）	茅野市	土器底部	10	10														「1950.8.11新発見」の注記あり 接合可能		89
301	不明		土器片	2	2														1点は298と同一個体		89
302	雨境峠	立科町	剥片	3										3							89
	なし		黒耀石焼成見本	5														5			
	不明		黒耀石原石等	2										2							
303	野尻湖弁天島	信濃町	有茎尖頭器	1										1							90
	星ヶ塔	下諏訪町	黒耀石原石	6														6			
304	コウモリ塚古墳	岡谷市	馬具等	18														18			90
	古岩窪岩陰	諏訪市	馬具、勾玉等	62												60		2			
305	（庄の畑天王森）	岡谷市	勾玉・管玉	6												6			現・天王垣外遺跡か		90
	旧御射山	諏訪市・下諏訪町	青磁・陶器	7								7									
	（乞食穴）	茅野市	石鏃・歯	5										1				4			
	（いち峠）	諏訪市	石製模造品	1												1			北大塩峠の古名 採集地は現・御幣平B遺跡		
306	海戸	岡谷市	土偶片	1							1										90
	丸山	岡谷市	土器片・土偶片	2	1						1										
	穴場	諏訪市	土偶片	1							1										
	一本椹	茅野市	土偶片	1							1										
	上ノ段	茅野市	土偶片	1	1																
	不明		土器片・土製品	3	1						2										
307	海戸	岡谷市	土錘・貝輪等	18							15					1		2			90
	土田	下諏訪町	耳飾	2							2										
	鋳揚げ	諏訪市	耳飾	1							1										
	上ノ段	茅野市	耳飾	1							1										
308	石見		籾殻付粘土塊	2														2			90
309	中浜町	諏訪市	獣骨・角	6														6			90
310	（東餅屋川）	長和町	柘榴石	1														1	205点一括		90
	霧ヶ峰		黒耀石原石	19														19	「ローム中包含」表記あり		
311	丸山	岡谷市	打製石斧等	2										1	1						90
	穴場	諏訪市	打製石斧	1										1							
	不明		磨製石鏃等	4										1	3				注記あり		
312	中浜町	諏訪市	剥片・骨角器等	13										7				6		62	90
313	なし		勾玉鋳造模型	3														3	鋳造勾玉および鋳型		90
314	広畑	岡谷市	石錘	4										4							90
	穴場	諏訪市	磨製石斧	1										1							
	尖石	茅野市	磨製石斧	1										1							
	（城山？）	茅野市？	磨製石斧	1										1							
	不明		磨製石斧・石錘	9										9							

資料番号	遺跡名（採集地名）	現市町村名	資料の内容	点数	資料の時代および種類														法量・備考	掲載頁	
					土器								石器					その他		実測図	写真図版
					縄文	弥生	古墳	奈良・平安	中世	近世	土製品	その他	旧石器	縄文	弥生	石製品	その他				
315	海戸	岡谷市	磨製石斧	1										1							91
	丸山	岡谷市	磨製石斧	1										1							
	（柏木）	原村	磨製石斧	1										1							
	不明		磨製石斧	3										3							
316	横道	岡谷市	磨製石斧	1										1							91
	清水窪	諏訪市	磨製石斧	1										1							
	不明		磨製石斧	8										8							
317	梨久保	岡谷市	石鏃・石斧等	7										7							91
	踊場	諏訪市	磨製石斧	1										1							
	不明		石鏃・石匙等	5										5							
318	丸山	岡谷市	石匙	2										2							91
	一本椹	茅野市	石匙	1										1							
	不明		石匙	15										15							
319	丸山	岡谷市	石匙	4										4							91
	長塚	岡谷市	石匙	1										1							
	一本椹	茅野市	石匙	1										1							
	台ヶ原	山梨県	石匙	1										1							
	不明		石匙	6										6							
320	丸山	岡谷市	石包丁	2											2						91
	（三沢明神池）	岡谷市？	石包丁	1											1						
	不明		石包丁	1											1						
321	今泉	伊那市	打製石斧	2										2							91
	広畑	岡谷市	石錘等	2										2							
	長塚	岡谷市	石錘	1										1							
	市田		石錘	1										1							
	不明		石錘	1										1							
322	広畑	岡谷市	磨製石斧	1										1							91
	（大和高尾）	諏訪市	磨製石斧	1										1							
	百姓地	諏訪市	磨製石斧	1										1							
	（清水）		磨製石斧	1										1							
	不明		磨製石斧	4										4							
323	神之原	茅野市	打製石斧	1										1							91
	尖石	茅野市	打製石斧	1										1							
	不明		打製石斧等	5										5							
324	ハタ河原	諏訪市	打製石斧	4										4							91
325	不明		打製石斧	6										6					統一ラベルあり		92
326	不明		打製石斧	4										4							92
327	丸山	岡谷市	打製石斧	1										1							92
	尖石	茅野市	磨製石斧	1										1							
	不明		打製石斧	2										2							
328	不明		打製石斧	3										3							92

資料番号	遺跡名（採集地名）	現市町村名	資料の内容	点数	資料の時代および種類														法量・備考	掲載頁	
					土器								石器					その他		実測図	写真図版
					縄文	弥生	古墳	奈良・平安	中世	近世	土製品	その他	旧石器	縄文	弥生	石製品	その他				
329	丸山？	岡谷市	磨製石斧	1										1					注記不鮮明		
	雨境峠	立科町	打製石斧	1										1							92
	不明		打製石斧	1										1							
330	広畑	岡谷市	磨製石斧	3										3							
	御拝所	沖縄県	磨製石斧	1													1				92
	穴場	諏訪市	磨製石斧	2										2							
	不明		磨製石斧	2										2							
331	丸山	岡谷市	石匙	8										8							
	広畑	岡谷市	石匙	1										1							
	細久保（B）	諏訪市	石匙	1										1							92
	（城ヶ尾根）		石匙	1										1							
	不明		石匙	5										5							
332	丸山	岡谷市	石匙	11										11							92
333	丸山	岡谷市	磨製石斧	2										2							
	（角間川）	諏訪市	磨製石斧	1										1							92
	百姓地	諏訪市	磨製石斧	1										1							
	不明		磨製石斧	5										5							
334	横道	岡谷市	磨製石斧	1										1							
	荒神山	諏訪市	磨製石斧	1										1							92
	（大和）	諏訪市	磨製石斧	1										1							
	（御蔵島）	諏訪市？	磨製石斧	1										1					現・郷蔵島遺跡か		
335	横道	岡谷市	磨製石斧	1										1							
	（高丘村）	中野市？	磨製石斧	1										1							93
	不明		磨製石斧	3										3							
336	丸山	岡谷市	磨製石斧	1										1							93
	（御社宮寺平）	諏訪市	磨製石斧	3										3					現・ミシャグチ平遺跡か		
337	丸山	岡谷市	磨製石斧	2										2							93
	不明		磨製石斧	3										3					1点細久保か		
338	丸山	岡谷市	磨製石斧	4											4						93
339	庄之畑	岡谷市	石包丁等	6											6						93
340	尖石	茅野市	打製石斧	4											4						93
341	百姓地	諏訪市	打製石斧	1											1						93
	踊場	諏訪市	打製石斧	6											6						
342	不明		古瓦片	1								1									93
343	不明		乳棒状石斧等	6											6						93
344	今泉	伊那市	打製石斧	2										2							93
345	(間下高尾山西)	岡谷市	打製石斧	4										4							
	横道	岡谷市	打製石斧	1										1							
	海戸	岡谷市	打製石斧	1										1							94
	丸山	岡谷市	打製石斧	2										2							
	広畑	岡谷市	打製石斧	1										1							
346	殿村	下諏訪町	タニシ貝殻	1														1	一括、現生ﾀﾆｼ含む？		94

資料番号	遺跡名（採集地名）	現市町村名	資料の内容	点数	資料の時代および種類														法量・備考	掲載頁	
					土器								石器					その他		実測図	写真図版
					縄文	弥生	古墳	奈良・平安	中世	近世	土製品	その他	旧石器	縄文	弥生	石製品	その他				
347	梨久保	岡谷市	石皿	1										1							94
348	（角間橋）	諏訪市	石錠	1												1					94
349	丸山	岡谷市	石皿	1										1							94
350	新道	富士見町	石皿	1										1							94
351	丸山	岡谷市	磨石	1										1							94
352	不明		打製石斧等	6										6							94
353	ハタ河原	諏訪市	打製石斧	1										1							94
354	（中谷）	岡谷市？	打製石斧	1										1					中屋か		94
355	下り林（C）	岡谷市	磨石・礫器	2										2							95
356	百姓地	諏訪市	壷形土器	1	1														高23.4径15.0		95
357	清水窪	諏訪市	壷形土器	1		1													高15.5径（5.0）　口縁部欠損		95
358	清水窪	諏訪市	台付土器	1		1													高13.5径12.6		95
359	清水窪	諏訪市	台付土器	1		1													高13.1径16.7		95
360	清水窪	諏訪市	壷形土器頸部	1		1													高（13.1）径（17.8）		95
361	清水窪	諏訪市	小型土器	1		1													高4.7径8.3		95
362	清水窪	諏訪市	台付土器台部	1		1															95
363	不明		壷形土器頸部	1		1															95
364	高島城跡	諏訪市	灯明皿	2						2											95
365	切掛	富士見町	壷形土器	1	1														高24.8径11.9	60	95
366	間下	岡谷市	壷形土器	1	1														高3.8径11.8		95
367	不明		壷形土器頸部	1		1															95
368	茶臼山古墳	諏訪市	土師器坩	1			1												高12.0径9.0	62	95
369	茶臼山古墳	諏訪市	土師器壷	1			1												高14.0径8.2		95
370	茶臼山古墳	諏訪市	土師器坏	3			3												高6.2径17.0　高7.0径16.6 高5.8径16.0	62	95
371	茶臼山古墳	諏訪市	土師器埦	2			2												高5.9径11.5　高6.2径10.8	62	95
372	茶臼山古墳	諏訪市	土師器盌	3			3												高9.0径9.5　高8.0径11.3 高9.3径11.5	62	95
373	茶臼山古墳	諏訪市	土師器高坏	2			2												高15.0径18.2　高12.2径17.5	62	95
374	新道	富士見町	有孔鍔付土器	1	1														高34.8径21.0　新道式標式土器	60	96
375	新道	富士見町	浅鉢形土器	1	1														高10.0径26.3　新道式標式土器	60	96
376	新道	富士見町	台付土器	1	1														高15.2径9.0　新道式標式土器	60	96
377	新道	富士見町	深鉢形土器	1	1														高18.4径14.7　新道式標式土器	60	96
378	新道	富士見町	深鉢形土器	1	1														高14.0径20.1　新道式標式土器	60	96
379	新道	富士見町	深鉢形土器	1	1														高22.5径20.5　新道式標式土器	60	96
380	穴場	諏訪市	深鉢底部	1	1														高11.6径13.9		96
381	不明		埋甕胴部	1	1														高（21.7）径21.5		96
382	横道	岡谷市	壷形土器	1		1													高4.8径11.8		96
383	井戸尻	富士見町	深鉢形土器	1	1														高16.5径10.6		96
384	梨久保	岡谷市	深鉢形土器	1	1														高22.7径20.4		96
385	不明		土師器高坏片	10			10														96
386	井戸尻	富士見町	有孔鍔付土器	1	1														高8.9径7.8		96

資料番号	遺跡名（採集地名）	現市町村名	資料の内容	点数	資料の時代および種類														法量・備考	掲載頁	
					土器								石器					その他		実測図	写真図版
					縄文	弥生	古墳	奈良・平安	中世	近世	土製品	その他	旧石器	縄文	弥生	石製品	その他				
387	藤内	富士見町	深鉢形土器	1	1														高17.2径13.3		96
388	藤内	富士見町	深鉢形土器	1	1														高24.5径18.7		96
389	新道	富士見町	深鉢形土器	1	1														高19.5径17.5		96
390	広畑	岡谷市	ミニチュア土器	1	1														高4.0径4.8		96
391	不明		小型土器	1	1														底部欠損		96
392	海戸	岡谷市	土偶	1	1														高（18.3）幅19.4　厚3.2 頭部欠損		96
393	なし		土偶焼成実験品	1								1									96
394	大安寺	諏訪市	深鉢形土器	1	1														高（33.4）　径27.0　底部は復元 大安寺式標式土器	60	97
395	後田原	岡谷市	深鉢形土器	1	1														高34.8径22.8	60	97
396	百姓地	諏訪市	深鉢形土器	1	1														高14.4径14.4		97
397	梨久保	岡谷市	深鉢形土器	1	1														高17.8径15.7	60	97
398	細久保	諏訪市	深鉢形土器	1	1														高27.8径36.5		97
399	唐沢	諏訪市	深鉢形土器	1	1														高32.7径21.4		97
400	不明		深鉢形土器	1	1														高29.9径16.8		97
401	後田原	岡谷市	深鉢形土器	1	1														高（30.2）径22.7　底部欠損	60	97
402	百姓地	諏訪市	深鉢形土器	1	1														高43.3径25.1	60	97
403	広畑	岡谷市	深鉢形土器	1	1														高36.9径30.3		97
404	藤内	富士見町	深鉢形土器	1	1														高44.2径34.2		97
405	下島	茅野市	深鉢形土器	1	1														高41.0径35.7　下島式標式土器	60	97
406	海戸？	岡谷市	注口土器	1		1													高18.9径17.3		97
407	津島神社	下諏訪町	羽釜片	1				1													97
408	（諏訪湖畔原湯）		漁具	1														1	エビカブト　「58.Ⅱ.10　D=6m」 の注記あり		97
409	不明		土器片	56	56																97
410	（三の丸温泉源泉）	諏訪市	土器片等	60	46													14	「三の丸温泉源泉地々層図解　昭和参十四年一月二十五日記録」の図面あり		98
411	不明		深鉢形土器	1	1														上半部のみ、埋甕か		98
412	不明		深鉢形土器	1	1														高（31.9）径36.8　下半部のみ		98
413	不明		深鉢形土器	1	1														口縁部のみ		98
414	八島（Ⅰ）	諏訪市	剥片等	737									737						「M-1 loam 8-17」「同8-19」 「M-2 8-20」「同黒土層　8-20」 のラベルあり		98
	踊場（Ⅳ）	諏訪市	剥片等	204										204					実測図・写真・メモ類27点あり		
415	（カボッチョ）	諏訪市	剥片等	34										34					地点・層位および日付を表記したラベルあり		98
	（鎌ヶ池北岸）	諏訪市	石鏃等	4										4							
	八島？	諏訪市	剥片等	297									297						地点・層位および日付を表記したラベルあり		
	不明		剥片等	2									2								

資料番号	遺跡名（採集地名）	現市町村名	資料の内容	点数	資料の時代および種類														法量・備考	掲載頁	
					土器								石器					その他		実測図	写真図版
					縄文	弥生	古墳	奈良・平安	中世	近世	土製品	その他	旧石器	縄文	弥生	石製品	その他				
416	（カボッチョ）	諏訪市	剥片等	40									40						１地点Pit2および層位を記したラベルあり		98
	（前踊場）	諏訪市	剥片等	50										50					「踊場と前踊場との間の谷（谷頭部）」の紙片あり		
	（鉄砲矢）	諏訪市	剥片等	1730	7								1721					2	昭和28年8月の日付・地点を記した紙片あり 現・上ノ平遺跡付近か		
	曽根	諏訪市	土器片・石鏃等	737	23				1					713					55年2月5日調査　A～E地点および回数等の表記あり　氷上調査時か		
	踊場	諏訪市	尖頭器等	117									117								
	不明		剥片等	145	1								102	42					「Ⅰ-D道路断面発掘　ローム層中」とあるものあり		
	御射山（Ⅲ）		剥片等	26										26							
417	曽根	諏訪市	土器片・石鏃等	176	13									163					袋に地点名と思われるアルファベット		99
	旧御射山？	諏訪市・下諏訪町	剥片・石核等	1024	1								221	802					「第Ⅳ地点」「第Ⅵ地点」「Ⅱ-A」「M1-2」「M1区」「Mi-Ⅱ」等のラベルあり		
	(霧ヶ峰第一号)		かわらけ片	8					8										旧御射山遺跡か		
418	丸山	岡谷市	土器片・石斧	7	3									4							99
	広畑	岡谷市	土器片	1	1																
	上向	岡谷市	土器片	6	6																
	富ヶ丘	下諏訪町	土器片・剥片等	210	11	2		60						137					「第3区第二回表採」の紙片あり		
	新道	富士見町	土器片・打製石斧	19	17									2							
	不明		土器片	58	26			32											一部注記あり		
419	旧御射山	諏訪市	剥片等	8										8					「御射山　戸沢充則採集　28年？」表記あり		99
	旧御射山？	諏訪市	剥片等	1970					1				1862	107					「M1-4　褐色土　8-22」等のラベルあり　八島か		
	茶臼山	諏訪市	剥片	42									42								
420	（茶臼山裏）	諏訪市	土器片・剥片等	50	12									27				11			99
	旧御射山？	諏訪市	剥片・石核等	522									522						「M1-4　L　8-22」「同8-23」のラベルあり　八島か		
	茶臼山	諏訪市	剥片等	108									108						「茶臼山第四号土塁」紙片あるもの1袋		
	不明		剥片等	822									822								
421	星ヶ塔	下諏訪町	黒耀石原石	24														24	「和田峠星ヶ塔板状節理原石」ラベルあり		99
	丁子沢	下諏訪町	黒耀石原石	1														1			
422	曽根	諏訪市	土器片・剥片等	3472	273			10		1				2422				766			100
423	不明		ナイフ形石器等	12	3								9								100
424	（水月公園）	下諏訪町	黒耀石原石	1														1			100
	男女倉	長和町	黒耀石原石	1														1			

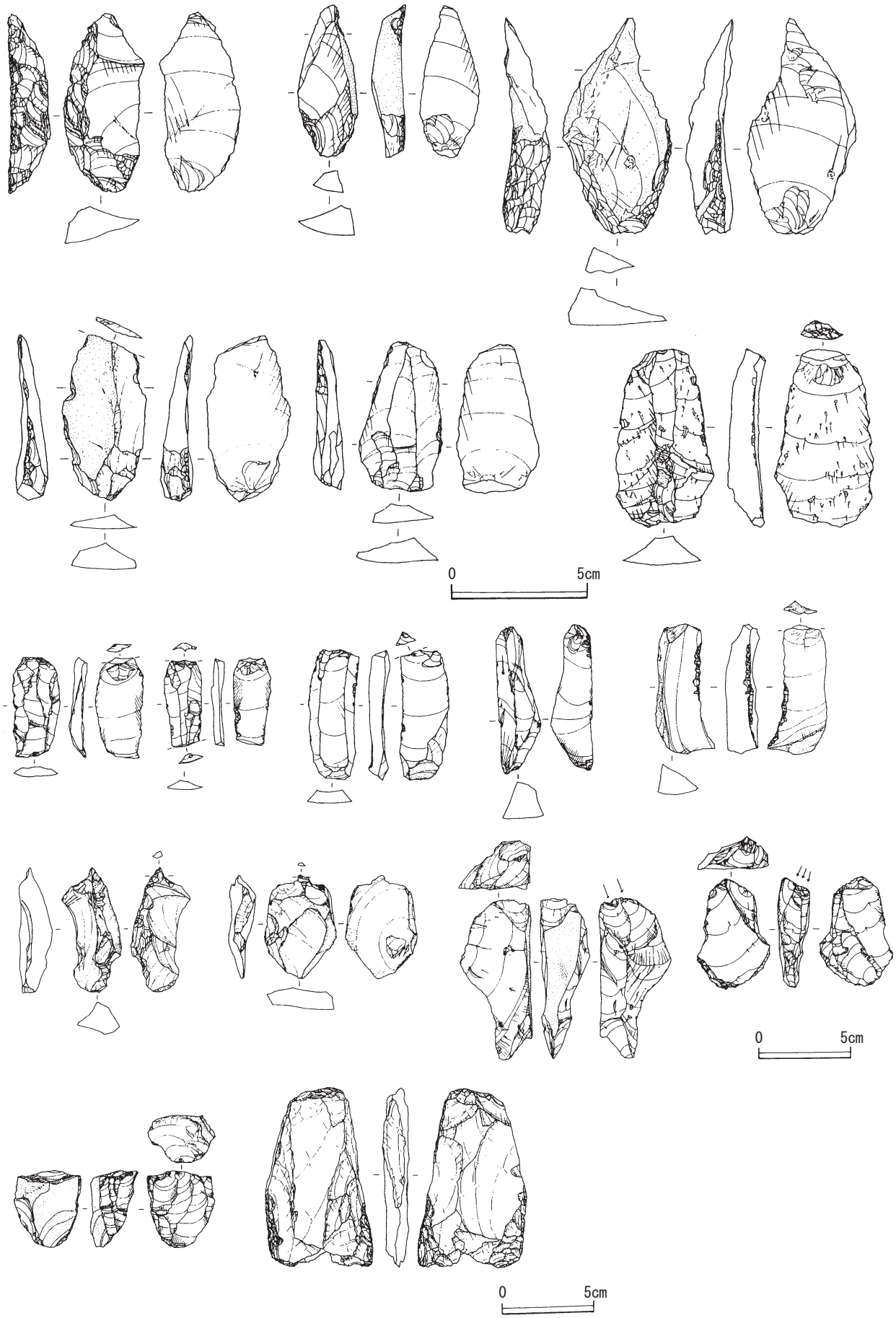
資料番号	遺跡名（採集地名）	現市町村名	資料の内容	点数	資料の時代および種類														法量・備考	掲載頁	
					土器								石器					その他		実測図	写真図版
					縄文	弥生	古墳	奈良・平安	中世	近世	土製品	その他	旧石器	縄文	弥生	石製品	その他				
425	（茶臼山裏）	諏訪市	ナイフ形石器等	2									2								100
	（温泉寺）	諏訪市	剥片等	42										42					現・温泉寺横遺跡付近か		
	合戦場	諏訪市	石鏃・石錐等	5										5							
	手長丘	諏訪市	二次加工石器等	4										4							
	踊場	諏訪市	石鏃	7										7							
	不明		剥片	1										1					富ヶ丘遺跡か		
426	茶臼山？	諏訪市	土器片	52	6	46															100
427	曽根	諏訪市	剥片	1732										1617				115			100
428	不明		土器片	14	14																100
429	不明		土器片	18										18							100
430	真福寺貝塚	埼玉県	土器片	138	138																101
431	不明		打製石斧等	41	10									31							101
432	不明		打製石斧等	27	5									22							101
433	不明		土師器片等	29				29													101
434	曽根	諏訪市	土器片・石鏃等	2631	2									2549				80			101
435	曽根	諏訪市	石鏃・剥片等	3526										3423				103			101
436	曽根	諏訪市	土器片・剥片等	532	2									529				1	小礫等(2750点)は一括		101
437	曽根	諏訪市	石鏃・剥片等	3055	1									2902				152			101
438	不明		打製石斧等	13	2									11					箱に「池ノ平」とあり		101
439	曽根	諏訪市	土器片・剥片等	360	7									294				59			101
440	曽根	諏訪市	土器片・剥片等	394	31			2						47				314			102
441	曽根	諏訪市	剥片等	2982										2982							102
442	曽根	諏訪市	石鏃・剥片等	2877										2867				10			102
443	曽根	諏訪市	石鏃・剥片等	2688	7									2627				54			102
444	曽根	諏訪市	石鏃・剥片等	3865										3865							102
445	（和田峠）	下諏訪町・長和町	黒耀石原石	1														1			102
446	曽根？	諏訪市	土器片・石鏃等	11	1									10							102
	本城	諏訪市	石錐	1										1							
	不明		土器片・剥片等	247	36								29	180				2			
447	細久保	諏訪市	土器片	15	15															59	102
448	細久保	諏訪市	土器片	16	16															59	102
449	細久保	諏訪市	土器片	12	12															59	102
450	細久保	諏訪市	土器片	20	20															59	102
451	細久保	諏訪市	土器片	18	18																102
452	細久保	諏訪市	土器片	17	17																103
453	細久保	諏訪市	土器片	42	42																103
454	細久保	諏訪市	土器片・礫	21	20													1			103
455	細久保	諏訪市	土器片	55	55																103
456	細久保	諏訪市	土器片	40	40																103
457	細久保	諏訪市	土器片	22	22																103
458	細久保	諏訪市	土器片	23	23															59	103
459	細久保	諏訪市	土器片	24	24																103
460	細久保	諏訪市	土器片	27	27																103
461	細久保	諏訪市	土器片	137	137																103

資料番号	遺跡名（採集地名）	現市町村名	資料の内容	点数	資料の時代および種類														法量・備考	掲載頁	
					土器								石器					その他		実測図	写真図版
					縄文	弥生	古墳	奈良・平安	中世	近世	土製品	その他	旧石器	縄文	弥生	石製品	その他				
462	明星屋敷	諏訪市	土器片	17	17														他遺跡混入か　「明星　中村扱 1964年」の紙片あり		104
463	丸山海戸	岡谷市	土器片	25	25																104
464	細久保	諏訪市	土器片	2	2																104
465	丸山海戸	岡谷市	土器片	28	28														拓本8枚あり		104
466	下り林（下）	岡谷市	土器片・磨製石斧	36	35									1							104
467	芥沢	茅野市	土器片	25	25																104
	不明		土器片	97	97														カーゴ石遺跡か		
468	芥沢	茅野市	土器片	22	22																104
469	上原	大町市	土器片	6	6																104
	栃久保	岡谷市	土器片	7	7																
	（城山）	茅野市	土器片	4	4																
	芥沢	茅野市	土器片	35	35																
追1	小瀬ヶ沢	新潟県	土器片・石斧等	16	4									12					中村孝三郎氏提供か		104
追2	（陽皐細野原）	下條村	鉄製品	1														1			104
追3	茶臼山	諏訪市	剥片等	5									5								104
	八島	諏訪市	剥片等	4									4								
	細久保（A）	諏訪市	剥片	1										1							
	不明		石鏃・剥片等	68									59	9					八島か		
―	雪不知	諏訪市	剥片	5									5						帰属先不明		
―	茶臼山	諏訪市	剥片・石核等	182									182						帰属先不明		
―	北踊場	諏訪市	尖頭器	2									2						帰属先不明		
合計				59628	2369	630	219	428	13	10	26	25	10440	39207	69	71	4	2369			

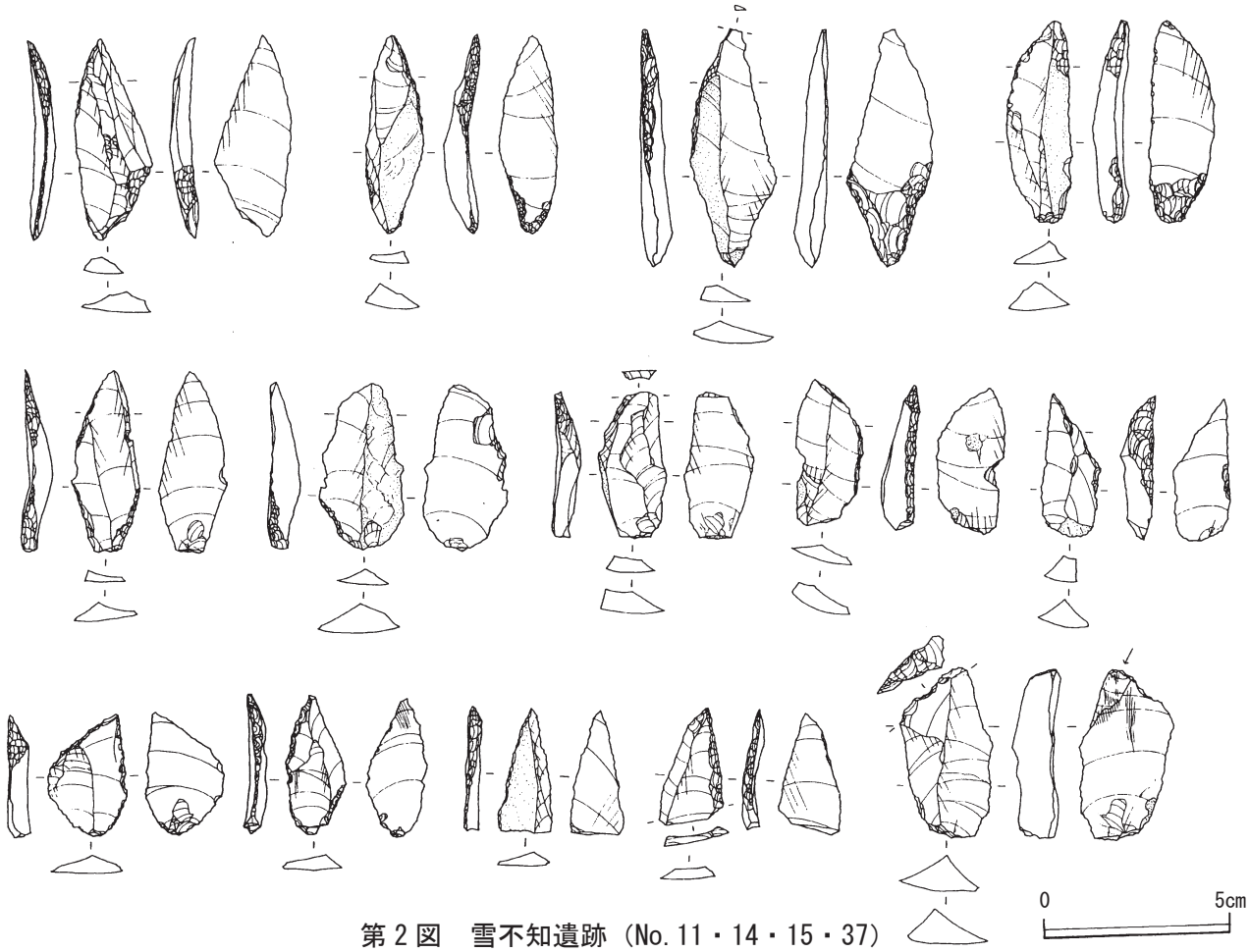
資料番号	遺跡名	現市町村名	資料の内容	点数	資料の時代および種類														法量・備考	掲載頁	
					土器								石器					その他		実測図	写真
					縄文	弥生	古墳	奈良・平安	中世	近世	土製品	その他	旧石器	縄文	弥生	石製品	その他				
1	茶臼山	諏訪市	石刃	3									3							63	105
4	茶臼山	諏訪市	掻器・大型剥片	2									2							63	105
5	茶臼山	諏訪市	ナイフ形石器・剥	5									5						1点は資料番号1中の石刃と接合	63	105
6	茶臼山	諏訪市	掻器	1									1							63	105
8	茶臼山	諏訪市	打製石斧	1									1							63	105
9	茶臼山	諏訪市	局部磨製石斧・棒状石器	2									2							63	105
10	茶臼山	諏訪市	ナイフ形石器	2									2							63	105
12	茶臼山	諏訪市	ナイフ形石器	2									2							63	105
13	茶臼山	諏訪市	掻器・石刃	2									2						石刃は頁岩製	63	105
14	茶臼山	諏訪市	ナイフ形石器	1									1							63	105
43	八島	諏訪市	石核等	9									9						「粗型尖頭器Decks?」紙片あり		105
44	八島	諏訪市	尖頭器等	30									30							64	105
45	八島	諏訪市	尖頭器等	16									16						「粗型尖頭器」紙片あり	64	105
46	八島	諏訪市	尖頭器等	10									10							64	105
47	八島	諏訪市	尖頭器等	23									23							64	105
48	八島	諏訪市	尖頭器等	19									19							64	105
49	八島	諏訪市	尖頭器等	17									17								105
50	八島	諏訪市	尖頭器等	14									14						「両面剥離石槍Bifaced point 片面剥離石槍Unifaced point」紙	64	105
51	八島	諏訪市	尖頭器等	23									23								106
52	八島	諏訪市	尖頭器等	15									15							64	106
53	八島	諏訪市	尖頭器等	10									10							64	106
54	八島	諏訪市	尖頭器等	11									11							64	106
55	八島	諏訪市	石核・剥片等	9									9								106
56	八島	諏訪市	剥片・石核	10									10						「石核Core 上八島　下雪不知」紙片あり		106
57	八島	諏訪市	石核	7									7								106
58	八島	諏訪市	石核等	8									8								106
59	八島	諏訪市	黒耀石原石等	10									10								106
60	八島	諏訪市	剥片・石核等	14									14								106
合計				276									276								

※茶臼山遺跡分の合計は21点であるが、2点が接合するため指定点数は20点となっている。

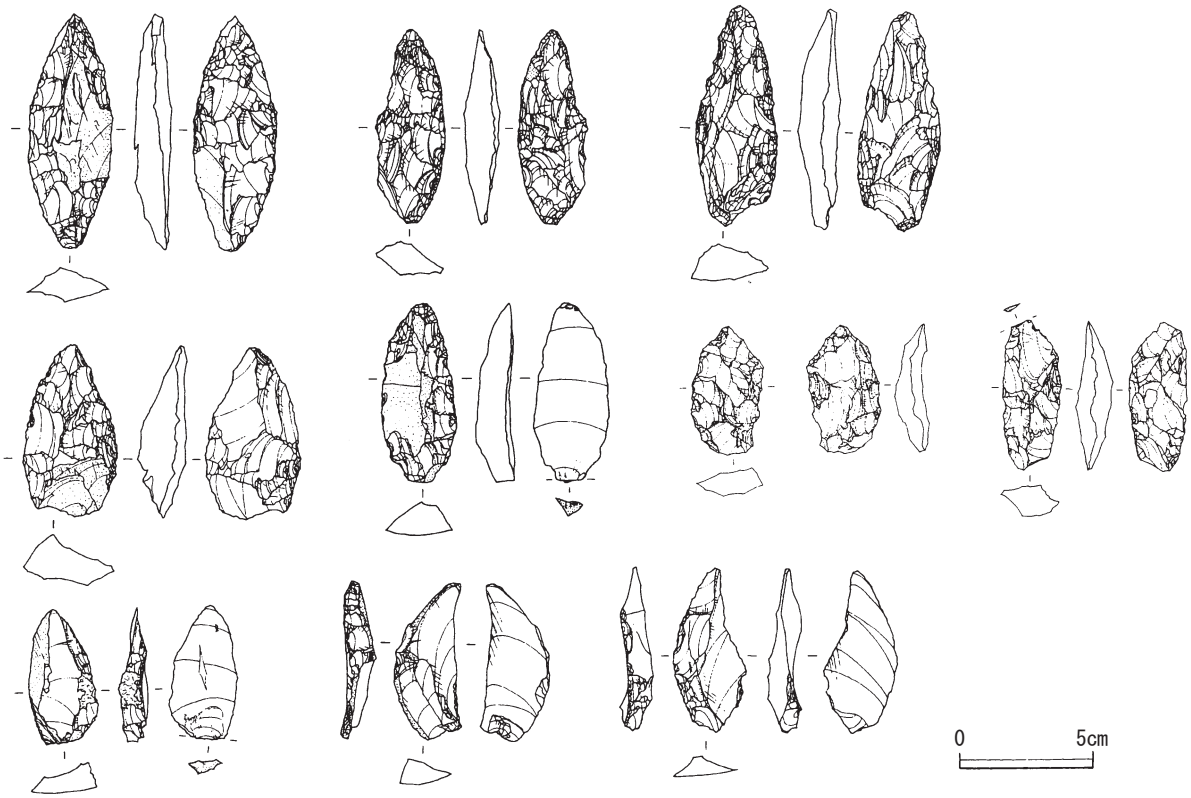
遺物実測図



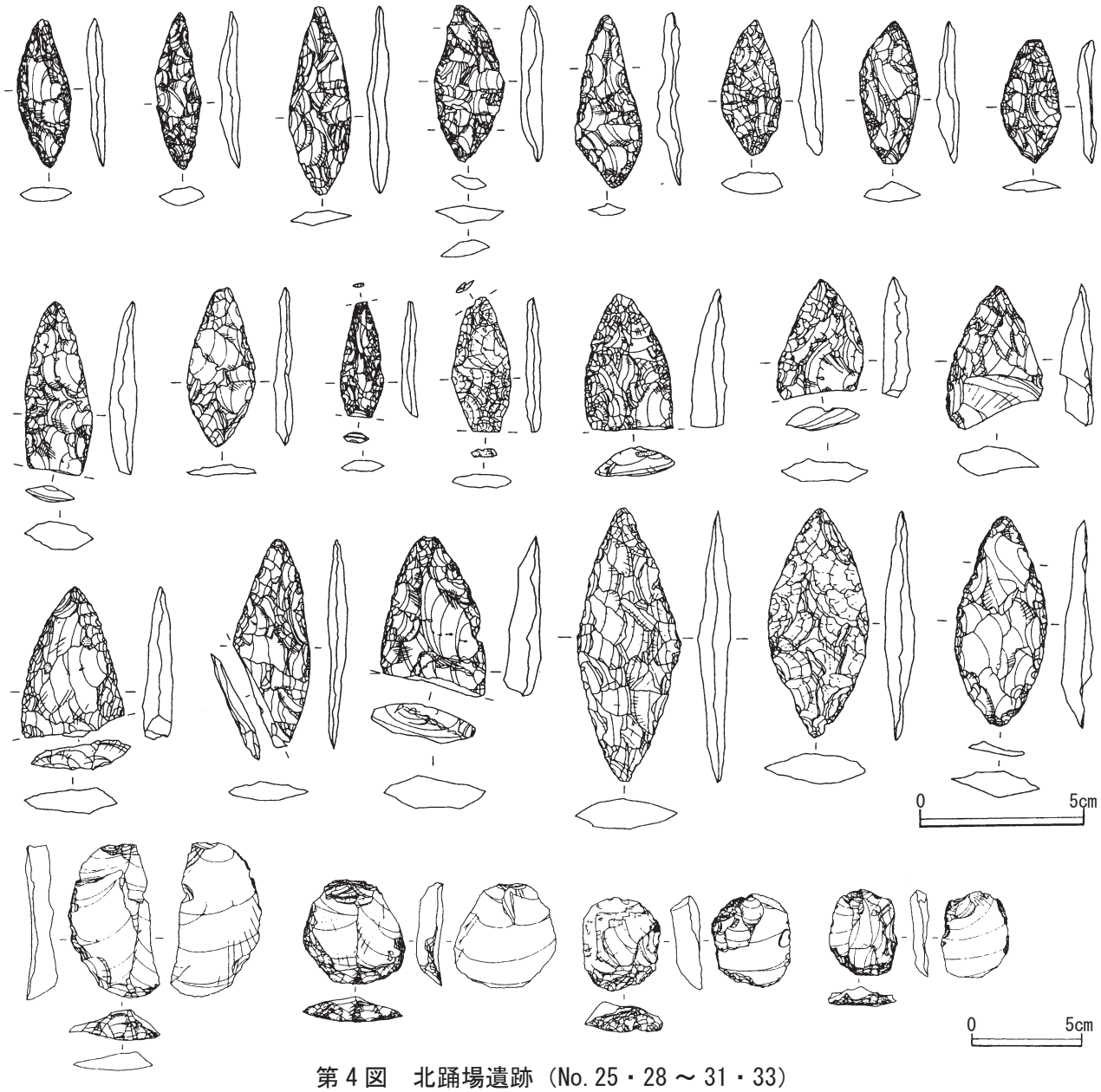
第１図　茶臼山遺跡（No.１・２・５・６・８・13・14）



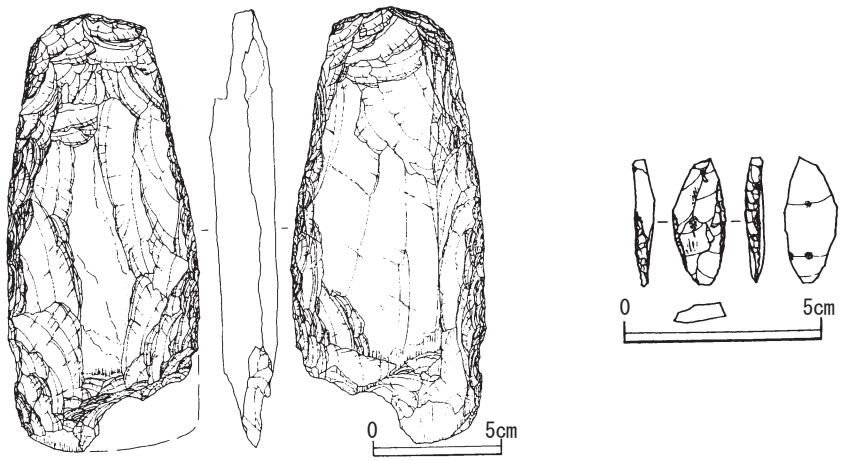
第２図　雪不知遺跡（No.11・14・15・37）



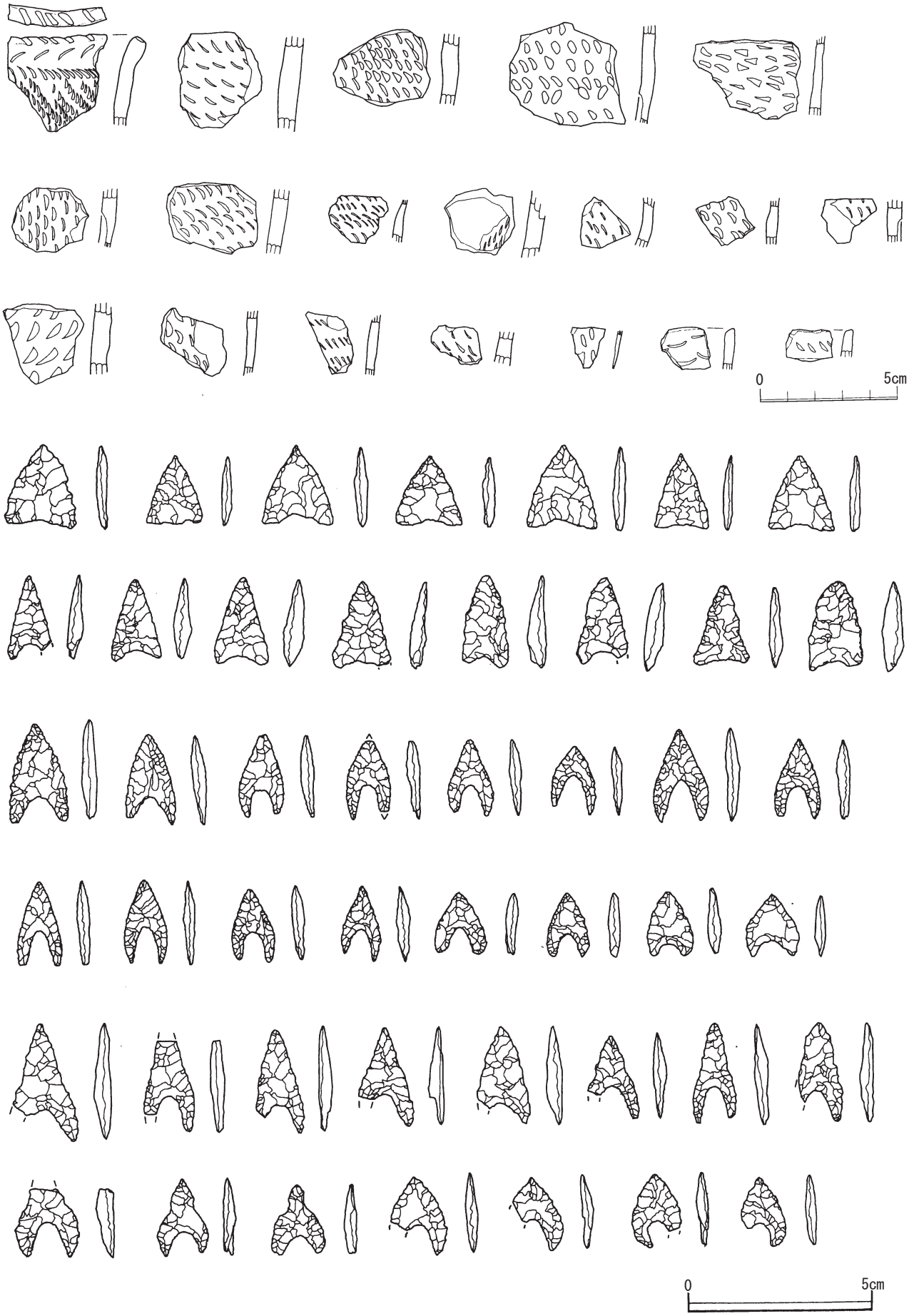
第３図　八島遺跡（No.10・14・26）



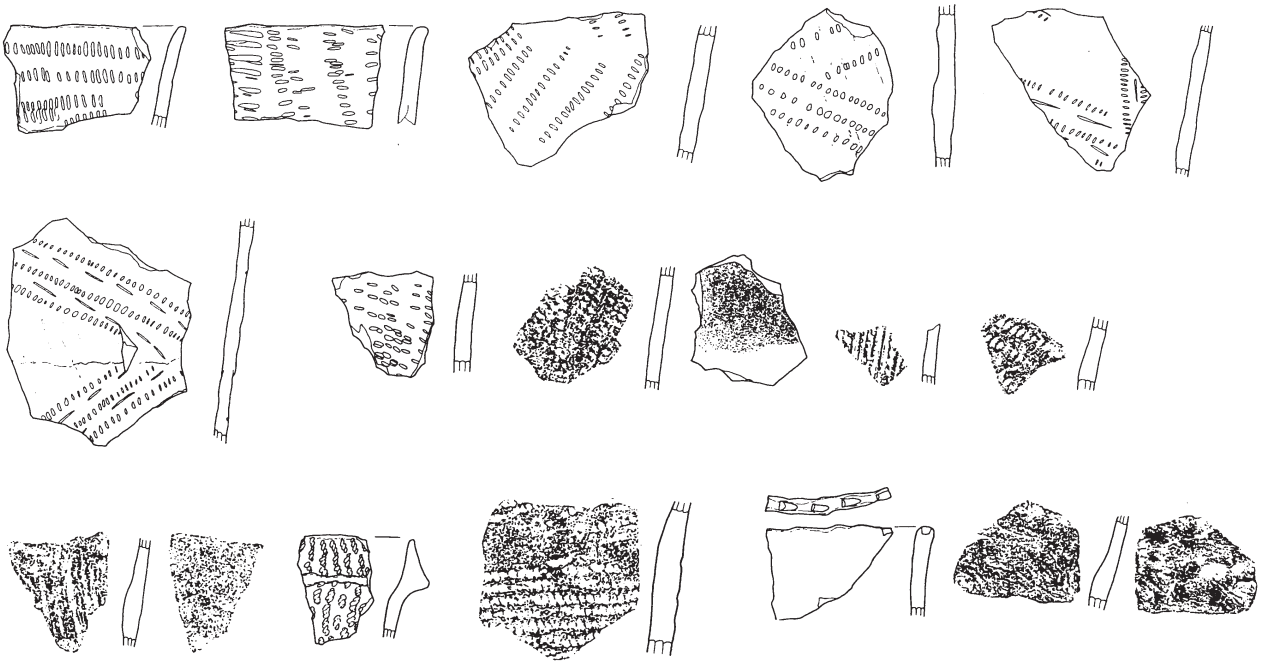
第４図　北踊場遺跡（No. 25・28～31・33）



第５図　上ノ平遺跡（No. 19・109）

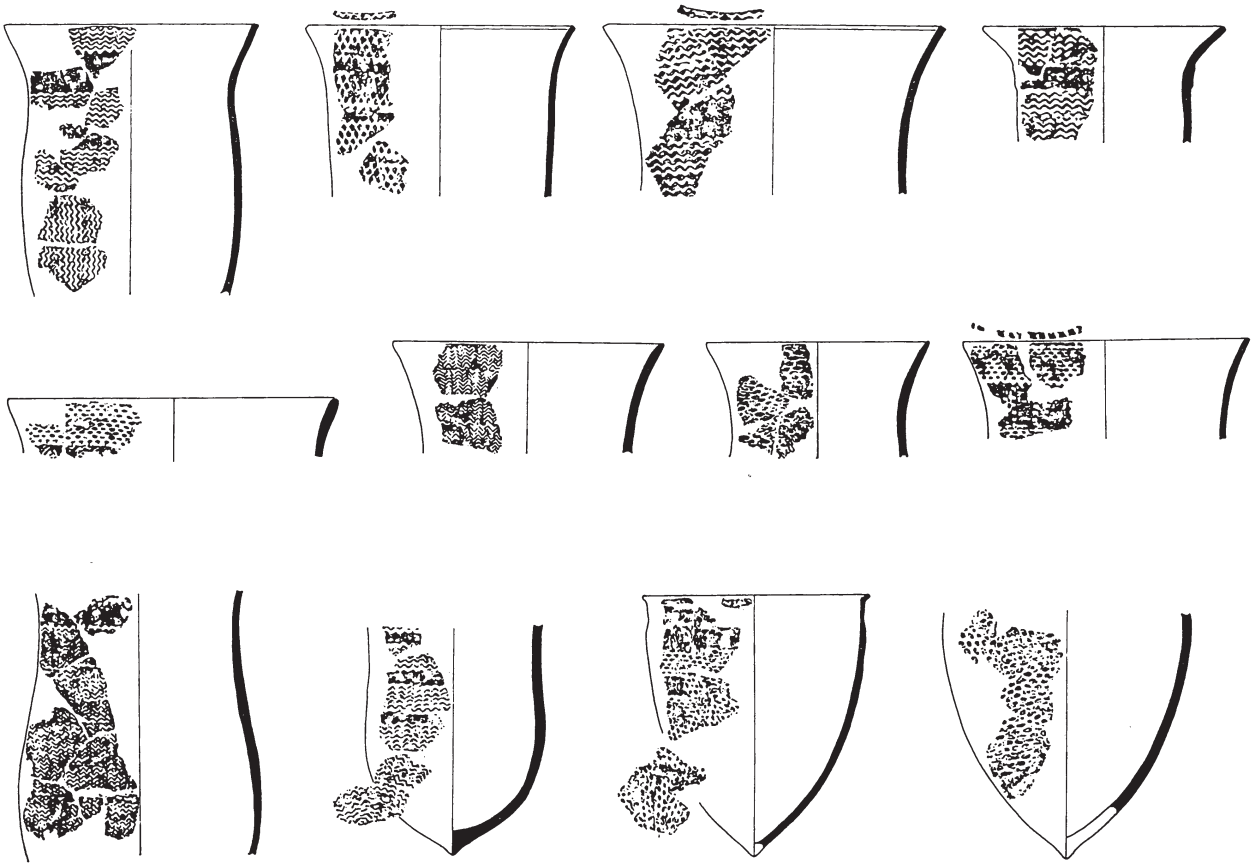


第６図　曽根遺跡（No. 62 ～ 68・73・75・81・95・100・101）



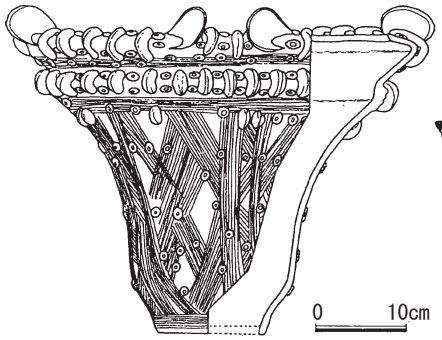
0　5cm

第７図　片羽町遺跡（No. 261）

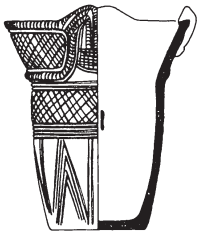


0　10cm

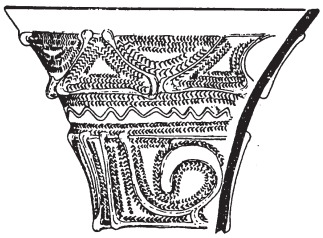
第８図　細久保遺跡（No. 447 ～ 450・458）



第 9 図　下島遺跡（No. 405）

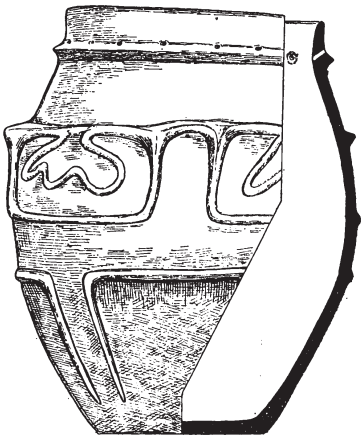


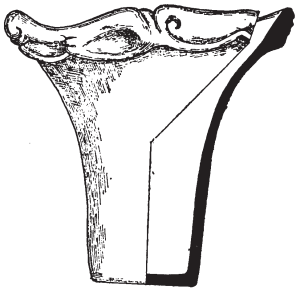
第 10 図
梨久保遺跡（No. 397）

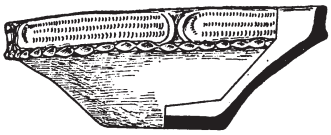


0　20cm

第 11 図　後田原遺跡（No. 395・401）





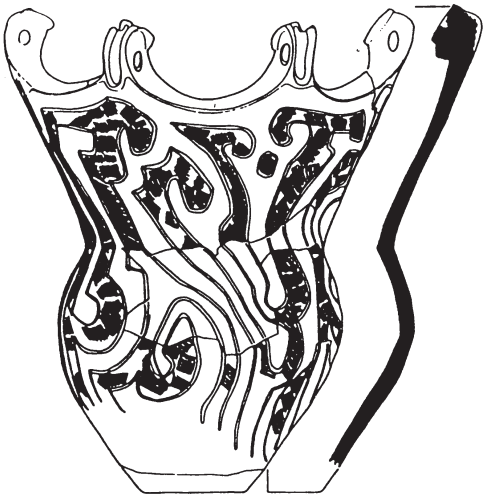


第 12 図　新道遺跡（No. 374 ～ 9）

0　20cm

0　30cm

第 13 図　穴場遺跡（No. 402）



0　20cm

第 14 図　大安寺遺跡（No. 394）

第 15 図　切掛遺跡(No. 365)

第 16 図　海戸・丸山遺跡（No. 139）

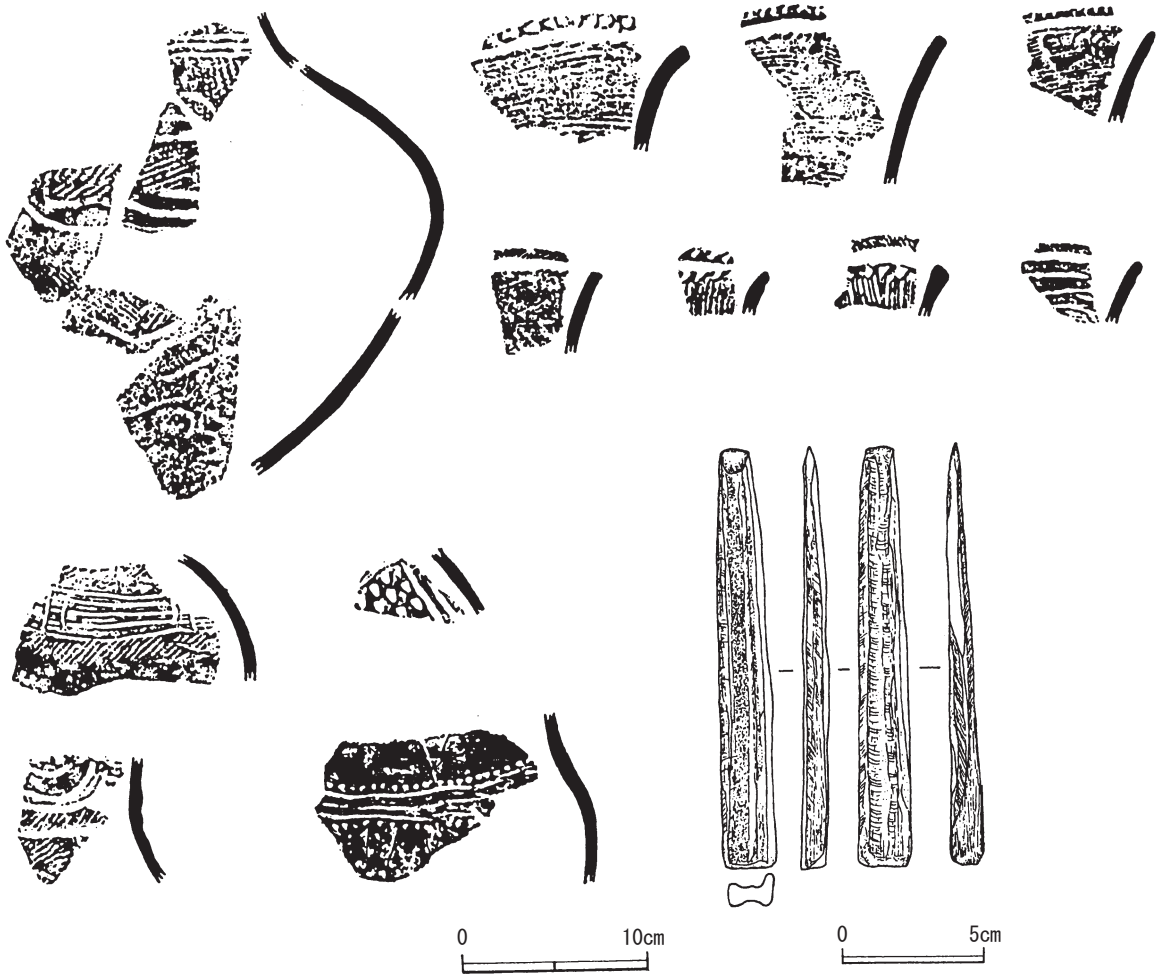
0　10cm

第 17 図　庄ノ畑遺跡（No. 134・170・172）

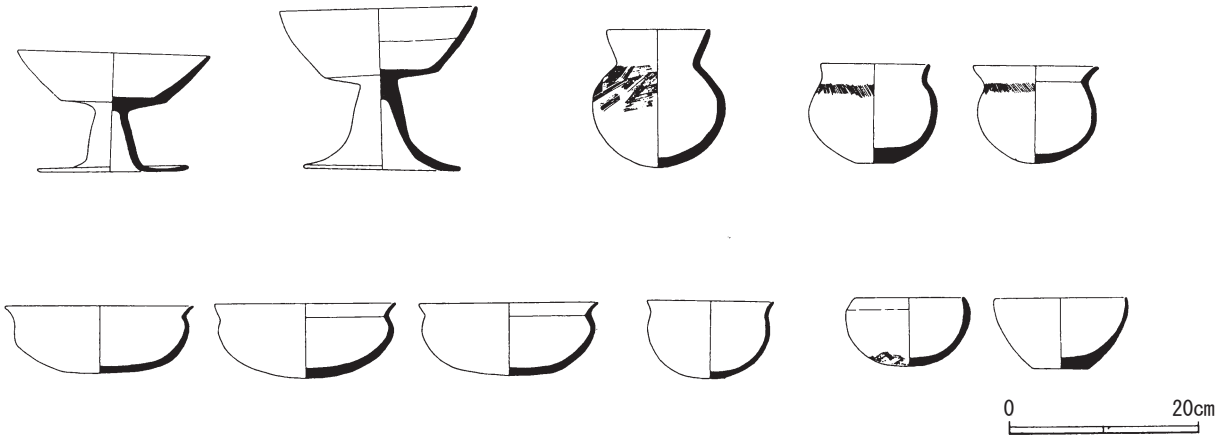
0　10cm

0　5cm

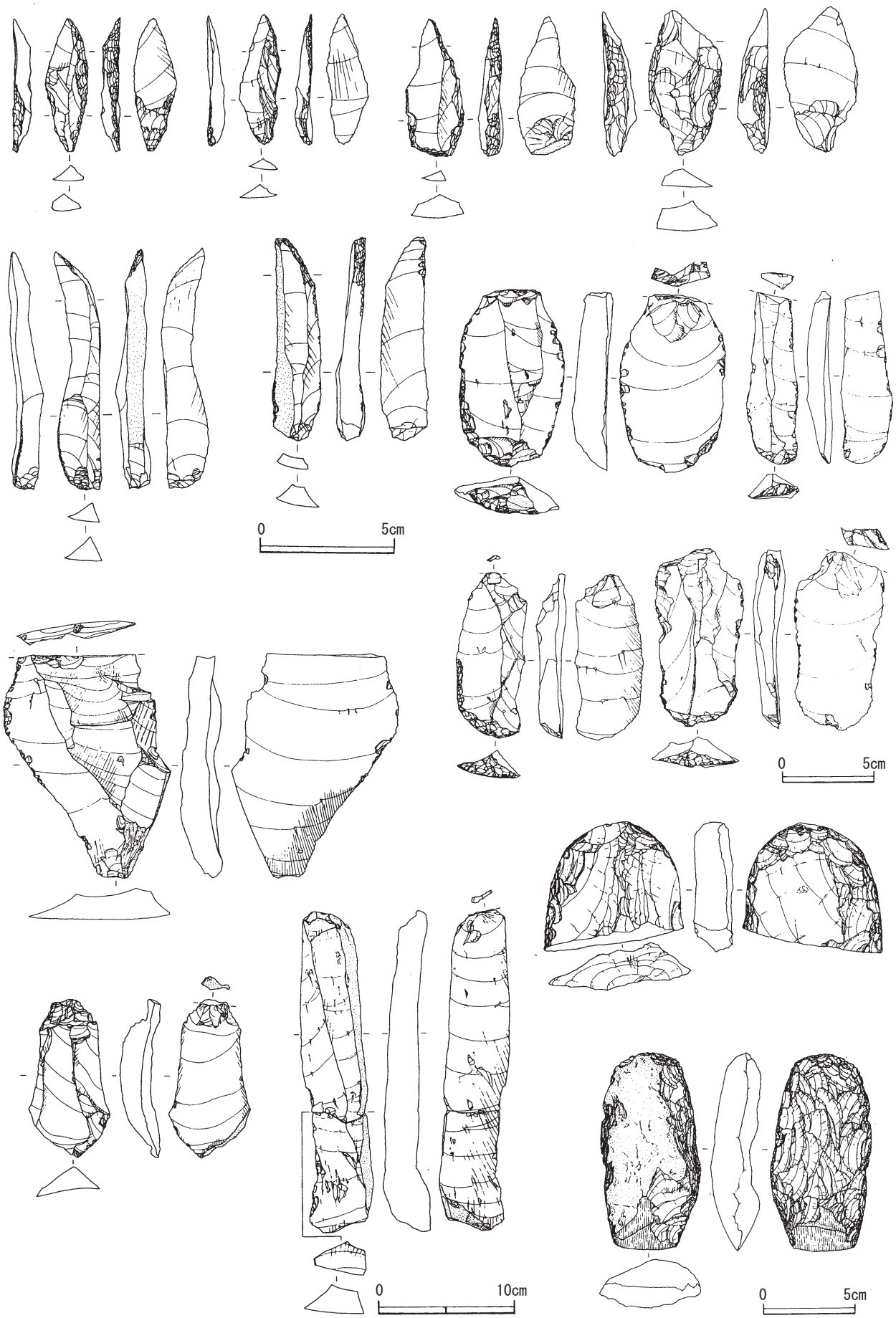
第 18 図　上ノ段遺跡（No. 155・157）



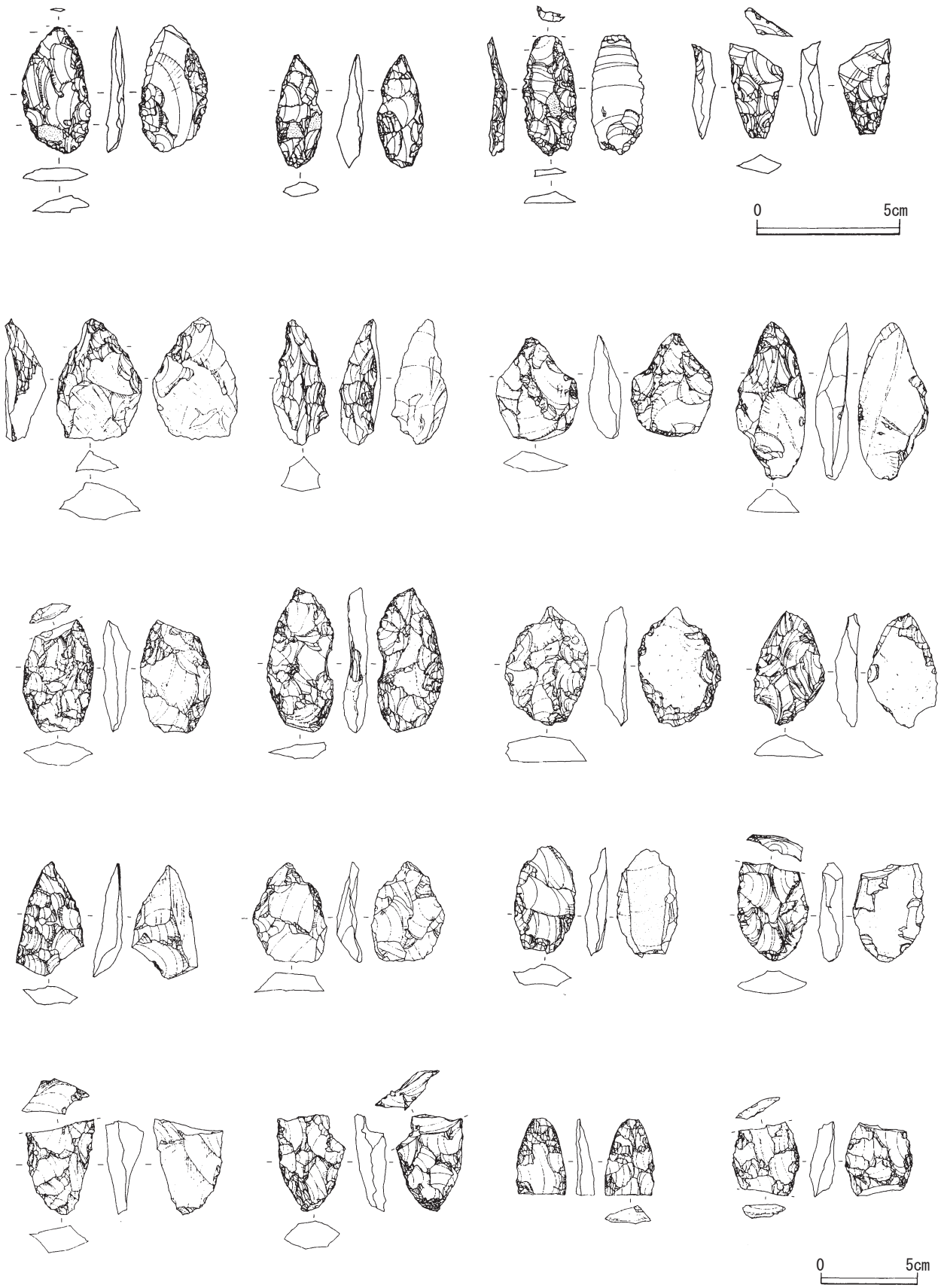
第 19 図　中浜町遺跡（No. 125・259・312）



第 20 図　茶臼山古墳（No. 368・370 ～ 373）



第 21 図　茶臼山遺跡（市指定分）（No. 1・4 ～ 6・8 ～ 10・12 ～ 14）



第 22 図　八島遺跡（市指定分）（No. 44 ～ 48・50・52 ～ 54）

写 真 図 版

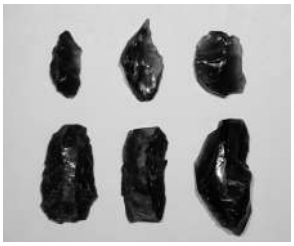
1

2

3

4

5


6

7

8

9

10

11

12

13

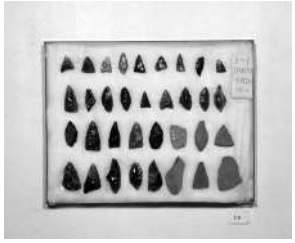
14

15

16

17

18


19

20

21

22

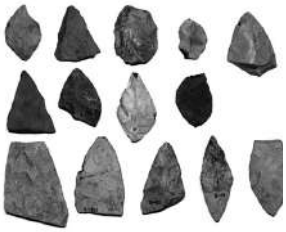
23

24

25

26

27


28

29

30

31

32

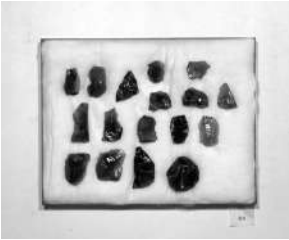
33

34

35

36

37


38

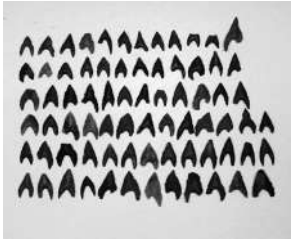
39

40

41

42

61



62

63

64

65

66

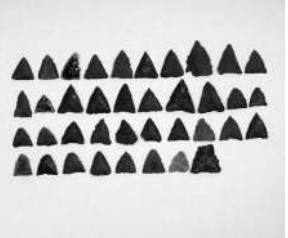
67

68

69

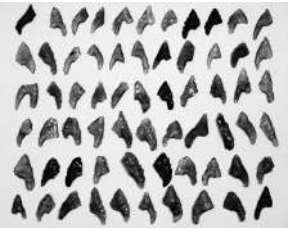
70

71



72

73

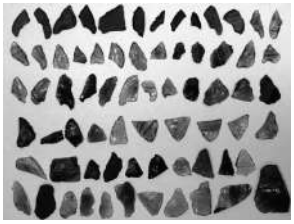


74

75

76

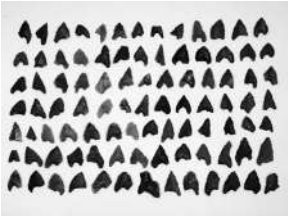
77



78

79

80



81

82

83

84

85

86

87

88

89

90

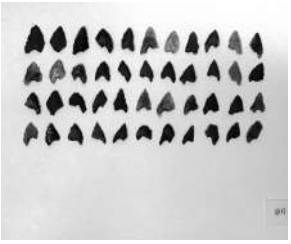
91

92

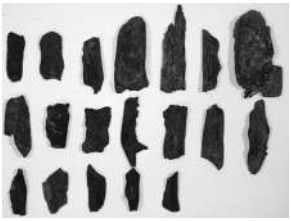
93

94

95

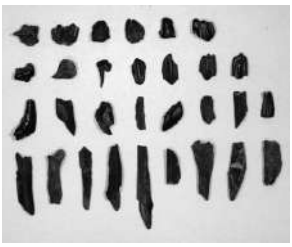


96



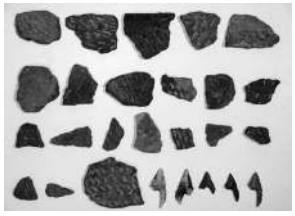
97

98



99

100



101

102-1

102-2

103-1

103-2

104-1

104-2

105-1

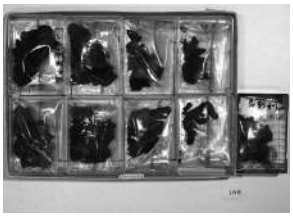
105-2

106-1

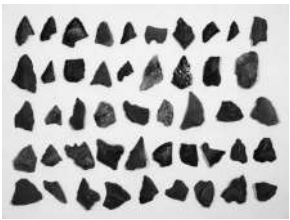
106-2

107-1

107-2



108-1

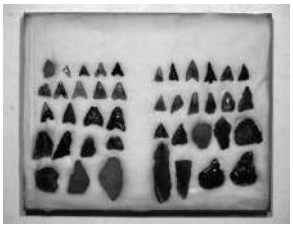


108-2

109-1

109-2

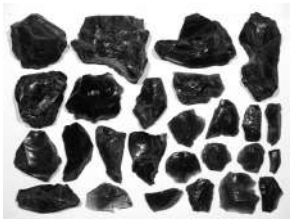
110


111

112

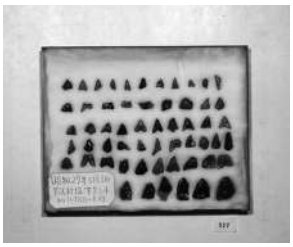
113

114-1


114-2

115

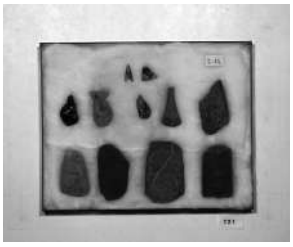
116


117

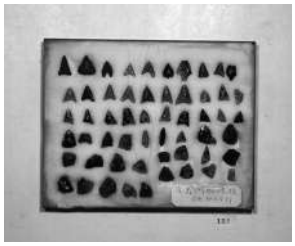
118

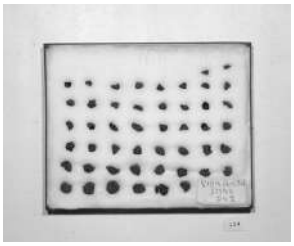
119

120

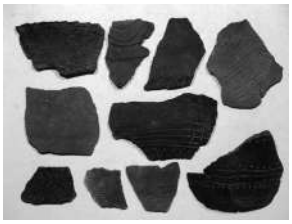

121

122

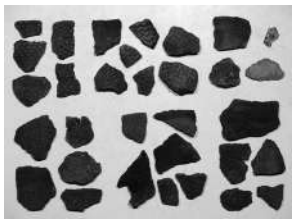

123


124

125-1


125-2

126-1


126-2

127-1

127-2

128-1

128-2

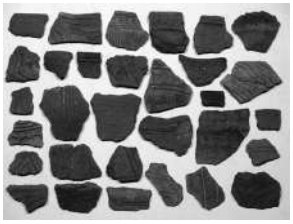
129-1

129-2

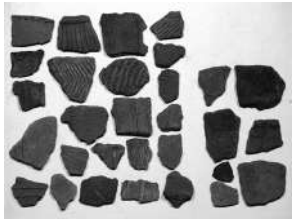
130-1

130-2

131-1


131-2

132-1


132-2

133-1

133-2

134-1

134-2

135-1

135-2

136-1

136-2

137-1

137-2

138-1

138-2

139-1

139-2

140-1

140-2

141-1

141-2

142-1

142-2

142-3

143-1

143-2

144-1

144-2

145-1

145-2

146-1

146-2

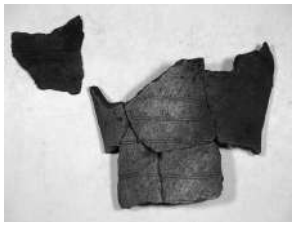
147-1

147-2

148-1

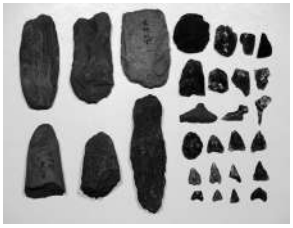
148-2

149-1



149-2

150-1



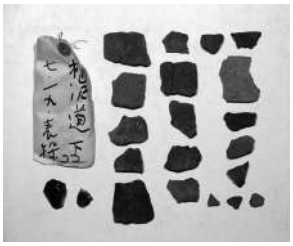
150-2

151-1

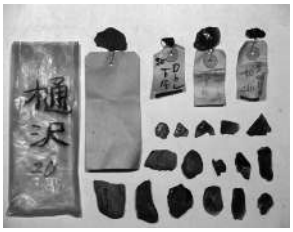
151-2

152-1

152-2

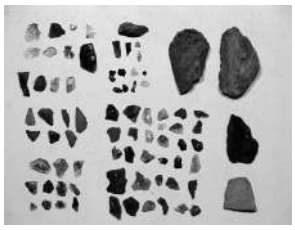


152-3



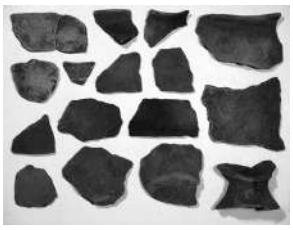
152-4

153-1



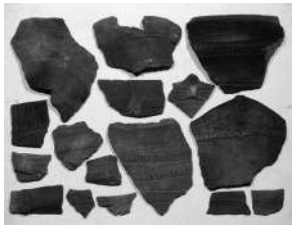
153-2

154-1



154-2

155-1



155-2

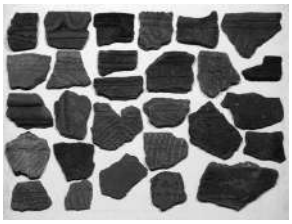
156-1

156-2

157-1

157-2

158-1



158-2

159-1

159-2

160-1

160-2

161-1

161-2

162-1

162-2

162-3

163-1

163-2

164-1

164-2

165-1

165-2

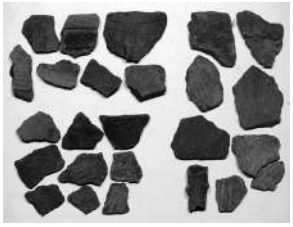
166-1

166-2

167-1

167-2

168-1



168-2

169-1

169-2

170-1

170-2

171-1

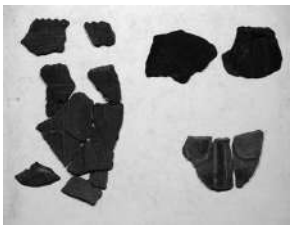
171-2

172-1

172-2

173-1

173-2


173-3

174-1

174-2

175-1

175-2

176-1

176-2

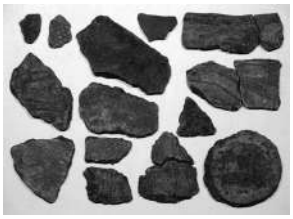
177-1

177-2

178-1

178-2

179-1


179-2

180-1

180-2

180-3

180-4

180-5

181-1

181-2

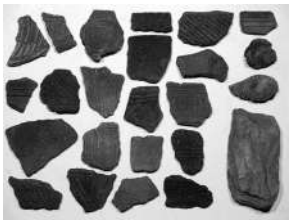
182-1

182-2

183-1

183-2

184-1


184-2

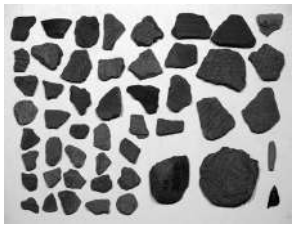
185-1

185-2

186-1

186-2

187-1


187-2

187-3

188-1

188-2

189-1

189-2

190-1

190-2

191-1

191-2

192-1

192-2

193-1

193-2

194-1

194-2

194-3

195-1

195-2

196-1

196-2

196-3

197-1

197-2

198-1

198-2

199-1

199-2

200-1

200-2

201-1

201-2

202-1

202-2

203-1

203-2

204-1

204-2

205-1

205-2

206-1

206-2

207-1

207-2

208-1

208-2

209-1

209-2

210-1

210-2

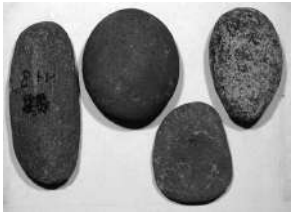
211-1

211-2

212-1

212-2

213-1


213-2

214-1

214-2

215-1

215-2

216-1

216-2

216-3

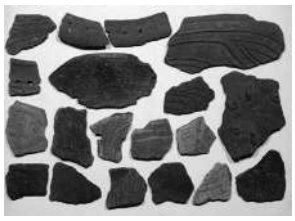
217-1

217-2

218-1

218-2

219-1



219-2

220-1

220-2

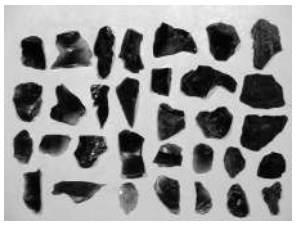
221-1

221-2

222-1

222-2

223-1



223-2

224-1

224-2

224-3

224-4

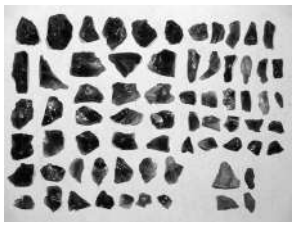
225-1

225-2

226-1

226-2

227-1



227-2

228-1

228-2

229-1

229-2

230-1

230-2

231-1

231-2

232-1

232-2

233-1

233-2

234-1

234-2

235-1

235-2

236-1

236-2

237-1

237-2

238-1

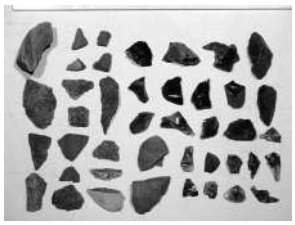
238-2

239

240-1

240-2

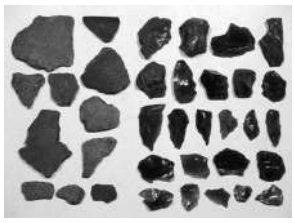
241-1


241-2

242-1

242-2

243-1


243-2

244-1

244-2

245-1

245-2

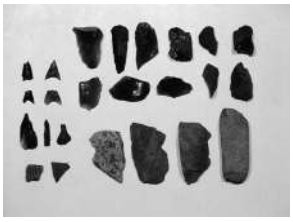
246-1

246-2

247-1

247-2

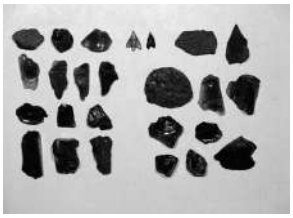
248-1


248-2

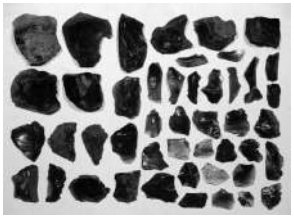
249-1

249-2

250-1


250-2

251-1

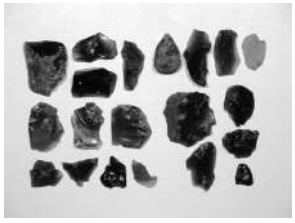


251-2

252-1

252-2

253



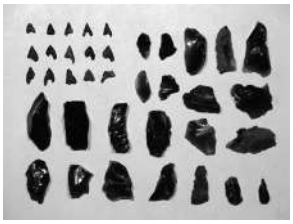
254

255

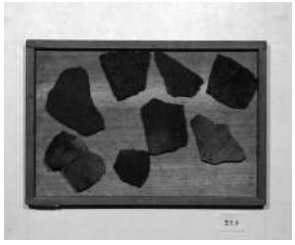
256

257

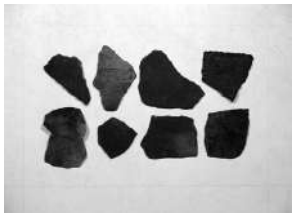
258-1



258-2

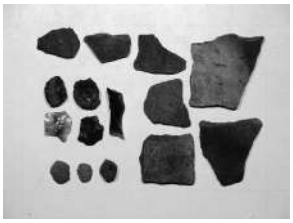


259-1



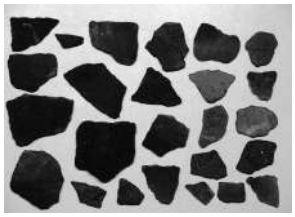
259-2

260-1



260-2

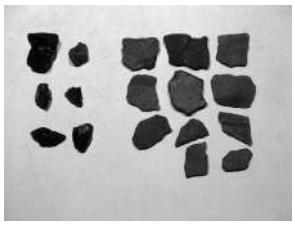
261-1



261-2

262

263-1

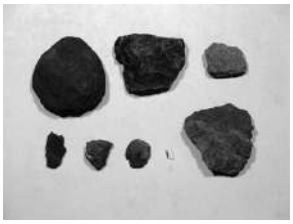

263-2

264

265-1

265-2

266-1


266-2

267-1

267-2

268-1

268-2

269-1

269-2

270-1

270-2

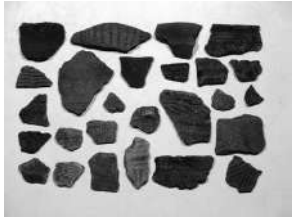
271-1

271-2

272-1

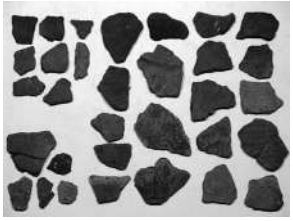
272-2

273-1



273-2

274-1

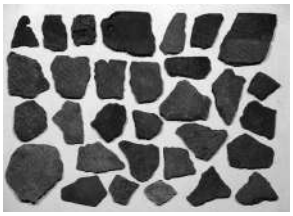


274-2

275-1

275-2

276-1



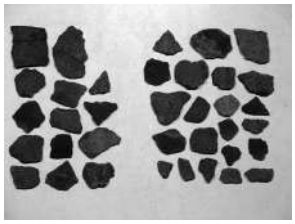
276-2

277

278-1

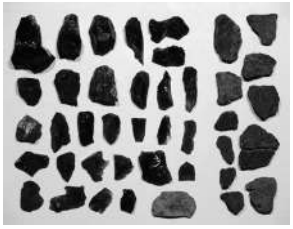
278-2

279-1



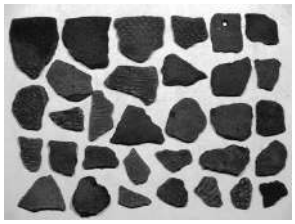
279-2

280-1



280-2

281-1

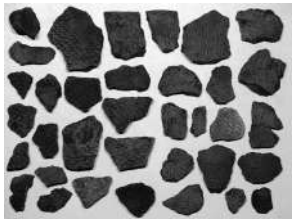


281-2

282-1

282-2

283-1


283-2

284

285-1

285-2

286-1

286-2

287-1

287-2

288-1

288-2

289-1

289-2

290-1

290-2

291-1

291-2

292-1

292-2

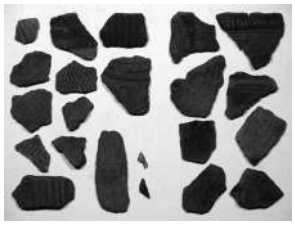
293-1

293-2

294-1

294-2

295-1


295-2

296-1

296-2

297-1

297-2

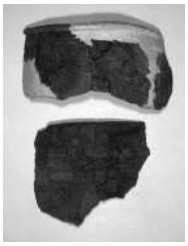
298

299-1

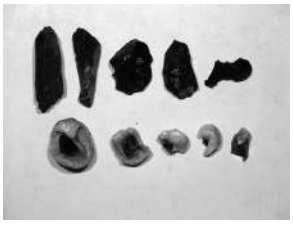
299-2

300

301-1

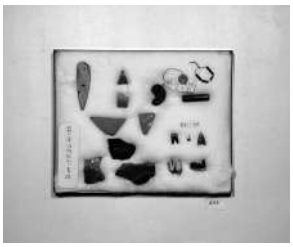

301-2

302-1


302-2

303

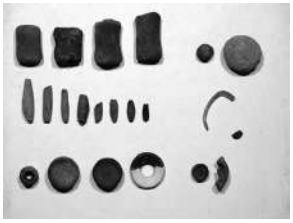
304


305

306-1

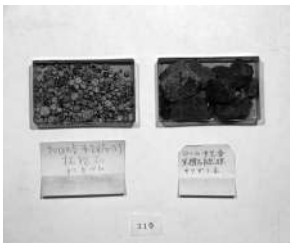
306-2

307-1


307-2

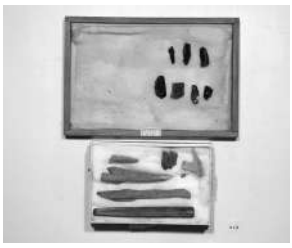
308

309


310

311-1

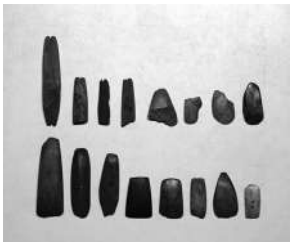
311-2


312-1

312-2

313

314-1


314-2

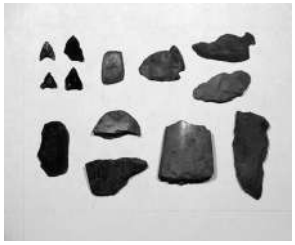
315-1

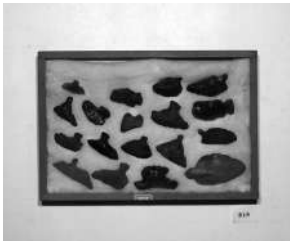
315-2

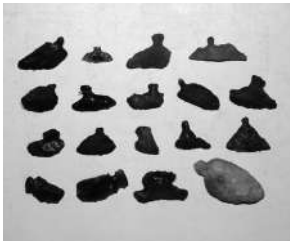
316-1

316-2

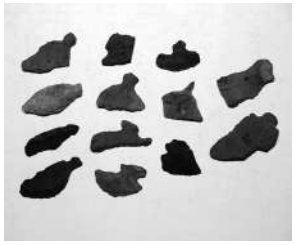
317-1


317-2

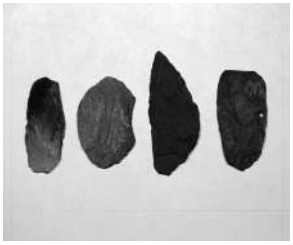

318-1

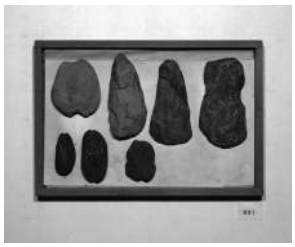

318-2

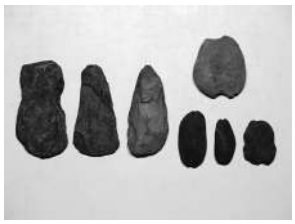
319-1


319-2

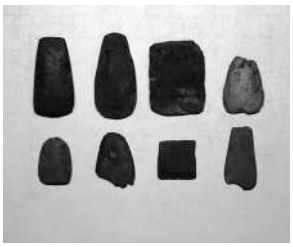
320-1


320-2


321-1


321-2

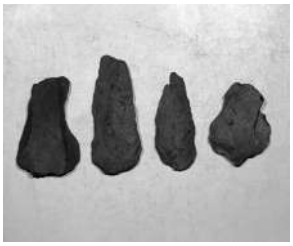
322-1


322-2

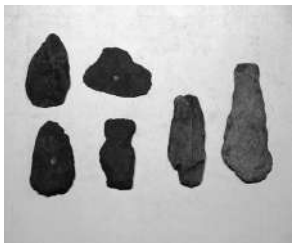
323-1

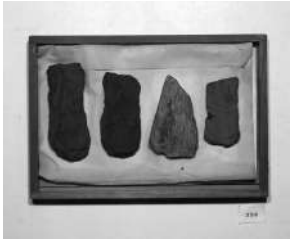
323-2

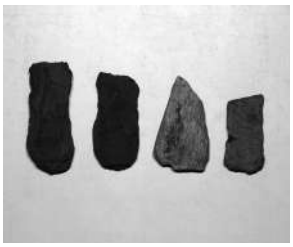
324-1


324-2

325-1


325-2


326-1


326-2

327-1

327-2

328-1

328-2

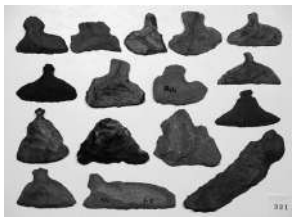
329-1

329-2

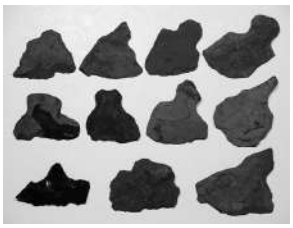
330-1

330-2

331-1


331-2

332-1


332-2

333-1

333-2

334-1

334-2

335-1

335-2

336-1

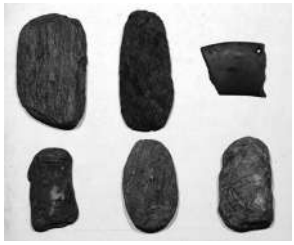
336-2

337-1

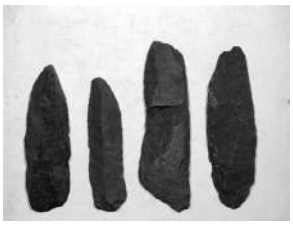
337-2

338

339-1


339-2

340-1


340-2

341-1

341-2

342

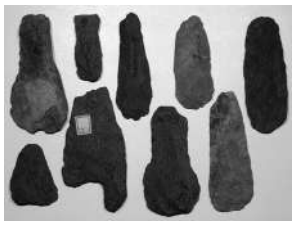
343-1

343-2

344-1

344-2

345-1


345-2

346

347-1

347-2

348-1

348-2

349-1

349-2

350-1

350-2

351-1

351-2

352-1

352-2

353-1

353-2

354-1

354-2

355-1

355-2

356

357

358

359

360

361

362

363

364

365

366

367

368

369

370

371

372

373

374

375

376

377

378

379

380

381

382

383

384

385

386

387

388

389

390

391

392

393

394

395

396

397

398

399

400

401

402

403

404

405

406

407

408

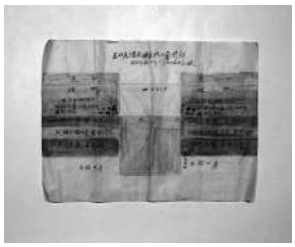
409-1

409-2

409-3

409-4

410-1



410-2

410-3

411

412

413

414-1

414-2

414-3

414-4

414-5

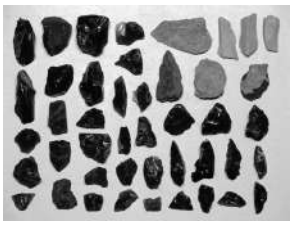
415-1

415-2

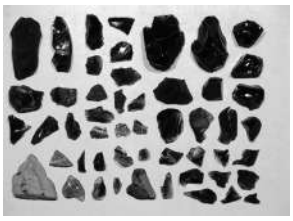
415-3

416-1

416-2

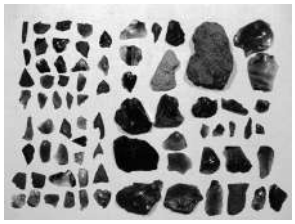


416-3



416-4

416-5



416-6

417-1

417-2

417-3

417-4

418-1

418-2

418-3

418-4

419-1

419-2

419-3

419-4

419-5

420-1

420-2

420-3

420-4

420-5

420-6

421-1

421-2

422-1

422-2

422-3

422-4

423-1

423-2

424-1

424-2

425-1

425-2

426-1

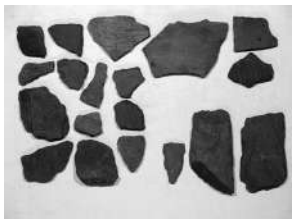
426-2

427-1

427-2

428-1

428-2



428-3

429-1

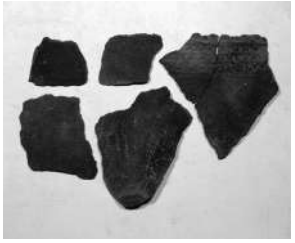
429-2

429-3

429-4

430-1

430-2


430-3

430-4

431-1

431-2

432-1

432-2

433-1

433-2

433-3

433-4

433-5

434-1

434-2

435-1

435-2

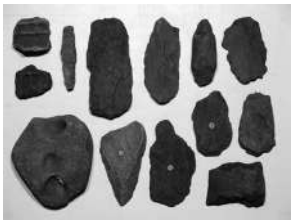
436-1

436-2

437-1

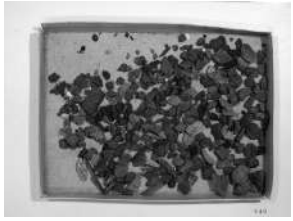
437-2

438-1


438-2

439-1

439-2



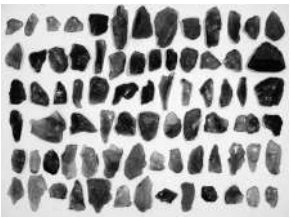
440-1

440-2

441-1

441-2

442-1



442-2

443-1

443-2

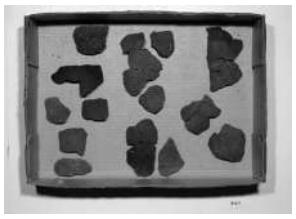
444-1

444-2

445

446-1

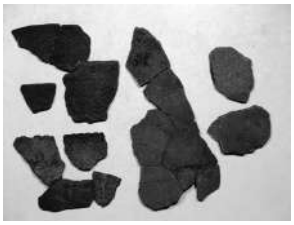
446-2



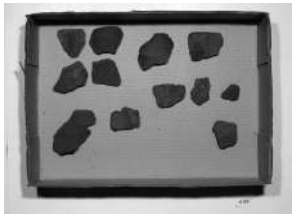
447-1

447-2

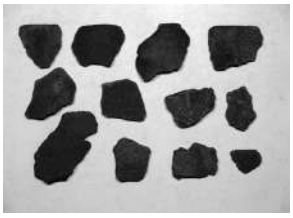
448-1



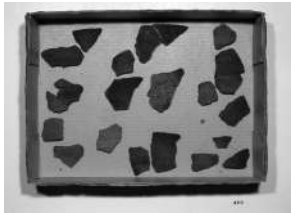
448-2



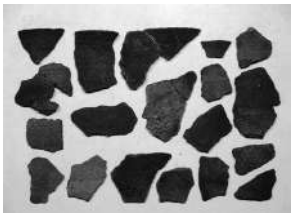
449-1



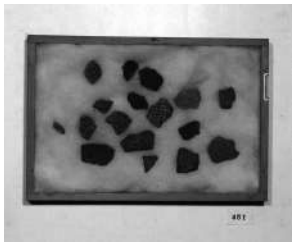
449-2



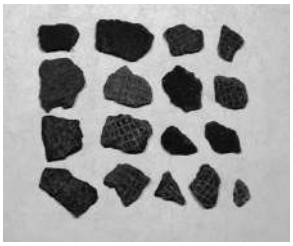
450-1



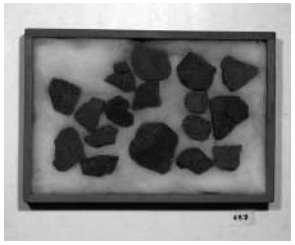
450-2

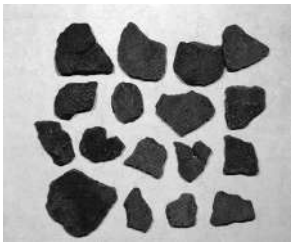


451-1

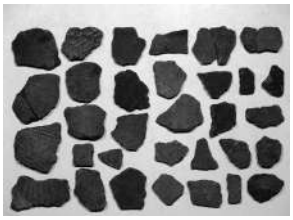


451-2

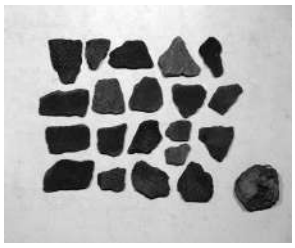

452-1


452-2

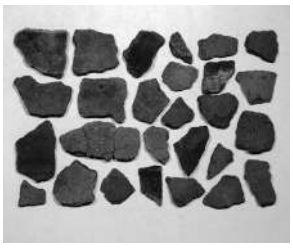
453-1


453-2

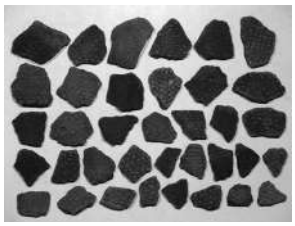
454-1

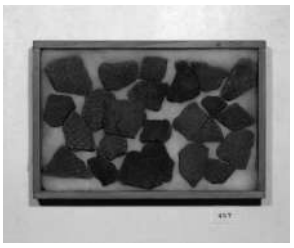

454-2

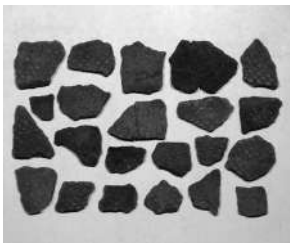
455-1


455-2

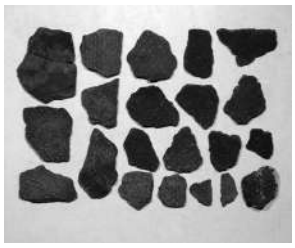
456-1


456-2

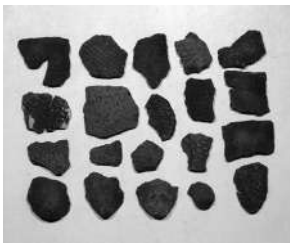

457-1

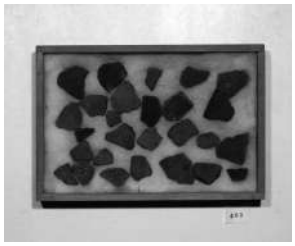

457-2

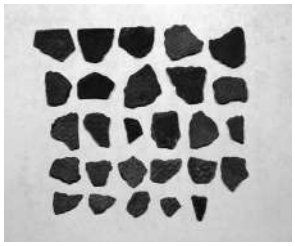
458-1


458-2

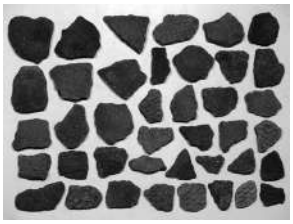
459-1


459-2

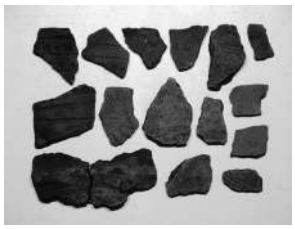

460-1


460-2

461-1

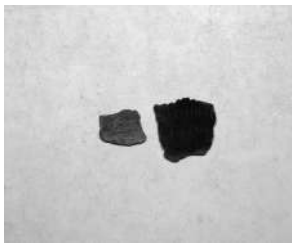

461-2

462-1


462-2

463-1

463-2


464

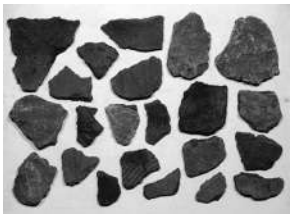
465-1

465-2

466-1

466-2

467-1


467-2

468-1

468-2

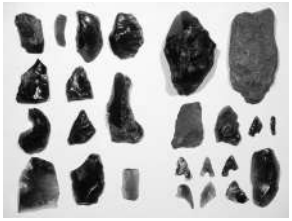
469-1

469-2

追 1

追 2

追 3-1


追 3-2

1 指定分

4 指定分

5 指定分

6 指定分

8 指定分

9 指定分

10 指定分

12 指定分

13 指定分

14 指定分

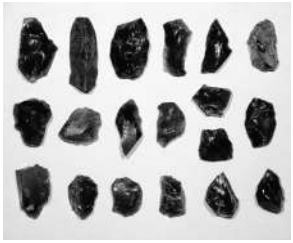
43

44

45

46

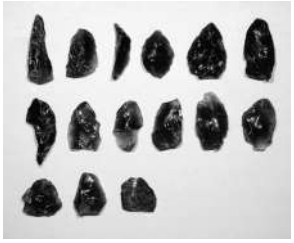
47


48

49

50

51

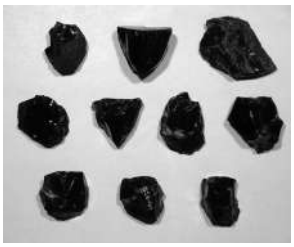


52

53

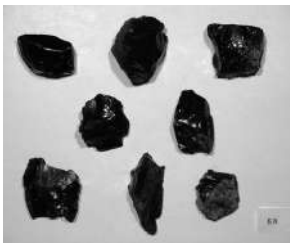
54

55



56

57



58

59

60

図版引用文献

○茶臼山・雪不知・八島・北踊場・上ノ平・片羽町・細久保・大安寺・中浜町・茶臼山古墳　『諏訪市史』上巻

○曽根　『諏訪湖底曽根遺跡研究 100 年の記録』

○海戸丸山・梨久保・後田原・庄ノ畑　『岡谷市史』上巻

○新道・切掛　『井戸尻』

○穴場・下島・上ノ段　『日本考古学講座』3

参考文献

藤森栄一	1978 ～ 86	『藤森栄一全集』全 15 巻
諏訪市史編纂委員会	1995	『諏訪市史』上巻
下諏訪町誌編纂委員会	1963	『下諏訪町誌』上巻
岡谷市	1973	『岡谷市史』上巻
川岸村誌刊行会	1953	『川岸村誌』
茅野市	1986	『茅野市史』上巻
諏訪郡富士見町	1991	『富士見町史』上巻
長野県史刊行会	1983	『長野県史』考古資料編　全一巻（三）
長野県考古学会	1974	『長野県考古学会誌』19・20
地域と創造編集部	1978	「特集　藤森栄一の世界」『季刊　地域と創造』5
史実会	1950	「岡谷市南部遺跡群研究－滝沢コレクション集成－」『諏訪考古学』5
諏訪市教育委員会	1983	『諏訪市の遺跡』
下諏訪町教育委員会	1986	『下諏訪町の埋蔵文化財』
藤森栄一	1956	「縄文文化」『日本考古学講座』3
曽根遺跡研究会	2009	『諏訪湖底曽根遺跡研究 100 年の記録』

その他、各遺跡の報告書や論文などがあるが多数のため割愛した。ご了承いただきたい。

諏訪地域考古資料
藤森栄一蒐集品目録

平成２３年１１月２５日

編集・発行　諏訪市博物館
〒392-0015　長野県諏訪市中洲171-2
電話　0266-52-7080
印　　刷　中央タイプ（有）
〒392-0027　長野県諏訪市湖岸通り2-12-4
電話　0266-53-4567